臺灣日日新報 夕刊
八月二十日
夕刊定價一部貳錢
發行兼編輯人 [illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
臺南支局 臺中支局 花蓮港支局 大阪支局 東京支局 [illegible]

爲替暴落を中心に……
臨時議會の劈頭
民政黨が重大質問
爲替安定策に關して

【東京二十日發電通】民政黨は爲替暴落問題を重視し、目下首腦部間に於て内外の調査材料蒐集に努め協議中であるが、議會に於て或は二十五日開會劈頭町田總務あたりが陣頭に立つて政府に重大質問を試み、その結果に依り至急適當な對策を定め政府に重要進言を試みることとならう、而して首腦部の意向は當面の問題としては如何なる程度如何なる方法に依り爲替の安定を期するかが急務であり一部に稱へらるる新平價切下說の如きはその次に考慮さるべき問題で斷じて當面の問題ではないとなし爲替安定に主力を傾注する方針である

成行きに任す外なし
大藏首腦部の意向

【東京二十日發電通】昨今再び急激な暴落調を辿つて來た爲替相場に對し大藏省當局は不安の目を以て注目してゐるが究竟何等の對策なく成行に放任する外なしと依然袖手傍觀の態度を執つてゐる、[illegible]政務次官一人は爲替相場がこの程度まで下落して來れば爲替[illegible]等の斷然を直前日に考慮すべき時期が近附いたとの意見を有してゐることは注目されるが、高橋藏相以下の首腦部は自由放任成行を靜觀して自然の落着を俟つ外策の施しやうなしと云ふ意向であつて、臨時議會には何等爲替對策に關するものを提出せず高橋藏相の財政演說中にも爲替問題には論及しないことになつた

天に向ふ密

米日爲替
二十二弗七十五仙

【ニューヨーク十九日發電通】豫想されてゐる米日爲替は更に低落し二十二弗七十五仙となつた

中旬貿易
出超千四百八十九萬圓

【東京二十日發電通】大藏省發表八月中旬貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出　四〇、八〇三
輸入　二五、九一〇
出超　一四、八九三

一月以降累計は入超一億九千三十一萬九千圓である

預金部資金
貸付利率
三分二厘程度か

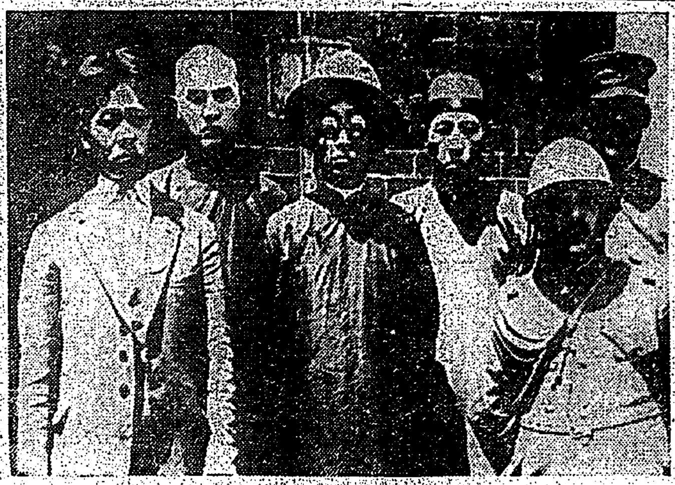
【東京二十日發電通】預金部資金の貸付利率は大體最低三分二厘程度になる見込みで、九月の預金部運用委員會に附議決定の筈

紐育株況

【ニューヨーク十九日發電通】ニューヨーク株式市場は小麥の反落に主力株は分散安乃至五弗安を告げたが聯邦準備銀行が六月十五日以降の金準備增加高一億三千七百萬弗との發表を好材料とされ落勢程度に濟み出來高二百二十萬株

銘酒 白鹿

安否氣づかはれる
石本關東軍囑託



熱河義勇軍に捕はれて四週間其の安否を氣づかはれてゐる石本關東軍囑託[illegible]（前列左より石本氏、湯玉麟代表部參議、吉岡參謀）

米國から海兵隊
二大隊上海へ著く
米國の遣口注目さる

【上海十九日發聯合】九月十八日着の汽船ヘンダーソン號でアメリカから海兵隊二大隊が當地に到着の旨本日米海兵隊司令部から發表された、右を加へ當地米海兵隊は三個大隊となるが上海事變中當地にあつたフイリツピン步兵隊三十一聯隊の交代兵と見られ、アメリカの對極東キヤンペーンの一の現はれと注目されてゐる

團匪賠償金は
斷然拂はぬ
財政部が非公式聲明

【上海十九日發電通】國民政府機關通信の報ずる所に依れば、財政部は日本に對する團匪賠償金支拂を八月以後停止するに決した旨非公式に聲明した、先般七月分を支拂つたのは停止の手續を外交部が完成してゐなかつた爲めで八月からは絕對に支拂はぬと强硬に報じてゐる

北滿水害救恤費
議會に提出
關係當局で具體案作成

【東京二十日發電通】北滿水害罹災者に對する救恤に付ては財界、婦人團體を初め全國的に醵金の計畫が企圖されてゐるが、政府も國家としての救濟方法に付き鋭意研究中であつて來る臨時議會に右に要する經費支出の件を提出する筈である、尚陸軍では罹災患者の慰問及び一般の防疫等に付き徹底的に努力することとなり關係當局で目下熱心に具體案の作成を急いでゐる

日滿條約說で
國府は大狼狽
近く對外聲明發表

【南京十九日發電通】内田外相は日滿條約を締結し之を聯盟に對する形式で滿洲國を承認する姿勢を聲明したとの報道に接し國民政府外交部は多大のセンセーションを惹起し羅文幹外交部長以下大狼狽の形で、政變の修復にて南京政府は協議方法なく、羅部長は十九日午後廬山に在る蔣介石、汪兆銘、宋子文等に對策に付き諒解したが、近く國民政府として對外聲明を出す模樣である

米國或は抗議か
滿洲國承認に關して

【ワシントン十九日發電通】日本が日滿條約を締結して國際聯盟に提出せんとする事に依る滿洲國正式承認の準備を進めつつありとの報に關し、アメリカ政府國務部の非公式意見は日本の滿洲國正式承認を反對してゐるが、之に對しては恐らく一月十七日の聲明と同樣の通牒を發するか又は他の形式で抗議せんと豫想さる

武藤大使の一行
けさ滿洲へ向ふ
二重橋前で遙拜後
萬歲の聲に送られ

【東京二十日發電通】關東軍司令官兼特命全權大使武藤大將は二十日午前九時東京驛發赴任の途に就いた、この日武藤大將は午前八時二十五分小磯參謀長、二[illegible]參謀副官以下參謀副官を隨へ[illegible]に姿を現はし、武藤大將は明治大帝御下賜の軍刀を佩用、旭日大綬章を胸間に輝かせ、小磯中將以下は勇ましい軍裝である、二重橋前にて遙拜を濟まし午前九時東京驛發、陸海首腦各團體の萬歲聲裡に歷史的赴任の途に就いた、一行は今夜鳥羽に一泊伊勢大廟、桃山御陵に參拜、大阪一泊後朝鮮經由赴任[illegible]

汪精衛回天の大芝居（中）
三省分の國稅を
學良は全部著服
岐路に立つ支那·國民政府

本社上海通信員
日高清磨瑳

之と同時に汪精衛は上海記者團を招集して學良の罪狀について左の如き發表をなし、飽くまで『學良逐ふべし』の決意を强調してゐる

—◇—

學良から本日（八月）余に對する返電が來た、學良の語氣は傲岸であるが、内容は自衞には抵抗、抵抗には軍費が必要である、余が中央に軍費を要求したのは決して他意があるわけではない—といふのだ

—◇—

しかし學良は現在河北、熱河、察哈爾に駐屯してをり、而も中央に當然送金すべき右三省の國稅を一文も送つて來た例がない、地方稅と國稅は周知の如く地方稅は地方へ、國稅は中央に送らるべきものである、而も學良は抵抗に名を藉りて借款も起債も不可能な財政的窮乏のドン底にある中央に軍費三百萬元を要求した、河北省のみの收入でも民國十四年には地方稅月收二百萬元、國稅その他年一千七百萬元あつたのであるから、現在學良は例へ二十萬の兵隊に毎月平均十元（中央政軍の兵隊に毎月平均六元弱になる）を支給するとしても二百萬元で足る筈だ、而も中央に河北省の稅收がどうなつてゐるか、河北省の軍隊總數が幾何かといふことを知ることも出來ない狀態である

—◇—

中央に若し財力あり財政難に惱む[illegible]ならば何とか補助の方法を講じてやるのだ、學良は三省の地方稅國稅を全部着服してゐる上に更に財政部に巨額の軍費を要求する、余はかかる軍閥行爲を破壞するに非ざれば支那は救ふ術に窮ることと思ひもよらざるのみか自滅の外はないと思ふ、余は支那を救はんがために張學良の辭職を勸告すると同時に余も辭職した

—◇—

今中央は大なる決意をもつてこの軍閥割據行爲に對處すべきである、行政院の後任には宋子文、[illegible]は辭職後も國民黨員として國事に盡す決意である

—◇—

汪精衛の發表した學良辭職勸告の理由は以上の如くであるが私は汪氏が辭職した理由をより根本的なものと解し、時局に處した國民黨及び國民政府を危機一髮の際に救はんとの英雄的行爲であると解してゐる、私は大に汪が決意を除儀なくされた支那の現狀局について書かう

—◇—

（一）共産軍の强大

蔣介石は七十萬の大軍を動員して共産軍四次大討伐を續けて以來既に一ケ月餘になるが軍費は僅かに三百萬元だけで、剿匪公債二千萬元も上海の銀行團に一蹴されて了つた、そして軍費難の結果討伐軍の動搖甚だしく討伐軍の集團的罷業り、地方民掠奪は頻々として起つてをり、總攻擊を一回も行はぬ以前に早くも討伐失敗の實證のみ徒らに多い第五十一師が沙市の北方で共産軍に全滅され、師長范石生が重傷を受け目下上海で治療中であることは共産軍の强さを物語り討伐軍の弱さを實證するものに外ならぬ、而も共産軍の總數は十五萬と云はれ、その根據をなす中國ソヴエート共和國の統治區域は實に支那政府の屬たる中支の六省に亙り、勢力人口一億と稱されてゐる、そして共産軍の裝備は支那軍に見ないレコードを作つてゐる、今や共産軍が刻々その範圍を擴大するにつれ國民政府の崩潰否支那の滅亡は速度を早めつつある、共産軍の問題は現政府にとつては滿洲の獨立以上に重大問題であるそして又日本及び列强にとつても坐視するを得ざる點までに事態は進展の可能性をもつてゐる

—◇—

（二）國民政府の財政難

汪の言中にもある如く國民政府の財政窮乏の狀態は、外國から借款することも、公債を發行することも出來ない狀態にあると云へば大凡の想像につかう、政府發表では、國民政府毎月の軍事費千八百萬元、政費四百萬元の合計二千二百萬元で、而も實收入は毎月僅かに六百萬元である、從つて討伐軍の月給が三ヶ月も遲れ政府役人が今年になつて月給らしい月給を受取らないのも當然であるし、軍政各方面とも不安[illegible]

（寫眞は張學良）

その日その日

○日本、滿洲、支那そして歐米列强、その間の關係はグン／＼成る樣になつてゆく

○成る點では既に可なりの發展を思はせてゐるのもある、平和の神樣も惱んで御座らう

○日滿間の條約締結說を今盛んに說くのは扱かり、防共同盟其他現在の通りの事實を成文化するだけ

○東洋モンロー主義は米國モンロー主義への對抗として面白い、率直にやる丈けの勇氣が外務省にあれば結構この上なし

○有能な學者の豫言、日米戰爭が起つて加奈陀や濠洲が米國に參加し結局日本の[illegible]いで第三次世界戰爭として米國と英國との衝突あり、之も米國が勝つて全世界を統一する—

○成程流石に國際問題研究所長のトインビー氏だけに研究してゐる小說に出して貰したら面白からう

○大空を五萬尺も[illegible]と著者が下になり數下何十尺、領空の一部[illegible]

○「[illegible]」結城の爲めに、[illegible]「衆人不平相談所」でなしの他に[illegible]

○賄金で線を買つたり、女房を質にしたり、まるで女を物品扱ひ、何萬年の文化遺物だ、お恥かしい

第廿五驅逐隊
基隆に入港
廿四から廿八日迄碇泊
將兵臺北を訪問

南支の風雲が急になつた昨年來、對岸防備の衝に當つてゐた馬公要港部所屬の第二十五驅逐隊は來る二十四日東航以來初めて基隆港を訪問することになつた、右は目下南支の事情が小康を得た爲めで基隆碇泊期間は二十八日まで馬公歸港後は重ねて南支へ出動することになるであらうと

米金增加高

【ワシントン十九日發電通】聯邦準備銀行發表八月十七日までの一週間に於ける海外よりの金流入四千萬弗、六月十五日以降同日までの金準備增加一億三千七百萬弗、八月十七日現在金準備高四十億四千六百萬弗

無絃琴

日本航空輸送會社の有馬男爵曰く『サルムソンといふ飛行機は舊式かも知れぬが日本人には一番扱ひ易く且つ此の飛行機で飛ぶ人は航空術に入門したので慣れてゐるし最も安全です、それから速力が割合ひにのろいので航空ページエントなどに使ひ出し色々な曲藝やパラシユーターが飛び下りるなどには持つて來いなので其の點でサルムソンはまだまだ重寶がられてゐますよ』▲航空ページエント即ち航空飛行は日本では數年前から行はれて來たもので航空思想を普及する上には頗る向きの大衆的な催しである勿論盛況だが、防空思想については今回のが最初であるが、防空思想については一番いろ／＼な方面から考へたり論議しなくてはならぬ筈の後者—殊に臺北などで今頃やつと最初の航空ページエントを催しても氣がきかぬ次第だ、お互ひの問題として一つ考へて見ねばなるまい▲去る八月二日の本紙夕刊に出た基隆潮の時刻が違つてゐたとて淡水側から抗議が來たかに就いて及び臺北測候所へ來たか之について測候所側では『あの日のは基隆の分と淡水の分を入れ違へた爲が後で解り申譯ありません、然し間違つたのは二日の分だけですから御安心ありたい、汐の干滿は海軍水路部の調査に基いてやつてゐるので充分信用して頂きたいものです』

火の鳥

(170)

加能作次郞作
石塚翰畫

ネオン・サイン（五）

志保子の外の二人も、同じやうに背の高い女だつた。殊に顔も小づくりで、背の高い[illegible]けられない程だつた。年恰好も大張り似寄つてゐて、何れが姉妹とも、一見見分け難い位だつた。そして三人とも、その動作態度が、まるで貴婦人のやうに上品で淑やかに見えた。少くともさう氣取つてゐた。物腰が、嫣麗で、すべてが嬲しからず、品位にさへ思はれた。而もさうした中に、年若い小娘などに見ることの出來ない、洗練された嬌媚があつて、一寸した表情や身のこなし方にでも、すぐに男の心を惹きるやうな蠱惑的な艶めかしさが潛つてゐた。恐らくこのバアの主人の好みと經營上の方針とからであらうが、よくもかう揃ひも揃つた女を集めたものだと、眞夫は感心しながら三人を見比べた。

一人はみや子といつた。二十二、三位と、見えたが、容貌も比較的美しいかに思はれた。

今一人は京子といつた。顔はやや他の二人より劣るかのやうだつたが、その代り、肉附や全體の容姿が、中で最も優れて艶めしく魅力的だつた。そして津村を知つてゐるらしく、津村の側に腰掛けて彼を先生、先生と呼んでゐた。

志保子は一番年上らしく、容貌やその他が、丁度三人の中間を行つて居た。そして最も上品で優しげだつた。

眞夫は、他の二人よりも二三十分前に、一番最初に會つた爲か、志保子に最も多く親しみを感じた。

『君等は三人姉妹のやうだね。』

と彼は三人を見比べながら、眞面目な口調で言つた。

「あら、そんなに似てますか。」

と志保子が言つた。

「容貌といひ、年恰好といひ、背恰好といひ、さういふ點から言へば、實によく似てますよ。ねえ、津村さん」

「皆さん、よく粒が揃つてお綺麗でお上品でいらつしやいますよ」

と津村は皮肉にからかつた。

「あら、先生はお口の惡るい」

と京子が輕く津村の膝を打つた。

「さうさ、どうせ君等は、ところてん押し出しのやうなものさ。」

「あら、どうしてですか？」と今一度は、みや子が反問した。

「どれもこれも同じやうな、特徴のない平凡な顔容をしてゐるといふことだよ」

「おほほほ」

津村も、眞夫も、三人の女給連も、みんな聲を合せて笑つた。

「あなた、何と仰有いますの？」

暫らくしてから、志保子が眞夫に尋ねた。

「僕ですか、秋山です。」

眞夫は卓の下で自分の膝に志保子のそれが觸れるのを感じながら生眞面目に答へた。

「あら、秋山さん？」

志保子は何故か怪しむやうに問返した。そして向ふ側のみや子と顔を見合せた。

「本當？」

「え、—どうしてですか？」

「いいえ、どうもしませんのですけれど」

「何れ、誰かが仰れた名前と同じ名前だとでもいふんだらう。」と

津村が[illegible]を入れた。彼はもうウイスキイを三杯も呷つて、幾らか舌が滑りかけてゐた。

「あら、そんなんぢやありませんわ、ですけれど、ちよいと……おほほほ」と志保子は艶めかしい媚笑を浮かべながら、

「お名刺を頂かして下さらないの？」

そして一層眞夫の方へ身體をにじり寄せた。

「名刺ですか？」

眞夫は一寸當惑を感じ、さういふ場合に如何にすべきかに迷ひながら。

「さあ、あつたかしら」と、躊躇ふやうに呟いて、でも正直に、上衣の内ポケツトから名刺入を取出し、一寸中を探るやうにしてから妙に含羞みながら、その中の一枚を志保子に與へた。

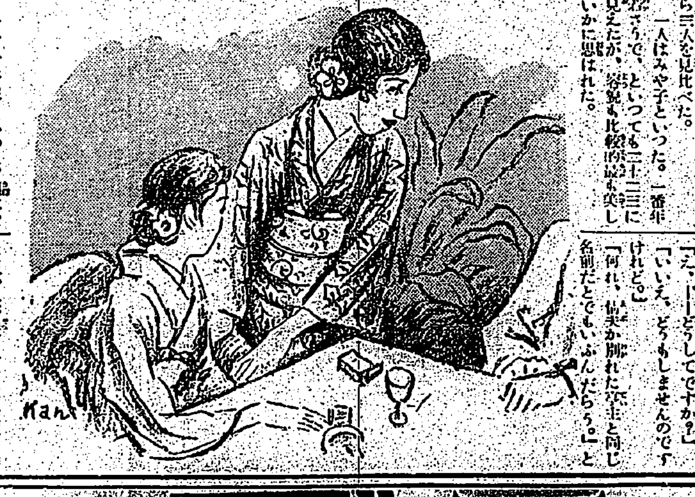
年にも似合はず、かうした初心な物言ひさうな眞夫の態度が、かなり志保子を動かしたらしかつた。

「有難うございました。」

彼女に一寸戴くやうにしてからそれに一瞥を與へると、

「あら、S・S映畫にお勤めですのね」

と如何にも懷しむやうに言つて眞夫を見つめた。



夏です！
女性美の焦點は、今や顔から全身へ移りました。到るところ憧ましい曲線の魅惑、エヴで洗練された腕線美・脚線美のモンタージユ！
曲線曝露の夏、何よりも忘れてならぬことはエヴによるお肌の手入です、ウブ毛やムダ毛がモゾ／＼と生えてゐてはお肌が黑く見え化粧効果が殺がれます。
完全なる脫毛劑
エヴクレーム
ご注意！
肌を荒らす粗製品がありますがお求めの際は安心して御使用の出來るエヴと御指定を！
定價 [illegible]
本舗 東京大阪 田邊商店
エヴでムダ毛をお取り下さい
時間はタツタ三分間、それで魔法の如くにムダ毛が取れて肌はビロードのやうに滑らかとなり白粉が美しく着きます
殊にグロテスクなワキ毛—それがあつてはエロとグロとの交錯で、手をノビ／＼伸ばすことすら出來ないばかりかそこに溜つた汗の腐敗はワキガの原因となります
凡てをかなぐりすてた、大膽なポーズ！ 健康への跳躍！ それはエヴクレームの愛用者のみが知るところ。
一ヶ月に一回か、せいぜい二回使へば足りわき毛だけなら一個あれば一夏は使へます
Y—61

愈よ明廿一日 空中の亂舞
けふ臺北市上空を 鮮やかな試驗飛行

空の勇姿……航空ページェントに使用するサルムソン機は二十日午前十時丸山飛行士の手によつて機體の點檢を終へ同十一時關口飛行士操縦佐倉飛行部航空官の同乘で市の上空にその雄姿を現はし一旋回して試驗飛行を終へたが關口飛行士は「調子はいい」と語つてゐた愈々廿一日午前九時晴れの日を迎へ島人日野、宮森のペアーによつて演ぜられる空の亂舞こそ島都市民の胆を練兵場に惹きつけることであらう（寫眞上は組立を終つたサルムソン機 下は著臺した關口飛行士）（向つて右から三人目）

コレラ流行地に 福州も指定さる
二十一日から入港する 入港船舶を檢疫

總督府では海港檢疫施行規則に依り二十一日より對岸福州を新にコレラ流行地と指定し同港よりの入港船舶に對しては一齊檢疫を施行することとなつた、これで總督府のコレラ流行指定地は廣東、香港、汕頭、廈門、福州、上海、大連、營口の八ケ所に達した

一日に五十名發生
森田督府衛生課長語る

福州のコレラ流行地指定について森田督府衛生課長は語る

現在も廣東、香港、汕頭、廈門上海、大連、營口の諸地をコレラ流行地に指定してあるので、福州から基隆へ入港する船舶は多くはそれ等の何れかの港を通つて來るので、實際の上では檢疫上遺漏はないが、福州ではその後コレラの流行猖獗して總督府の派遣員及び同地博愛病院長よりの報告によれば一日に五十人も新患者發生し、博愛病院にも續々と患者が擔ぎ込まれるといふ有樣で、今後も尚流行の模樣である、加ふるに福州は基隆とは本當に一衣帶水の地で僅かに一晩で往來出來る所であつて、段々病菌を持つて來る可能性が多く、且つ福州基隆間のみを往來する船舶もあるので同地を新にコレラ流行地に指定して防疫上の完璧を期することとなつたのである

若い遊女二人が投身心中を企つ
基隆市社寮町の海岸で 一人は絶命、一人は瀕死

【基隆電話】十九日夕刻基隆市社寮町海岸において田寮港遊廓遊妓二名の同性心中があつた、同日午後五時頃社寮町二五六久野造船所前海岸から約二百米前方海中で女二名がもがき苦しんでゐたのを折柄同所沖合で釣魚を催してゐた社寮町警備員が發見、早速救助してかくと屆け出た

取調べにより右は田寮港町遊廓[illegible]樓抱妓本籍[illegible]北野郡北島村北島字新川屋二七番[illegible]岡田テル子（二）同[illegible]市[illegible]町[illegible]分町三六高野トロ（[illegible]）と云ひカルモチンを多量に服用してゐる事判明、かけつけた基隆署吉田部長、伏田警部補等が應急手當を施した後直に依[illegible]醫院に擔ぎ込み[illegible]醫師を迎へたが、岡田は二時間程して

絶命し高野は今尚瀕死の重態である、一人は死に一方は口もきけないので死の原因が何んであつたか詳しくは知る由もないが二名共本年六月各一千圓の前借を負ひ同じ船で來臺、前記依[illegible]樓に抱へられたもので仲居等の語る所によると哀訴した事もなく、又外に死なねばならぬ原因があつたとも思はれぬとの事である、兩女は同日午後四時頃手洗醫院にゆくと云つて外出許可を受け、そのまま

社寮島に赴き沈身カルモチンを服用して海中に入つたものと思はれるが、同島の某氷店で田村と言ふ人の家は何處かと問ひたとの事である、ただ殘された二通の遺書それは高野は父死に母の一年忌と自分の一年忌とを一緒にしてくれとの意味をしたためてあり、岡田は彼の樣な文句で死名もなく自分はこれでもいいが後に殘つた妹三人にはこんな勤めはさせてくれるなと綴々

苦界の勤めの辛さを述べてゐる所からして、双方共お茶のひきつづきであつたと言ふ點からして勤め辛さに同情で來た親しさから兩名語り合ふ内それではないかと言はれてゐるが、それとて原因とするに充分なものではないので目下吉田部長が極力原因を取調べ中である

御下賜金傳達
けふ三大臣を召されて

【東京二十日發電通】天皇陛下には二十日午前九時半宮中御内儀に山本、永井、鳩山三大臣を召させられ既報の窮民救療者醫療救護資金、學術振興會の基金を宮内大臣を經て傳達され賜ふなる御沙汰書を賜はつた、終つて三大臣は陛下に拜謁御禮を言上感激して退下した

一木宮相謹話

【東京二十日發電通】一木宮相謹話

畏くも本日三大臣に巨額の御下賜金あつたことは誠に恐懼に堪へぬ、この宏大無邊な聖恩を拜し誠に恐懼感激に堪へませぬ、願はくは官民一致新興日本の建設に向つて邁進し聖恩の萬一に對へねばならぬ

福州の海賊に 短銃を密賣
大連で密輸團檢擧

【大連十九日發本社特電】去る五月自從日支四人組ピストル強盜犯人の取調べから發覺したピストル密輸團は取調べの進展と共に意外にも市内日本人銃砲店の元締の工業會會長牛作州（[illegible]）も關係ある事判明、十八日午後大連署に留置された、同人は[illegible]を手先としてピストル密輸入團に關係し、福州の海賊に賣込んでゐたもので、更に又一味は[illegible]で船よりピストル二百挺を密輸入し山東

馬賊に賣却した事も判明し、支那側官憲有力者の身邊に迄檢擧の手は伸びる模樣である、同牛作州は九ケ年間西崗子工業會長を勤め資産三十萬圓を有し大連市内資産家の羅州派の巨頭である

鮮人の世界一 周旅行家來臺

【基隆電話】十九日午後一時半檢疫をすませて基隆港内に入つた商船北支航路福建丸で世界一周の朝

鮮余士、關東州、滿洲を經て上海からやつて來たのであるが之から木島を廻りヒリッピン、ハワイ、南洋を經て歐洲に行くと、同君は基隆にも三、四日間滯在するとの事で午後屆旅館に入つた

モ氏、大西洋を見事に横斷
所要時間卅時間十分

【セント・ジョン（カナダ）十九日發聯合】十八日午前十一時三十五分ダブリン郊外のポート・マーノック飛行場を出發單獨大西洋横斷飛行の壯途に上つた英名飛行家モリソン氏は見事に横斷飛行に成功し米國東部標準時十九日午前十一時四十五分、當地の西方四十マイルのペンフイルド、ブリッヂに安着した、ダブリンよりの飛行時間三十時間十分である

離礁して 自力歸航

【ロングビーチ十八日發電通】坐礁したサラトガは艦首を突込んだ場所が砂であつたので損傷輕く離礁自力歸航する

臺北州廳構内で小使が急死

臺北州内務部小使山本千吉は十九日午前八時頃州廳内テニスコートを清掃中突然卒倒死したが原因は腦溢血であると

映畫王ダグラス また東洋漫遊
我水泳選手と同船で

【ハリウッド十八日發聯合】昨年日本を訪問した映畫王ダグラスフエアバンクス氏は東洋に對する思慕の念止み難く愈々二十五日發靖國丸で日本水泳選手と共に又復東洋漫遊の旅に上ることになつた、今回の旅行の目的はシベリヤ蒙毛長虎の狩獵にあるが商賣道具撮影機一式携行し漫遊中エキサイチングの場面悉くキヤメラに收める筈で先づ支那に赴き次いで日本訪問今冬を過ごし滿洲方面で旅行の目的たる虎狩をやらうといふのである

犯罪捜査の陣容を立直し
警務局が來年度豫算に 十餘萬圓を計上

近代の犯罪捜査にも遂に[illegible]が來た、これ迄臺灣の犯罪捜査は[illegible]式と名づけられた位に内地のそれと比べて統一を缺き就中科學的犯罪捜査の對象ともなり研究資料ともなるべき鑑識方面の施設に至つては殆ど見るべきものがないため臺灣に於ける警察の檢擧件數の如きは内地のそれに比して甚だしく能率が惡く永年の懸案として提唱されて來たが今度愈々警務局では[illegible]刑事課長發案の下に犯罪捜査新陣容を立直しの一法として鑑識方面の設備を完備させるべく全島的に

一、指紋の統一 二、犯罪手口カード、贓品カード、犯人特徴カードの統制 三、犯罪捜査に必要な理化學的設備の完成を期する事となつたそのため本年度に十餘萬圓の豫算を計上し一意該の通過を待つ事となつたが、右施設の實現の曉には犯罪捜査に取つて最も必要條件とされて來た

一、時間の短縮 二、努力の節約 三、捜査の正確を名實共に取得する事が出來るので全島各州警察當局はその實現方を希望してゐる有樣である

保甲協會 創立總會
二十日開かる

【基隆電話】基隆郡管内の保甲壯丁團長をもつて組織の保甲協會は公共事業を行ふを目的として組織された保甲協會創立總會は既報の通り二十日午前十時から會員參集、公會堂に於て開催された、開會の辭について服部郡守議長となり議事に入り、會則、細則の審議を行つたが各自熱心に討議し二三の修正あつて役員選擧に移り、顧問には[illegible]近江の諸氏及市尹、[illegible]長を推戴、議長には林熊時、副會長には二名を選擧、其他評議員の選擧あり來賓の祝辭あつて閉會、それより宴に移り和氣藹々裡に散會した

据賣行商人を 警官隊が追拂ふ
据荷トラック五臺分を押收
基隆福德市場前の大騷ぎ

【基隆電話】基隆市福德市場附近に据賣商人の群が交通[illegible]さへする有樣で、基隆署、市役所でも取締に苦心してゐる事は既報した、が、基隆署でも遂に十九日午後五時寺田交通係主任指揮の下に外勤巡查の應援員を行ひ、同市場附近を四方から襲ひかかり行商人の群はそれと知るや蜘蛛の子を散らすが如く逃げ出したので、現場に追棄された据荷を全部押收しトラック五臺に滿載して引揚げたが今後はかくの如く度々一齊取締りを行ふ方針であると

愛婦新竹州部の バザー

【新竹電話】愛國婦人會新竹州部にては會員の製作にかかる贈答手藝品のバザーを二十五、六の兩日新竹公會堂にて開催し尚同期間中食券五千枚を各方面に賣りつけ婦人會の基金を造成し國家有事の際に備へると

色刷になつても 値上はせぬ
一年生の國語讀本

【東京二十日發電通】文部省では小學校の國定教科書改選の意味で來年四月から尋常一年生で使用する國語讀本の繪を美しい四色刷りにし、紙數も相當增加するが、一般財界不況の折柄教科書の値上は絶對にしない方針の下に當局は出版會社側と折衝を重ねてゐたが、十九日會社側との協定成り現在定價通りで繪の美しい教科書を發賣する事に決した

南京の排日運動 又も尖鋭化
邦人所有の綿絲沒收

【南京十九日發電通】當地西[illegible]洋行の景山[illegible]氏は十八日居留民會に保管中の綿絲一捆を自宅なる西[illegible]洋行に運搬中、抗日會の爲め沒收され直ちに上村領事を通じ即時返還を求めたが返還しないので上村領事は十九日正式に外交部に對し嚴重なる抗議を提した、排日運動の尖鋭化は遂に邦人商店までも襲撃するに至り事態は又復惡化し憂慮さる

廿七驅逐隊に 感謝の電報
本社社長から

馬公所屬として時局發生以來對岸の警備に當つてゐた第二十七驅逐隊は既報の如く二十日馬公を引揚げ内地に歸還する事となつたので二十日平塚長官名で感謝の電報を發したが本社に於ても山内馬公要港部司令官宛に次の如き電報を發した

第二十七驅逐隊が本日内地に引揚げ歸還さるるに際し長き[illegible]の多難なる警備に當られし將兵の御勞苦に對し本紙讀者を代表し深謝の意を表す 右取次ぎを願ひあぐ

臺灣日日新報社長 河村徹

新竹の消防講習會 終了式

【新竹電話】新竹消防組の消防講習會は八月六日から開催中であつたが十九日終了せるを以つて二十日午前八時から第一公學校にて終了式を擧げ式後南寮海水浴場にて慰勞會を開催した

臺北如水會の 村田省藏氏歡迎會

東京商科大學出身者よりなる臺北如水會では久し振にて來臺の大阪商船副社長村田省藏氏の歡迎會を十九日夜竹の家に於て催したが、席上同氏の時局談などがありなかなかの盛會であつた

美藝座の一行 榮座に出演

歌舞伎所作事、寸劇、レビウ、音曲、萬歳と色取りどりに賑やかな一行美藝座連中が十九日の吉野丸で乘込んで來た、一座の主なるものは宮川小[illegible]、出[illegible]太夫、村田

北投小學同窓會

【北投】北投小學校では三十一日の日曜日に同校を[illegible]淡水海水浴場和樂園に於て同窓會を開催し一日を愉快に過ごさうと言ふので種々餘興がある、同會では會員多數の出席を希望してゐる

基隆夜學校改築の 地鎮式

【基隆電話】かねて改築工事認可中の基隆夜學校はこの程州知事より認可があつたので十九日午前十時から現地で地鎮式を擧行した式場は清楚な祭壇を設け石坂校主、基隆市尹、小島助役、服部郡守長及び石江、許の諸氏十餘名參列し神式によつて嚴かに執行され、石坂校主に次いで基隆市尹官吏側を近江氏民間側を代表してそれぞれ玉串奉拜し十一時閉式した

商業實踐講習會 近く定員に達せん

來る九月一日より開講する商業實踐講習會は定員六十名につき[illegible]は至急臺北高商内庶務課宛申込まれたいと

山岳懇談會

臺灣山岳會の八月例會は二十一日午後七時より臺北市内植物園内林業部で開催の筈であるが今回は夏季大登山各班の報告がまたるものである會費十五錢

樺山日曜教園で 地藏祭兒童大會

二十日（土曜）午後六時半より樺山日曜教園では地藏祭兒童大會を開催する

川副氏令息の葬儀

川副龍雄氏令息勉氏の葬儀は二十日午後三時から三橋町葬儀堂で嚴修されたが當日は父君の知己關係者多數會葬した

新公園音樂堂 演奏曲目
二十日午後七時

二十日午後七時より新公園音樂堂に於ける演奏曲目は左の通り（臺北音樂會演奏、指揮細月榮重氏）

一、唱歌集「古聖」　臺北音樂會編曲
二、ワルツ「ビション・オブ・サロメ」　フトラウス作曲
三、端唄集「春雨、降りて行く、忘れ」　臺北音樂會編曲
四、音樂漫畫「黑ん坊に戲れ」　シ・イ・プレト作曲
休憩
五、序曲「ライトカバレリア」　スツペ作曲
六、フォックストロット「エスキモシーベヤース」
七、マーチ「若き騎士よさらば」　ワグナー作曲

臺北州下傳染病
（十九日の分）

▲腸チフス　臺北市榮町一の二三番地許氏玉嬢（八ツ）
▲腸チフス　臺北市錦町一の一番地吳紅毛（三）赤十字醫院
▲腸チフス　臺北市下内埔三九二番地陳材液（三）馬偕醫院
▲腸チフス　文山郡深坑地カラモチ島方義明（三）赤十字醫院
▲發疹チフス　七星郡士林庄福德洋下樹林吳元炎（二〇）臺北醫院
▲腸チフス　死亡、基隆郡瑞芳九分六六番地郭明福（四〇）馬偕醫院
▲腸チフス　死亡、新竹州中壢郡中壢街石頭三九番陳水溪（三六）臺北醫院
▲腸チフス　死亡、臺中州新營郡カトグラン社小川初男（三九）赤十字醫院
▲赤痢　基隆郡貢寮庄大溪小山安之（三三）基隆衛生病院
▲赤痢　同所林正隆（一四）基隆衛生病院
▲ヂフテリヤ　死亡、基隆市日新町四ノ五番地安武念枝（一三）自宅

天氣概況（二十日）

島内は南部地方に驟雨模樣がある外至極良好な天氣を續けて居ります

▲天氣豫報（二十一日）
一區（北部）　南西の和風晴
二區（東部）　南寄の軟風晴
三區（西部）　北西の軟風晴
四區（南部）　北西の軟風驟雨
臺北地方　南西の軟風晴後曇

（二十一日）

	滿潮 前	滿潮 後	干潮 前	干潮 後
淡水	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
基隆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

各地氣溫（十九日）

	最高	最低
恆春	三〇・九	二六・〇
臺東	三三・八	二三・九
高雄	三二・五	二五・一
臺南	三一・六	二四・八
澎湖	三二・〇	二六・五
花蓮港	三三・一	二四・九
臺中	三二・八	二四・二
基隆	三一・六	二七・五
那覇	三二・六	二七・五
長崎	三一・四	二一・九
臺北	三五・〇	二五・五

商況（二十日）
米況

正米市況（前場）

▲一期蓬萊米　當限　中限 六四九　先限 六六三
受渡
▲二期丸糯米　當限　中限 不申　先限 不申
受渡

一期蓬萊は昨後場小縮り氣先今朝期米の氣調を眺めてチリ高く當限受渡し中限は六圓四九錢と七丁高に一本出來高六十本先限は六圓六二錢と八丁高に一本二十八本出來て止め一期丸糯米は當限受渡し中先限共出來不申に前場を終る

正米市場

		公定相場	出來高
一期蓬萊米	當	受渡し	
	中	六、四四	一六〇
	先	六、五五	一八〇
一期丸糯米	中	受渡し	
	先	不申	
總出來高			三四〇

大阪期米
▲前場

節	當	中	先
一	二一・四七	二一・六二	二一・六六
二	二一・五〇	二一・五四	二一・五三
三	二一・五五	二一・五七	二一・六六
四	二一・五七	二一・六二	二一・六九
五	二一・五九	二一・七〇	二一・七七
六	二一・六四	二一・七九	二一・七八
七	二一・六二	二一・七六	二一・七八
八	二一・六二	二一・七七	二一・八〇
九	二一・七三	二一・七九	二一・九三
十	二一・七八	二一・八五	二一・九四

東京期米
▲前場

	寄	止	高	安
	二〇・五九	二〇・七九	二〇・七九	二〇・五九
	二一・一一	二一・二九	二一・三一	二一・一一
	二一・三〇	二一・三七	二一・三九	二一・二八

神戸期米
▲前場

	寄	止	高	安
	二一・六四	二一・七七	二一・七七	二一・四四
	二一・六八	二一・八六	二一・八六	二一・六二
	二一・八三	二一・九九	二一・九九	二一・七五

おみやげに
メローを
ジエリーメロー製出し
京町 メロー商會 電二二五

金儲の大將
自働菓子販賣機
自働菓子釣機
大阪[illegible]
池原鐵造所

會葬御禮
[illegible]山東正二郎

先妣陳苑芳（[illegible]）儀豫而赤十字醫院ニ入院中ノ處藥石效無ク八月十二日零時二十五分死去致候此段生前辱知諸彥ニ謹告ス
追而葬儀ハ決定次第[illegible]通知申上候
昭和七年八月二十日
臺北市新富町三ノ五三
長男 陳榮華 次男 陳榮光 [illegible] 陳英光 [illegible] 陳明 [illegible]
親戚總代 [illegible]
友人總代 吉田耕治 [illegible]

先考陳氏少儀[illegible]
昭和七年八月二十日
[illegible]
家 陳萬三 [illegible]
長女 [illegible]
親戚總代 [illegible]
友人總代 [illegible]

風ならキツト治る
感冒 バンコー 特効藥

氷とアイスモナカは
福々喫茶部

リン病
消渇とんだけ慢性も七日
京都府[illegible]

公社債諸株式賣買
長期清算取引
㊥
大株一般取引員
松井輝三商店
大阪市北濱一丁目
電話本局[illegible]
[illegible]
株式賣買案内[illegible]

會葬御禮
重田榮治

會葬御禮
川副龍雄

ヤマサ醤油
食べて美味しく使つて經濟
ヤマサ醤油株式會社
宮内省御用達

殘月譜 (260)

志乃田廸司作
清水三重三畫

刀（三）

前瓶越しに日は暮れて行つて、街道の松並木の上の方に、うす明りが漂うてゐるのみとなつた。

「お腹いたな、茂十」

金作が、もう腹狩屋に見切はれて云つた。

「馬鹿を云へ、今日は大將の懐中に、飛び道具があるんぢやぜ」

茂十が、力づけて云つた。

「うむ、飛び道具も飛び道具ぢやが、しこたま金もあるからなあ」

金作が、金のあるのを得意さうに云つてのけた。

「これ！聲が高い」

茂十が制した。

「何ぢやぜ、街道筋では、めつたに金の話しなんかせんもんぢやぞ」

「さうか」

「さうともて、ちらりとでも金の話を耳にしてみろ、惡心のない奴でも惡心を起さあ！」

「なるほどなあ」

「氣をつけろよ、金州」

さかんに、茂十は金作をたしなめて居る。

「大將」

茂十が、喜衛を呼んだ。

「何ぢやい」

「大將は武士の子ぢやと云ふぢやないか」

茂十、大きな聲だ。

「聞ふよ」

「さうだ、と云つておくんなさいよ、大將」

茂十、それだけは小さい聲だ。

「武士の子だと云や、茂十の如き小盜人は逃げらあ。なあ」

茂十、不平さうだ。

「大將」

「何ぢやい」

「暗い道は、うた、うたふに限るつて云ふぜ」

「さうかい」

「どうぢや一つやらうか？」

「ああ、茂十、やつてくれ！」

「淵婆情だぜ」

「いいなあ」

金作が、調子に乗つて、その暗がりなるべく茂十に、くつつくやうに歩いて來る。茂十は茂十で、なるべく喜衛に、くつついて歩いて居る。

「何をやる？」

と金作。

「三十三間堂をやらう」

へもとは、熊野の[illegible]の背に

「おい！」

喜衛が笑ひながら云つた。

「えらく、聲が出へるぜ」

「北岸は近ふ所なんで—」

と茂十、負け惜みを云つたが、

「おい、金州、その先きの山越さまのある所ちやねえか、此の間、追剝が出たのは？」

「さうちやぜ、あすこは何處からも來れるからな」

「さうぢやな」

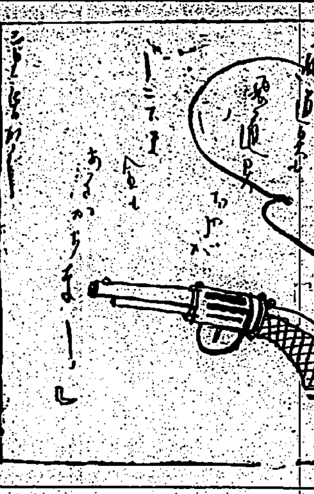
すつかり、往還場所の騷ぎぢやない。

「おい〳〵、さう、龍にくつつくなよ」

と、喜衛が苦笑して云つた時だ。前頭を、かさ〳〵と云はして、突然。

「おい！待つた！」

と聲をかけた者がある。



「今は大人の懐中に飛び道具があるんぢやぜ」
ウムし、飛び道具もとがだ、しこたま金もあるからなあ」

新時代の貞操とは

現代女性の貞操觀を檢討する

神近市子

今までの女性は、貞操を持つてゐたのではなく、持たされてゐたのであります。社會とか夫とかにあづけてゐたやうなもので婦人自身のものではなく、男性のもの或は社會のものであつたやうであります。それ故完全なる貞操は、婦人の獨立した生活と共に婦人の手にかへつて來るものと供じます。現に資本主義制度の下にあつては、資本主義制度下における經濟的獨立であつて、將來の經濟形態でなければ、部分的な獨立であると云はなければなりません。これによつて、よほど

貞操に關

する觀念が變つて來てゐます。即ちあづけてあつた貞操を自分のものとして、自由にそれを行使するやうになります。その極端なるものを云ひますと、尖端ガールなどがそれであります。何等の報酬を受けることなくして、男性と交際をするのは極端なる現はれでありませう。しかしそれは必ずしもいいと云ふのではありません。それでは新しい社會にかては一體どういふものを貞操と呼ぶでありませうか、といふ問題にぶつつかつて參りますが

その形は

要常に違つて來ると思ひます。形式的なものから實質的なものに、強制的なものから自發的なものに變ります。そこで今までは相手の男を大切に守つて變へないといふところに貞操の意味を有してゐたものが、反對に相手の男は變らうとも、その婦人が自分の感情と要求を裏切らぬ場合には—例へば、金錢のため、或はいろ〳〵の感情のためとか自分の名譽、贅澤のためとか、それらを求むる感情—さういふもののために、自分の身を賣らない場合を意味するやうになつてまゐります。即ち相手の人に對しても全部的な愛、精神的にも

肉體的に

も全部的に自分を忘れしめるやうな感情をもつた場合にのみ相手を許すといふことが貞操になるのだと思ひます。かうした感情は決して新しいものではなく、歷史上、幾多の婦人の場合にも見出されたことであります。し、一般的にもそれを認めるやうになつて參りましたが、今後はそれが一層一般化されて特殊なものでなくなると思ひます。昔から金錢のためや、地位を得やうとするために、さうした關係にあることは、最も輕蔑されたものであつて

決して珍

しい感情ではないのであります。婦人がそれをはつきりとした自覺の下に選ぶやうになるか否かによつてそのことが從來の歷史上のさうした場合と異なつて來るものと見られます。近代人の一般的貞操に對する考へも大變かはつてきて居ります。が、いまだに男性或は社會のれいへ因物と考へてゐるやうな時代錯誤た人もありますが、時代の流れはさうした古い思想を押し切つて新しい道徳へ進んで行くのであります。その過渡期には往々

變態的な

極端な現象をさへ呈することがありますが、新しい社會觀と共に貞操觀も正しい觀念と自然とによつてつくられねばならぬと思ひます

洋裝斷髮の

公認モダーン屋臺店（東京）

◇婦人の職業戰線は近年ます〳〵男子の領域へ進出めて目覺ましき躍進振りだ。女學生の新聞賣、ポストガール、ガソリンガール等に若き女性の街頭進出は遂に屋臺店に迄食込んで堂々しい店開き振りを見せてゐる

◇公認の駄菓子屋、と云ふと大がい水壁だらしの婆さん位に想つて居ると大間違ひ、御覽の通り最近日比谷公園に洋裝斷髮と云ふ見るから清々しい屋臺店の駄菓子屋さん、否、モダーン・ケーキやさんの現はれて坊ちやん嬢ちやん方に愛嬌のいいサービスをしてゐる

◇屋臺の横には『東京市役所公認』と書いてある所、いかにも商賣的らしい。綠陰にひねもす陣取つたこの駄菓子やさん我等のオワシスとばかり毎日の客熱を上そに、いとも商賣に餘念がである（寫眞はモダン屋臺店）

蟹と胡瓜の

酢のもの紅たて

夏の料理として手輕で美味です

罐詰類は切つたら直ぐに召上りませんと腐敗して中毒を起します。特に夏はその注意が大切です、しかし夏の料理として手輕に出來るものは罐詰類で殊にカニの酢のものは最も喜ばれます。そこでこのカニの罐詰を用ゐて胡瓜の酢のもの紅たての拵へ方を申上げませう

先づ材料（三人前）としてカニ半斤入半罐、胡瓜二本、紅たて、うど少々、酢、砂糖、醤油、鹽など適宜用意します。そして胡瓜は皮を剝き小口から薄く切り鹽をふりかけて暫くおき、しなしなになつたら、水洗ひし堅く搾り酢洗ひしておきます、うどは細く斜に切り水にさらして灰汁を拔き、シヤキ〳〵にして器におけ水氣を切つておきます器にカニのほぐした物と胡瓜の水氣を搾つたのを體裁よく盛り、上にうどの水氣を切つてのせ、紅たてで少しのせ、三杯酢をかけて供します

三杯酢は酢三勺に砂糖小匙一杯醤油一二滴注いで混ぜます

安政年間の

藝妓の身賣書

近江で發見さる

滋賀縣八幡町誌編纂委員會では八日市で面白い資料を發見した。これは同町[illegible]の町中仁保方太郎方から安政二年十一月に記した藝妓に身賣する際の契約書が現はれた、即ち當時の京都市相國寺門前町之内町萬屋幸七が娘さとを同市河原町通り竹屋町下る[illegible]町[illegible]屋兵衛方へ同市[illegible]仁寺新[illegible]油[illegible]町の口入業[illegible]を經て身賣した當時のものでその文面の一節を見るに

さとを身請致したき人も之有候はばその代金[illegible]何程なりとも何國の何方へなりとも本人得心に候はば[illegible]し[illegible]下[illegible]父萬一さと病死凡は[illegible]に及び不申[illegible]相果て候共[illegible]市分無之候

臺日俚諺

△對の[illegible]のさびしく搖れる下に切望一人泣く　老松町　一[illegible]

△月が上ればコツソリ逃げて消えてなくなる名無[illegible]　新富　無[illegible]

△遠い異國に消空高く捨てられし い日[illegible]　老松町　[illegible]

△浮いた氣でゐちや報りがないよ

命あづける浮き[illegible]　[illegible]　かしく

◎飯がほしさに生るちやなくて人といはれて暮したい　臺北　非[illegible]

（評）武士は食はねど高楊子

追　加

◇お月さんから笑はれましやう川岸に一夜のみさごと　細[illegible]

選者、句數無制限、何人も投出し得、宛名は本欄係

公開欄

本欄は讀者の自由抑壓の中傷は不可▲行數は十五行以内▲匿名にても住所氏名は別に記入の事▲取捨は係にあり

蕃地傳道の自由を與へよ

一高校生

◇八月十二日日附夕刊紙上の新聞に於ける一火野生氏の所論には多大の賛意を表すると共に聊か日頃感ずる所を述べたい。吾々は深山幽谷に物資の供給の不充分交通の不便に幾多の勞苦を犠牲に、愛する同胞高砂族の爲め努力してゐる警察官に對して國民として最敬の感謝の念を捧げるを惜しまない。と同時に一度瞑つて熟考せんか？國を愛するが故に、人の魂を愛し救ふが故に、敢へて叫ぶ。魂を入れ換へよ、空つぽな魂で働く警察官が無いことは無からう？

◇當局にかても此の點既に考慮の事と思ふが消極的に、所謂現代文明の穢々しさに觸れない純眞な彼等の魂を傷つけざる警察官が望むと同時に積極的に、彼等の指導原理として彼等の持つ尖るほしい聖き人生觀宗教觀（耶蘇かも知れぬが）を其の[illegible]さしめよと叫びたい、彼等獨特の精神的物質的文明の向上發展に力を入れる事を痛切に希むのである。

◇依つて理刀殖入余は其徹的方法として三十數年來許可されざる蕃地傳道自由を與へよと絕叫する。遡れば十七世紀の初め既に和蘭國は彼等のキリスト教的教化に大なる成功を納めてゐる事を史上に見るのである。既に井上伊之助氏も愛の爲め彼等傳道を終生の事業とせるも當局の所謂理蕃政策によつて希望を折られて居るのである。同氏の生蕃記に依れば彼等の宗教は其聖らべきものに無らないインチキ宗教とは比べものに無らない[illegible]であり又生活上の道徳律の[illegible]なることに至つては吾々所謂文明人は恥じねばならない。

◇故に彼等の信仰を向上し、物質的向上をなさむとして蕃地に入り彼等と共に祈り歎び親し生活する傳道師の蕃地傳道自由を與へよと理蕃政策の爲めに叫ぶのである。

『義人呉鳳』を觀る

素直に映畫化された呉鳳の生涯

笑はせる『ロボットの創生』

勞乃缽の『義人呉鳳』を觀る『血と涙と私共の凡ゆる努力を續けて約熱と闘つて製作されたのが此の呉鳳で御座います。私共は決して此の映畫を以て滿足してゐるものではありません』ステージに立つた主演秋田ダンの此の挨拶は[illegible]劇プロ作品『義人呉鳳』が完成に至るまでの經緯を物語る凡てを語してゐる

× ×

セットの貧弱など監督と撮影とキャメラマンに配光を他かに偲名の手で撮影された個所もある、[illegible]分苦心の跡も偲ばれる、映畫は頗る素直な態度で制作せられて、ストーリイも短かく纏めたのでイオンとトシカとの間に絡るラヴ・シーンなどを織込んでないので映畫は幾分締くなつて困り析に殺らかのギコチなさを見せてゐるが義人呉鳳が彼の生命を投げ出して彼が偉大な人格と崇高を以て蕃人の教化に終始した大きい生涯の影を素直に映畫化してゐる。映畫を通じて『十歳哭に從』する『四十年の齊過』といふのも國御目に固定教科書に從つて製作されて居る。教育映畫としても素直に受け入れられるものだ

× ×

同時映畫蘭西映畫ルイ子主演の『阿里山の俠兒』などに比べられるケレン味は少しもない、エキストラの蕃人の動きなども破綻を見せず手際よく動かしてゐる

× ×

寸劇『ロボットの創生』はナンセンス物として先づ成功、上品に笑はせる、僅か一晩の舞臺稽古で動きも相當だ、須村の博士、秋田、丘のロボット、三浦の博士夫人などり一際の芝居だが[illegible]の博士夫人は地で行つてゐるやうに見えて笑はせてゐる（寫眞は蕃人のロケ）

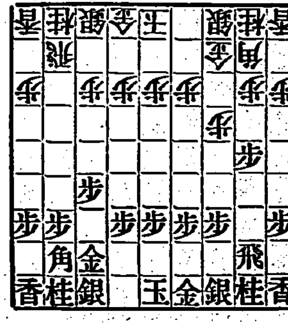
名家敗退將棋（一六）

（石井氏一回勝二人目）

平手　△六段　飯塚勘一郎

先　▲六段　石井秀吉

▲石井氏（持駒）ナシ



（圖は二三金迄の局面）

△飯塚氏（持駒）ナシ

▲七六歩△三四歩▲二六歩△八四歩▲二五歩△八五歩▲七八金△三二金▲二四歩△同歩▲同飛△二三歩▲二六飛△八六歩▲同歩△同飛▲八七歩△八二飛

▲石井六段曰く　二六歩五六歩五四歩四八銀と五七に繰上げ位を張りつつ敵の模様を見る運びもあるが先手番だけに變化を避けて大事を取つた

▲飯塚六段曰く　八四歩は相居飛車の策戰で多く形は定まるが四四歩と角道を止める形ちは位が低過ぎていけないでせう

▲石井六段曰く　二六飛は定法であるが二八飛と引いて沼いても矢張り先の味は變りさうで其の運びを考へたがよろしいと云ふ自信がつかなかつた

▲飯塚六段曰く　八六歩は六二銀と上つて五四歩と突いて銀を中央に繰上げる運びもあるが歩を持つが本手の樣に思つた

▲大崎八段講評　先手二六飛と位を張つたは當然で二八に低く構ふるが當々多く後先手番では位のよろしい方が勝實に先の意を發揮する所以で二八飛と引くが如きは決して無理に合はない後手八二飛と辛抱する手で八四に位を張る趣向は古い定跡でも研究の進んだ現在では飛が同じ形となれば確實に損である

臺日案內

料金　[illegible]

書籍

書籍奉仕特賣　[illegible]

藥種商

月やく　[illegible]

寫眞

カメラ交換賣買歡迎　[illegible]

高等理髮

馬場理髮館　[illegible]

時代の理髮キング　[illegible]

自動車

自動車　[illegible]

料理屋

五錢めし　[illegible]

雜件

洋服ダンス　[illegible]

習字用半紙　[illegible]

和田はメガネ專門　[illegible]

冷西瓜　[illegible]

小貸金　[illegible]

バイオリン尺八　[illegible]

頭痛にバラフウム

新發見（頭痛ぬり藥）　[illegible]

わきが　[illegible]

乳化粧洗顔用
ツバメ石鹸
美は拵ふものではない
日毎に肌の伸びる程
ツバメが育てる肌こそ
自然美！

ハミール

B—185
つめたくておいしい
レッキスの一杯で
胃腸が丈夫に……
骨格が逞しく……
便通が順調に……
健康が増進いたします
品質第一
レッキス
美味…榮養…殺菌…整腸…の嗜好飲料
元賣捌　蜂ブドー酒本舗
販賣店　和洋酒食料品店・藥舗

タバコのみの
スモカ歯磨
「手巾と手袋は常に白であつて紳士じやョ」
「成…で服裝と齒は常に黒いがお嗜みで…」
定價　十五錢
各藥店・小間物店にあり

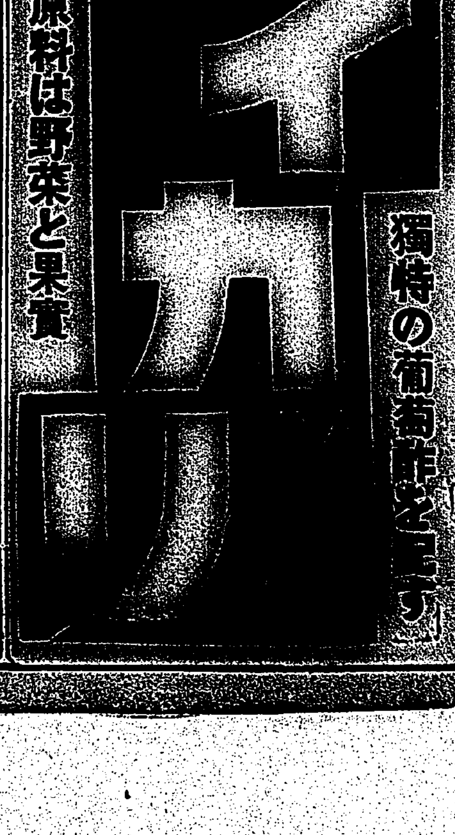
伯村博士創製

健胃整腸　ヘルプ

腸胃カタル特効藥

（全國各藥店にあり）

定價　五十錢　一圓　三圓



原料は野菜と果實
イカリ
獨特の葡萄酢を呈す

漢文臺灣日日新報

滙水跌落對策不提出議會
暫時靜觀聽其自然
藏相以下大藏腦部意向決定

二十日東京電。滙水昨今再三跌落。大藏省當局。不安注視。以爲暫且唯有放任而已。依然袖手傍觀。唯堀切政務次官一人。懷有意見。卽以如是跌落之甚。滙水平衡資金等對策。所當講考慮之期已近。高橋藏相。以下首腦部之意向。對于靜觀。非待其落至自然。無所施其策。決定臨時議會。不提出滙水對策。藏相財政演說中。亦不論及云。

議會開會時民政黨
首應質問滙水安定

二十日東京電。民政黨。重視滙水慘落問題。目下首腦部間。力集中外調查材料協議。其於議會。或於二十五日開會劈頭。町田總務。首先質問。或至急定策請言政府。然首腦部意向。當面問題。否何程度。用何方法。安定滙水。爲其急務。如一部所傳新平價切下之說。爲其次考慮之問題。目下務傾全力。期其安定云。

北滿水害災黎救恤
臨時議會要求經費
全國努力計畫

二十日東京電。北滿水害災黎救恤。財界婦人團體。全國有種々計畫。政府本銳意研究國家救濟方法。來臨時議會。令提出經費要求之外。又陸軍更擬患者醫療。一般防疫等。徹底努力。關係當局。目下急作具體案云。

大藏預金部
資金貸付利
三分二厘

二十日東京電。預金部資金貸付利率。大體最低三分二厘。九月預金全部運用委員會。合應附議決定云

一年生國語讀本
來年改善
一切不起價

二十日東京電。文部省。以改善小學校國定教科書之案。擬自來年四月起。得尋常一年生所用國語讀本之稿。刷爲四色。紙數相當增加。一般財界不況之際。抱教科書。絕不起價之方針。與出版會社折衝。去十九日。旣與合議協定。決定照現在定價發賣云。

美日滙落
廿二弗七十五仙

十九日紐育電。美日滙水屢次暴落。昨今更落七十五仙。爲二十二弗七十五仙云。

不動產資金
融資補償
本島商工均霑

十九日東京支局特電。爲救濟農村中小商工業者。

中外要電

御賜植民地救療費

聖上有旨。二十日。以救療衛生獎勵之意。賜內務文部兩大臣。總額四百五十萬圓。更賜拓務省所管各植民地救療費三十萬圓。以上御賜金額。合計四百八十萬圓云。

貴族院內示會內容

東京消息。政府對貴族院各派代表。時局匡救豫算案內示會。去十九日午後一時十五分。開於首相官邸。齋藤首相敍說。高橋藏相說明如左。政府鑑於衆議院決議。及世論趨向。講究時局對策。擬行三年繼續事業。信爲最合最有功效本豫算國家負擔六億。殆仰公債財源。其爲地方負擔者。照國家提供四億圓。以上合計十億救濟以地方。加藤政之助氏曰。來年度以後如何。藏相曰。今年七箇月因少。八年度一年分其額頗多。加藤氏曰。六億圓中。含有滿洲事變費耶。藏相曰不含。加藤氏曰。滿洲事變費按有幾何。藏相曰。將來不知。務減少之。不至如政府所憂慮之非難。午後二時終散會云。

七年度豫算四億餘

昭和七年度追加豫算綱要十九日發表。七年度時局救濟所關。爲國庫負擔經費。總額一般會計一億六千三百萬圓。特別會計千三百萬圓。計一億七千六百萬圓。要募公債。充其財源。此外地方負擔額。八千七百萬圓。結局七年度。地方中央經費。總額二億六千三百萬圓。又歲出入追加豫算額。合計一億六千三百四十萬三千圓云

外相東洋門羅主義

外相於臨時議會外交方針演說。且於二十日決定。合應宣言確立東洋平和之一道。不外日滿華三國。充實其國家實力。互相扶助。高唱亞細亞之事。經亞細亞人之手。自行處理卽行東洋門羅主義。指摘聯盟及調查團無能力。並詳述滿洲建國外交條件。與調查團會見內容。任命武藤全權事情。軍縮會議經過。及蘇俄漁業協定等云

武藤全權一行赴任

東京消息。武藤全權。小磯關東軍參謀長。以下一行。二十日早朝。集陸軍省。辭荒木陸相。眞崎次長。駕自動車。遙拜二重橋。九時乘燕號離京。夜投鳥羽。次擬參拜伊勢神宮。桃山御陵。辭於大阪宮島。各一泊。經朝鮮赴任云

內地對蓬萊米
認識不足

十九日神戶特電。臺灣米移入制限反對期成同盟會一行十三名。定刻入神戶港。卽乘特急上京。一行中貝山。小松。郭廷氏語云。吾人在臺內之主張。中央尙未徹底。內地人對蓬萊米。認識不足。故對此問題。吾人應十分努力。爲之略言也。

總督到鑛山
入坑視察
約經二時間

初巡東臺灣之中川總督。十九日午前十時半。抵瑞芳金山。直入鑛山事務所。由高橋技師。顏國年氏等聽取採鑛狀況。次視察藥式精鍊所。十一時半出發。到金瓜石。在會社事務所。由後宮田中兩氏。說明採掘狀況約四十分。午餐後午後二時半。一行轉服作業衣。約以三時間。入第三長仁鑛第五本坑內。視察採掘實況及選鑛所。次于田中氏宅。脫去作業衣。是日雖天候酷熱。總督毫無疲勞之色。又二十日午前八時半出發。前往蘇澳

臺北市公會堂設計
爲近代式四階
邀關係者說明設計

臺北市公會堂設計圖。旣完成。欲期無遺憾。由西澤市尹主唱。于十九日午後一時。會集市常置員。市內實業界代表者。日刊新聞代表者等。市則西澤市尹。川添助役。永野土木課長。永島技師。吉田庶務課長等列席。在市尹公室。就公會堂設計圖求批評。首由西澤市尹簡單敍禮。永島技師說明設計圖。時有種々質問。該新設公會堂。敷地在舊廳舍跡三千八百坪。以京町側爲正門。爲近代式四階堂々建築物。而爲地盤關係不設地下室。一階千二百二十坪。二階八百四十五坪。三階六百五坪。四階二百三十一坪。總坪數三千二十八坪餘。建物東西長六十二間。約互二丁。二階設大食堂二百七十坪此處足以收容二千人。一階大廣場。正面爲舞臺。得以收容千二百人。此外舞臺對向二階、三階、四階。得收容千七百七十人。而市則希望改善得收容至二千人。三階欲充爲繪畫展覽會場其他。設有應接室百六十一坪。其他有多數小間。貴賓室兼來賓控室等設十二階。各會場昇降。利用昇降機。完成之際。如新年交禮會。始政紀念祝賀會、大講演會。大演藝會等。全部利用公會堂其對採光通風等。亦甚留意。且屬熱帶地。對爲冷房換氣裝置。然此冷房裝置費。因不計上于豫算。故對公會堂豫算六十萬圓或爲所額。又是日出席者間。有出意見者。爲大廣場所收容人員。稍嫌舞臺後面。更增二階以上突出俾得增收容二百數十名如何等。要之市一邊。應將合其他細部希望。對井手技師。提出意見也。

苑裡產米
籌設改善會

大甲米穀檢查所管內土礱間業者三十餘名。去六月一日。設立大甲產米改善協會。而該檢米所轄內苗栗郡苑裡庄。產米雖良。因地理上關係。編入新竹州。不能與臺中州協同此次同地人士奮起。謀改良米質。發揚聲價。欲另設苑裡產米改善會。以同庄地主農民土礱間業者爲會員。現由庄當局準備中。於本月下旬。舉發會式。

內田外相滿洲國承認案
國府接報大爲狼狽
羅外長請廬山諸要人訓示

十九日南京電。內田外相。因日滿條約締結。以對聯盟之形式。承認滿洲國之策。提出閣議。此報一接。國民政府外交部。大起衝動。羅文幹外交部長以下大爲狼狽。自受政變餘波來。南京政府。別無協議方法。羅總長。十九日午後請之廬山蔣介石。汪兆銘。宋子文等。訓示對策。近國民政府。且對外發明云

高雄一市二郡
蔬菜展磋商
在岡山公會堂

高雄岡山鳳山一市二郡聯合第六回蔬菜品評會。本年輪値岡山郡開催。去十八日午前十時。由主催郡招集各係幹部。於岡山公會堂。開磋商會。議一切進行方策。開會期擬開於明春一月十五、十六兩日間。會場豫定岡山公學校而關係市郡出品責任點數卽高雄市三百點。鳳山郡三百五十點。岡山郡三百五十點。議至午後二時告終。是日出席者高雄市有細田技手及張阿益技手。鳳山郡有安崎及上山兩技手岡山豐澤郡守。尾方郡屬其他勸業係各職員全部出席云。

七百餘名盛裝蕃人
參列移住宣誓式
各社頭目捺拇印于宣誓書

既報在蕃社分室前。舉行移住宣誓式。參列蕃社頭目十九名。及勢力者四十四名。蕃丁六百四十二名。蕃婦二名。計七百八名各盛裝。自右邊萬大蕃。巴賴蕃。眉溪蕃。斗樣蕃。土匪蕃。照順序整列于知事之前。於莊嚴裡舉式。時而澤井能高郡守。介亦間囑託爲通譯。宣告依總督命令。將霧社反抗蕃所有地處分。及蕃社移住。前占領反抗蕃土地。事件後沒收于官。今回決定分與諸社。次言及移住地及條件等。各社所受分與土地。其個人分配等。宜受官廳指導。且各社蕃人。今後宜一層親密。互相融和。謹守官命。努力生業萬一惹起紛爭。宜速報官受官裁斷指揮。然若有不服官命。各出自行動者。官廳卽嚴重處分。望各宜注意。無得違背云々。於是各頭目。順次捺拇印于宣誓書。次竹下知事。訓示一場。其對於是。四頭目。躍述答辭。略謂今回得余等所能滿足之土地處分及移住。一同不勝感謝。今後誓要服從官命努力于耕農。終更賜與以赤牛三頭。米酒十罐。及米。魚等。於是本島理蕃史上特筆之宣誓式。于正午無事閉式。

作圓陣交驩式
頭目述希望

各社頭目。及勢力者十五名會于櫻臺。作圓陣。舉交驩式。先由斗樣蕃頭目。謂我等均服官命。皆爲善良蕃人。而昨年事件。亦無一人犯法。霧社蕃。因多有不良之蕃人。致惹起該事件。我等皆係兄弟。今得移住于兒蕃社之土地不勝欣喜。終則二三頭目及勢力者。亦陳述希望。於是互相飲酒。誓不破今日所約。於和氣靄々中。各率其衆歸社云。

八月以後團匪賠款
國府財部斷然不支

十九日上海電。據國民政府機關通信所報。財政部。決定對日本之團匪賠款。八月分以後停支之事。非公式發明。日前支出七月分。是因停止手續。外交部未完。八月起絕對不支云。

釋放者保護
初回大會

第一回刑務所釋放者保護事業大會。十九日午前九時。開于督府會議室。出席者三十二名。後藤高等法院長。竹內高等法院檢察官長其他。三成協會長開會詞後。有總務長官告詞(小濱內務局長代讀)。熱心協議磋商。以期斯業之發展。午後三時。初日々程告畢。一同赴草山衆樂園。臨席三成協會長招待晚餐會。

長官告詞

(前略)惟釋放者保護事業者。使有罪者勿再犯罪。爲之誘導扶掖。俾得爲善良國民。生活于社會也。此卽積極的。增進社會福利。于消極的。確保社會安寧。而本事業之重要性。亦實存乎此。督府關斯業之發達指導。亦夙意銳努力。而其成效。所待于保護第一線健鬪之各位協力者多。冀全島釋放者保護事業從事者各位體諒上記當局之意。爲斯業發達。爲全臺灣之福祉計。更加一層盡與之也

又大會第二日之二十日午前八時。將見學保護關係官署及事業如次。臺北刑務所。臺北一新舍。臺灣共濟會。人類之家。愛々寮

臺銀降利之事若決
島內銀行必隨而降
信用組合亦宜倶降

臺北組合銀行。十八日木曜會。關日銀降利之事。協議島內銀行方針。臺銀降利若不決定。則他行方針不能定。欲俟臺銀決定乃追隨先降貸出利率。次降預金之利。而組合之貸付貯金利子。從來甚高。亦須勸其降下也云。

抗日沒收邦人綿絲
領事抗議外交部

十九日南京電。當地西亞洋行堂山桑松氏。去十八日。僑民會保管中之綿絲二捆。於已行西亞洋行運搬中。爲抗日會沒收。直經上村領事。要求卽時發還。竟置不理。十九日。正式向外交部。嚴重抗議。排日運動屆烈、恐引起舉邦人商店事業又復惡化。前途堪憂云。

檢查學校備品

斗六街當局。依恒例由左記日程街役場書記楊江河氏外二名。出張于街管內之各小公學校。檢查學校備品。

八月二十二日斗六公學校

八月二十三日溝子埧公學校

八月二十四日斗六女子公學校。

八月二十五日斗六尋常高等小學校及斗六幼稚園

八月二十六日林內公學校

八月二十七日內林公學校

剪竊現金金器

嘉義郡大埔庄大埔人。現住嘉義市元町一丁目五八林中茨。年十六。無職。與不良少年爲伍。流落爲剪竊。每於市內東西市場或戲園人衆中。剪竊現金及金器。去十八日。在東市場。被嘉義署署員中畑刑事捕住云。

枋寮旱坑子
兩橋開通

新竹郡下新埔枋寮間之指定道路。前由地方篤志家醵金六千餘圓。架設枋寮旱坑子兩巨橋。者番竣工。去十九日上午十時。由郡內務部長並伊藤郡守臨場舉開通式。

臺南市西門町通
家屋新築促進會
按廿一日夜舉發會式

臺南市市區改正。前者因督府於時局救濟豫算中。欲將該改正費核入。市當局。以財源有自。爲圖一氣呵成。行大規模之改正。遂變更從前之改正案。別樹新計畫。俟自本年度起提早著手。繼續三年。進行其工事。亦經由市葉山土木課長。偕橫尾庶務課長。上府接洽。計其總工費。約須八十萬金。一時傳有頭緒。如西門町各丁目。則按於本年中興工。其設計與測量。行且畢事。當此衝之店舖。須遷徙折毀者。亦旣對各業主。住戶。先行通知。更欲於近日中。邀集磋商。使於一定期間。從速遷移。詎知督府今回該救濟豫算。臺南市分得者。僅三十一萬五千七百圓。是以新計畫之三年繼續案。因經費來源杜塞。實現無望。市當局不得已。乃就該豫算範圍內。爲應急施設。先行興工。其改正線。則由花園町二丁目之花園橋起經寄町車橋下。至驛站後埋造暗渠。闢廣十間道路延長五百十四間。另一線由綠町高等小學校前。至臺南門外新大運動場。此球場。開一十一間道路。再由野接縱貫道路。延長九百二十六間又一線。係自第二聯隊前經北側車橋下。開一新道至北門町約百間。至於由清町車橋下至驛站後之新開路。其間欲新設一貨物停車站。而現驛站後至第二聯隊正門處。將來亦定折一新道。以相聯絡。又西門町諸舖戶。爲期市區改正後。家屋新築之統一與促成。由林遠楊子舒。楊猪尿。並三郊組合正副組合長等。出爲發起。組織一西門町通家屋新築促進速成會。置辦事處於西門町四丁目楊猪尿處。現加入會員百餘名定二十一晚七時。假醉仙閣旅亭。舉發會式云。

下淡水溪
工費追加
適于農村救濟

下淡水溪治水工事促進。鳳山關係地方代表者。本間榮吉。白石喜代治。渡邊發藏諸氏。訪督府當局陳情。此時。適該溪增水十五尺以上。氾濫四方。總督由鐵橋上。聽取鳥居臺南農事部長說明。今回該工事追加豫算三十三萬圓業已發表承認。關係者。非常歡躍。又據陳情者之白石喜代治氏談云。發表豫算三十三萬圓。亦可促進工事。然大部分係勞銀。得裨益農村不少。要于現狀。此回之追加工事。於農村救濟。大有意義。而關係地方民負擔金今後尙要再納幾年。宜先發行外債。充工事費。然後償還。會進言知事。懇爲考慮之也。

竹山郡下
筍價暴落

竹山郡下。唯一之大宗產物。其稱筍干。每年產並不下百萬斤。好況當時。百斤唱兌四五十圓。爾來景氣不佳。行情日落。如本年春初。百斤行情。曾降至十一二圓。然因夫婚居十月半節前多銷。兼之雨天貨乏。故新貨上騰。在山百斤加一。價自十四圓左右。升至十六、七圓。嗣後每日天晴。貨盛產出節後。百斤價格。陸降爲十三、四圓云。

關西店子岡
富農組發會

新竹郡關西庄業佃會員。所組成之富農組合。去十七日。由輪湖州技師伊藤郡守及諸來賓臨場。舉發會式。首由徐助役。說明規約。及選舉組合長副組合長。幹事各一名。終則郡守並輪湖氏。先後祝辭式畢。入夜七時。在同處婦人國語練習會內。繼舉農村教化夜學會之發會式陳會長報告。組織經過。及訓示。次中原郡視學祝辭閉會。

祖師廟
廿夜放水燈

萬華清水祖師中元普度。本年一保値東。卽基隆瑞芳文山各地人士。爐主李百祿氏。竭誠籌備。定二十夜放水燈。二十一夜普度。盛況可期。又同地媽祖宮普度。本年值東係延寄府永定縣人士。去十八夜放水燈。十九夜普度。大龍峒保安宮。大稻埕慈聖宮。亦來助祭云。

貨物自動車疾走
轢斃乘自轉車魚商
運轉手被嘉署拘去取調

臺南市東門町一丁目昭和貨物自動車四九五號。去十九日。由運轉手林海理年二十二。運轉來嘉。午後五時四十六分。積載貨物。由大通路向嘉義驛前疾走如飛。至四川館前。運轉手失愼。轉過右側。飛過十字路。至臺南新報支局前。遇嘉義市朝日町五丁目二〇鮮魚行商者戴公岡。年二十七。自驛前乘自轉車至同所。被轢倒右腿骨斷。陷于人事不省旋入回生病院治療。同六時半死亡。嘉義署鈴木司法主任現場檢證後。將運轉手拘留訊查中云。

炊飯不愼失火
全燒一棟

嘉義郡水上庄番子寮人魏張氏注。年五十。去十八日午前十一時。其家出火。至十二時撲滅。全燒一棟。失火原因。聞爲同居人周菲。年十。炊飯不愼云。

大埔公學校
宿舍全燒
身負重傷危篤

海山郡三峽庄大埔公學校高口校長宿舍。突於去十八日下午二時發火。適三峽分室。庄役場。壯丁團等馳到現場活動撲滅。該宿舍已成灰燼。高口校長全身受傷。陷於重態。恐有生命之虞。急護送入臺北醫院。應急治療。其發火原因。爲同校長。歸自臺北。家族內渡。自把揮發油爐燃火。欲行炊事。因失愼爆發。全身被焚。痛不欲生。急跳入附近水池內。小頃見火勢漫天。又欲闖入搬取貴重品出。某致目阻之不果。雖官民一致。合力打撲。奈其日風勢甚强。計其損失。達三千餘圓。是日西江郡視學亦奔到現場檢查。又翌十九日。有稻元內務部長。偕段塚州視學。到臺北醫院慰問之云。

服毒自殺未遂

新竹郡香山庄人張淸開之次男定玉。年二十六。去十六日早。牧牛中。與淸火淸秀兩弟口角。歸家憤慨。被父叱責。故萌厭世同日傍午。在宅後服毒。藉嚇其父。苦悶中。延醫治。得以不死。

新竹

業主懇談

新竹郡聯合業佃會。欲勸誘加入。將開業主懇談會。各庄開會日子。湖口十八日。香山二十三日。紅毛二十四日。新埔二十五日。關西二十六日。六家二十七日。舊港二十九日。

考運轉手

新竹州運轉手免許試驗。訂來九月二三兩日間。在新竹市新公園。執行實地之運轉試驗。試驗官。爲淸水州技手。凡希望應試者。限至本月二十三日當向保安課提出願書。

道路視察

督府道路港灣課長鈴木氏。去十九日午後五時二十六分。由南部蒞竹一泊。翌二十日早朝與久布白州土木課長同道。至竹南郡下淡文湖。自該處乘自動車。至竹郡香山庄。觀察縱貫路工事。

竹山

盧報遇刧

竹山郡竹山庄勞水坑人黃草。年四十八。去十日夜間。倉皇赴同地派出所。報稱已往外處收賬數百圓。歸途在附近路上遇兩强盜。各手執木棍。强奪其金品。及所帶之金表鍊一條而去。警官覺其所供言詞。及行動。頗有可疑之點。卽將本人。送交郡警察課。在佐々木司法主任之手。取調結局。判明黃草。曾對同地保正。余廷枝氏。賒欠竹材若干。避往他方。嗣後將所收金項費消。或排濟別條債務。算前曾與余氏契約。故要與保證金三百圓。恐一時不能還納。被他解約。及取消保證金。乃虛報遇刧。反被同郡告發。按近日中。送檢察局云。

班主死亡

屢報新班如意社隊仔戲。前月間到新竹市新舞臺。開演數十天。開後班員中。犯姦通人妻被告訴。及扮演猥褻行動。被當局處科料。致令中止。又因死一班員。及負債所關。正在進退維谷之際。有好事者。出爲奔走。使其續演十天。爲生活救。不料至去十五日演畢。欲赴別處。途宿林內。該班主郭水仙。因勞煩過多。突然吐血。死于斯地。可憫也夫。

嘉義

迎神陣頭

嘉義鎭靖候城隍。於曆八月一日。舉行祭典。翌三四兩日繞境。回日有四十一境神輿。及陣頭參加遊行。其他團體決定者如左。粉玉樓。翠芳園。文明樓。壽芳。宜春樓。金花亭。鶴[illegible]亭。新世界。水田所。圓山樓和。嘉義米穀同業組合。以上各二臺。金瑞社商品西四臺國公司。國際通運。共二臺。白井藥局。回生醫院。共二臺三寨合資。南部無盡共二臺。九三藥房。加士紙店。共二臺淡和社醫院。嘉和社錦紙商。各二臺。嘉禾米穀商四臺。振榮興。嘉北永昭共二臺。嘉聯倉庫。內外食品商社共二臺桂花亭。美術樓。遊樂園。共二臺。國野。植松。天福。三材木店共二臺。和洋雜貨同業會四臺。勝田醫院。加藤病院漢藥組合。共二臺。計五十八臺。目下尙勸誘中屆時車龍馬水爭奇鬪巧。定有可觀。而本年福州幽比之例年更有新鮮云。

頭圍某甲之妻。宣謗人是非。害人不淺。不改過。人且謗汝則將如何。(欠忠恕)南部某庄役場技手。每夜在夜學會窓邊窺探女子。變態之色情狂耶。(太無謂)投稿罵人是非。有一而再。再而三者。可謂教唆之至。疑出於小人輩之感情作用(第三者)求生命保險勸誘員甲去月上旬。到員林街。勸誘其窓友某乙。乙以已經加入他保險會社拒之。顧甲爲生計上之成績計。求其假裝加入。製成加入一千圓之申込書。云欲以示他同窓友。俾得便於勸誘。然終因是涉訟。噫爲人眞處世難也。(如是我聞)

臺中

自聯大會

臺灣地方自治聯盟。訂本二十一日。午前十時起。假醉月樓開評議員會。同日午後一時。於臺中公會堂。開第二回全島大會。由各支部豫定出席人數將近千名。當日本部提案。一宣言文及決議文案。審查所關件。一、關于政治教育之普及件。一、公學校學齡兒童收容力擴張所關。諮問事項。得從自治聯盟目的之最善方法如何。二、各聯盟員。可爲最後之心如何。外各支部及各構成員之提案。凡十數項云。

臨時評議

臺中商工協會。去十九夜八時起。於米谷同業組合。開臨時評議員會。議事一、來二十八日起。三日間。商業美術展覽會將開於臺中公會堂。所關之件一、臺中市役所主催。來二十二日。午後七時。於市民館。開關於市內商工業振興懇談會。選出代表者之件云。

司科料金

嘉義市南門町四丁目人謝見生年三十九。自昨年十二月十日起。借同市元町四丁目人何寄生之名義。營湊淡房。每月納與稅金二十圓。今回被江藤巡查部長探知告發。十八日鈴木司法主任。召喚謝生訊問後。處罰科料金十五圓也。

會事

▲臺北珍石會。訂本二十一日午前九時起。假表町臺灣天地第一教育會館。開珍石展覽會有本間氏秘藏之名石與米山房卷岩石。及林熊光氏之金石樹釋。六舟遺愛珍石等。希一般往觀之也。

▲旣報基隆郡教育會主催之國語班研究會。去十六十七日。開於金瓜石鑛山。議郡下之國語普及具體案。卽一、與役場委員聯絡。二、每日教習國語一句。教材選定。各學校之研究班員。須準備四百題以上。三、小公學校揮給精神之研究。並取扱方法其他等々。

▲渡和公學校同窓會。訂本二十一日午後四時。在同校講堂開

▲新營郡鹽水街方面委員會月例會。訂二十一日午後七時起在同街公會堂。開窮民救助所關協議會。是夜郡井庶務主任豫定出席。

▲鹿港街一公第十五回同級會定來二十一日午前九時。開於公會堂。由各發起人。準備有關引及記念寫眞等。

人事

▲伊藤新竹郡守。去十八日。偕郡庶務課長等。至關西庄馬武督。觀察蕃地產業。並道路開鑿工事。旋歸新竹。

▲總督府小野技師。去十八日午前十時十三分到嘉義。觀察今回嘉義地方豪雨。嘉義市水道被害狀況。

▲元本社板橋通信員翁教讀君此回任中報板橋駐在記者。訂二十日。夜行列車赴臺中接洽。

▲瑞口嘉義郡守。去十九日午後一時。與長谷川庶務係長。同乘自動車於八掌溪。檢分飛行機着陸場豫定地。

▲嘉義郡溪口庄上崙劉知高氏今回發出施療券二千枚。託同庄溪口醫師張兆國氏。施與同庄部落貧者。張氏願將自己之藥代減收半額云。

▲瑞芳庄潘錦瀛氏妻蕭氏。去八月十九日去世。訂二十二日出殯。

臺灣日日新報

主婦之友

九月號

三圓の價値ある大附録を全讀者に贈呈

大附録 大東京名所繪はがき集（七十二枚）

一枚が四五錢もするやうな素晴らしい繪はがきを七十二枚も全讀者に贈呈するので誰でもビツクリするほどの大評判です

世界第二の大都市となつた大東京の誇とする美觀を主婦之友社寫眞部が多大の苦心で撮影したスバラしい名所寫眞集です。總數七十二枚の傑作寫眞のブロマイド式繪はがき集。世界の雜誌界にも空前の大附録を九月號の全讀者へ無代贈呈するので大評判大奮行です。

▲一枚づゝ用ふればスバラしい繪はがきとなつて七十二回も使用されます!!
▲一冊にまとめておけば美しい最新の東京名所寫眞帖として重寶されます!!
▲これだけの大附録を添へて[illegible]
◆八月十七日より廿一日まで日本橋三越にて名所寫眞展覧會開催[illegible]

祕法公開 良人の愛を獨占する方法の座談會

[illegible]

▲離婚問題に迷ふ妻の相談
▲夫婦とも博士になつた奮闘記
▲良人を情人と手を切らせた方法
▲嫁入前の戀人に惱んだ經驗
▲私の感激した未亡人（山室軍平）
▲お金に不自由せぬ祕訣
▲農村に働く主婦の座談會
▲内職成功の五婦人の經驗

廿三年振りに會つた 藤原義江氏の實母の告白（延保きく江）

妻の死によつて信仰を復活した懺悔（森永太一郎）

肺病を治しながら博士となつた療養法（和達博士）

胃腸病を自分で治す根本療法（宮入博士）

お琴に上達する祕傳

宮城道雄先生の新發表で大評判!!

宮城先生が特に「主婦之友」愛讀者のために、お琴に上達の秘傳を誰にもわかるやうに、何も彼も發表して下さいました。お琴を彈くほどの方は見逃せぬ特別記事。

大辻司郎 人氣女優の楽屋探訪記

▲水谷八重子の巻 ▲夏川靜江の巻 ▲水ノ江瀧子の巻 ▲佐久間妙子の巻 ▲琴糸路の巻 ▲田中絹代の巻

三條信子女史の心靈小說が出て大評判

[illegible]

▲地上の星座（吉屋信子） ▲彼女の道（[illegible]）
▲曠野の果（大佛次郎） ▲母の祕密（三宅やす子）

小唄勝太郎の情史

[illegible]

日ヤケを早く治す化粧法

海や山で日ヤケしたお顏を早く白くする方法をメイ・牛山先生が詳しく發表

▲初秋向き流行の子供服の作方
▲男女兒用の秋の毛絲編物編方

東京評判 名物料理の作り方公開

大評判の名物料理の美味しい作り方を各店で特に公開して貰つたもので、御家庭の皆様方のお悦びにトテモ大人氣

▲エスキーモのランチの作り方 ▲[illegible]のトンカツの作り方 ▲天一の天ぷらの作り方 ▲[illegible]

▲お惣菜向きの季節の小魚料理の作方廿五種
▲食慾のきつと進む美味しい病人料理の作方

八方きで一本も誰にも出來る 紋附羽織五百枚を贈呈する大懸賞

當選者には流行の故ニユーネスの紋附羽織をお好みの色に染めて御定紋を附して贈呈するので大評判。急いでお出しください。

五十錢（送料六錢）

東京神田駿河臺 主婦之友社（振替東京一八〇番）

子供の科學 九月特輯 天體と觀察號

破天荒の二大附録付　定價五〇錢

出た!

宇宙の神秘は本誌を見れば誰にでもわかる 廣大無邊の宇宙! 天文特輯號! 見るがよい

特別附録 天體寫眞アルバム
天空の神秘が手に取るやうに見える
全部アート紙使用 四六版三十二頁總美術ダブルトーン

別冊大附録 オリムピツク大競技場模型設計圖青寫眞
我等の選手が水泳日本・跳躍日本の眞價を發揮した、ロサンゼルス・オリムピツク大競技場の模型です。

最新科學グラフ
九月の空（ダブルトーン版）
宇宙の大競技場（原色版）
大望遠鏡の自動裝置（原色版）
海のクイーン（グラビヤ版）
飛行機の戰鬪隊形（グラビヤ版）
月から見た地球（グラビヤ版）
涼しい水上家屋（グラビヤ版）
金星の光で撮った寫眞（グラビヤ版）

趣味の天文記事
太陽系はどうして出來たか（小川清彦）
火星の運河（[illegible]）
銀河の話（鏑木政岐）
月蝕の話（井上四郎）
太陽は何で出來てゐるか（[illegible]）
不思議な土星の環（[illegible]）
日蝕の話（井上四郎）
いろいろな星の色（[illegible]）
星に人が棲めるためには（水野良平）
話の木星の縞（[illegible]）
太陽黑點の觀察の仕方
星雲の觀察の仕方
惑星の觀察の仕方
彗星の觀察の仕方
流星の觀察の仕方

天體觀察工作記事
色消高級天體望遠鏡の作り方
太陽系模型の作り方
やさしい天體望遠鏡の作り方
扇ぎプロペラ快走船の作り方
EF型電氣機關車模型の作り方

其他興味津々たる最新科學記事を滿載!! 見よ! 早く

急げ! 書店へ!

東京神田錦町 誠文堂 振替東京六五六七番　定價五十錢 送料二錢

國産優秀品 ジヤスパー映寫機 科學玩具 子供科學代理部

カーボニン

胃腸病新藥

腸傳染病の豫防と食中毒に

胃腸内の異常發酵を吸收排除し止瀉整腸を迅速ならしむ

說明書見本文献贈呈

發賣元 和光堂

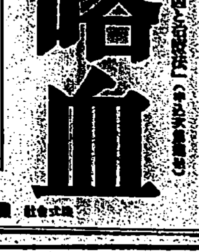
CARBONIN

喀血

トロムボゲンシン

「喀血の原因と治療法」（小冊子進呈）

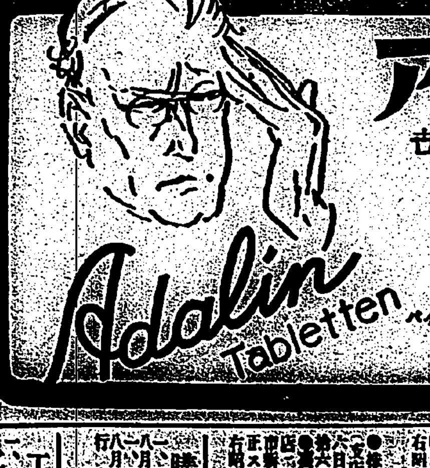
恐るゝに足らずと雖も妄りに血液を失ふことは先づ避くべし 此の本劑を服用して完全に止血し元氣で療養に勉むべきなり



内服用錠劑

T17

大阪道修町 藤澤友吉商店



アダリン

世界的に優秀なる 鎭靜催眠劑

Adalin Tabletten

30錠（0.1）
10錠（〃）

バイエル・マイステルルチウス藥品合名會社

BAYER

AD. 182

足を清潔せよ 水虫を退治せよ

浸透性殺菌力の強い爽快な液劑ポンホリンの使用により水虫、タムシの苦惱は一掃される

定價 四十錢・六十錢・一圓五十錢

水むしに

購買公告 總督府内務局

工事入札公告 總督官房會計課

第二五回決算報告 花蓮港電氣株式會社

大阪商船

近海郵船

[illegible]

臺灣ご匡救豫算の實效

不動產融資法の實施も必要

一

督府の時局匡救追加豫算案は、原案に比べ多額の削除を受けたが兎に角にあと、七ケ月に過ぎぬ當年度一杯に、二百五十七萬圓の匡救費が認められたといふことは、その運用によつては相當な效果を擧げることが出來るだらうと思はれる。國庫決定案にみると、

（一）各河川治水事業費の繰上施行による九十二萬圓（全額を國庫支出）

（二）市區改正工事補助による百二十萬圓（內三分の一を國庫補助）

（三）灌漑及排水工事補助による四十四萬圓（大部分國庫補助）

で殆んど全部が土木工事費に屬するもので、仕事の地方的配分には嫌はれすぎたと思はれるほどに相當苦心した跡がみへる。

二

督府側はこの追加豫算編成につき、中央政府の方針に順應し且つ本島經濟の實情に立脚したとあり且つ事業選擇については最も有效適切にして急施を要する國家的のものを擧げて、各地方になるべく均霑し施行することに考慮したとある。督府が州、市と協力して全島的に土木事業を起し、都會地並に地方の過剩勞力を資金化し併せて失業者に職を與へやうとする企圖は固より結構の事であるが、時局匡救策として土木事業一點張りを以て有效適切案とした點に對し多少の疑問がある。長官の說明によると之ら救濟事業に使役する勞働者延人員は百五十三萬人、その勞働賃金は百四十萬圓であるといひ、直接間接に本島農村の疲弊並に中小商工業者の窮乏を緩和するものと信ずとあるが、內容にみると都會地は現在街路の改修補裝であり河川工事は繰延べされた既定繼續工事の繰上げにすぎず、その他は東部の特殊地域で、延人員の割に實質は甚だ少いのみでなく實際當局が計畫する如く農村の過剩勞力を資金化し都會地の失業者を救濟するに充分であるや否、殊に當初立案當時の農漁山村窮狀救濟案としてなら餘程適用に注意せねばピントが外れたものとなつてしまふだらう。

三

殊に土木事業は勞力第一のやうにみえても支拂される賃金の可なりの分は材料費となる、セメントとか木材、鐵鋼等々で、督府當局は總經費の五割乃至六割が勞働者の手に渡るものとして計算してゐるやうだが、失業勞働者が救はるる點まで之に依て救はれる事は事實とするも果して所期の如き結果を得るや否や、疑ひなき能はぬ。兎角今度の救濟豫算は時局匡救案の名に藉りて押込要求が各省會計に可成多かつたやうである。本島ではかかる不所存なことは無かつたとしても結果に於ては要するに繰延事業の復活を主としたものに過ぎず、失業者の勞働力を資金化すといふ以外にこれといふピントに當るやうな妙案が殆ど計上されてゐない。形の上に於て勞力消化の土木事業は出たが實質的に土木工事以外、例へば產業的匡救に屬するものは何物もないのは寧ろ意外だつた。即ち今度の臨時に現れた匡救事業は何れも單に一局部の一時的潤ひにはなるが果して當初の目的たる農山村或は中小商工業者の救濟として眞幅の效能を齎すであらうか。

四

次にこんどの追加豫算は總督府に於ても州、市に於ても全部公債による事になつてゐる事を看過してはならない、世人は二百五十萬圓の金が投入して過剩勞力を資金化し失業者を救濟して呉れるの歡びにのみ眼を奪はれてゐるが、一面、督府、州市の財政の今後に如何なる影響を與へるかについても充分なる考慮を拂ふ要がある。而も匡救事業は決して今年一杯で目的が達せらるるものでないことは判りきつたことで、いづれ八年度或は九年度までにも及んで、計上されるものと信ずるが、追加豫算に計上される費目は何れも見返しても直ちに收入を伴ふ生產的事業と違ひ、財政的言ひ換へれば一般民衆の負擔を過重するもので、如何に非常匡救策とは云へ、其の間批判の餘地なしとしない。公債政策は一部政黨者流のお題目であつて今日は今日、明日は明日といふ無責任觀に任せざるを得ぬ。吾人はかかる見地から當局の實情としては匡救策の外に更に豫算計上とは別個のもので目下中央當局と折衝中の低利資金借入金の償還延期及不動產融資法の急速施行の實現を希はねばならぬ。之によれば當局の農村にも都會地にも廣く經濟の諸階級に亙つて經濟力立直りに多くの效果を齎すものではないかと信ずる。

日露間に新協定成立か

華盛頓の東洋通は

事實なら日本に有利と解釋

【ワシントン十九日發聯合】滿洲國承認に對する日本の正式承認の際へらるるワシントン外交界に十九日某所より日露新協定成立を傳へられ大なる波紋を捲き起したが、その內容は東亞に於て兩國の有する各種權益に付き明確なる取極めを爲し、然る後日本の滿洲國承認を待ち何時たりとも滿洲國承認を行ふ用意あるを宣明せるものである、而して右協定は一般的諒解の外

一、東支鐵道に關するソヴエツト側權益は完全に保護承認さるべき事

一、日本側はシベリア國境及び蒙古に於ける行動を自ら制限すべき事

一、ソヴエツトの通商上の利益は保護さるべき事

の三重要項目を含むものであるとの事で右に付き東洋通は之を事實とせば日本外交の勝利で日本の立場は有利化する一方ソヴエツトも將來の對滿不安と惑懼を除き自國の權益を維持するに好都合だらうと解釋してゐる

新協定の成立

我外務當局は否定

然し諒解ありと一般は觀る

【東京二十日發聯合】滿洲國承認を中心とする日露新協定成立說がワシントン外交界の注目的となつてゐるが外務當局は正式に新協定の成立を否定してゐる、然し滿洲に於ける權益及び兩國出先官憲の關係並に漁業問題の解決等の事實等より見て何等かの默默の諒解が出來てゐるものと觀測するものが多い

領事證明制度の影響は日本だけ

共同抗議は望みなし

【北平十九日發聯合】領事證明問題に付き中山二等書記官は十八日各國公使を歷訪し、各國側の意向を探つたが、右制度に依る影響は殆ど日本品の受くるものにて、英米側は何等痛痒なく、從て延期引上期延期に就ても英米側の共同抗議の見込み立たぬ事を判明するに至つたが、支那側の態度強硬にて適當的方法もなく來月よりの實施は免れぬ模樣である

駐滿全權隨員

二十日發令

御裁可を得て

【東京二十日發聯通】政府は十九日閣議で駐滿特派全權大使隨員の銓衡を既報の如く決定し御裁可

支那確答を與へず

各國代表の交涉に對し

【南京十九日發聯通】南京駐在日英米獨佛の各外交代表は對支輸出品に對し九月一日より領事證明制度を實施する件に關し、十九日相次で外交部を訪問し支那側の反省と實施期延期乃至免稅點引上に付き考慮を求むる所があつたが、支那側は確答を與へず、今後紛糾は免れぬ模樣である

免稅點の引上

可能性がある

二百元から五百元に

【北平二十日發聯通】中山書記官は佛國公使ウイルデン氏と領事證明制度實施延期に付き懇談したが英米兩國が冷淡なるため佛國のみが日本を支持し得ぬ事情あり延期は望みなきも免稅點を二百元より五百元に引上るは可能性ありと見らる

日米の意見の相違

和協の見込充分

出淵大使桑港を出帆

【ワシントン十九日發聯合】出淵大使は非公式の形式で來訪同伴大使は聯盟の形式で[illegible]、今夕ワシントン發ニユーヨーク經由歸國の途に上つた、二十五日桑港出帆の郵船秩父丸に乘り歸朝する、ピツク氷上選手團にダグラスと同船歸朝に向ふ筈、大使は出發に際し記者に語る

滿洲問題に關し日米兩當局の間に意見の相違があるにしても之は和協し得る見込が充分ある、余は十二月には再びワシントンに歸任する積りである

全權府

奉天に置く

【奉天十九日發聯合】我駐滿全權大使府は當分奉天に置かれ武藤全權の奉假と共に滿洲國との交涉は奉天に於て開始され今後更に國都に進捗するものと見らる

日支紛爭が起つた一因

米の排日移民法だと

エ博士が演說

【ゼネバ十九日發聯合】東洋通として知られた米國の學者エデイ博士は十九日ゼネバ大學で演說し米の排日移民法が出來たので日支紛爭を惹起した一因となつた、米も此點誤りを免れぬと演說した

岡村參謀次長

事務引繼を始む

十九日奉天について

【奉天十九日發聯通】岡村關東軍參謀次長以下一行六名は十九日午後三時二十九分奉着、關東軍司令部に入り本庄將軍と會見、關東軍の事務引繼ぎに著手した

熱河問題等は

速に解決する

小磯關東軍參謀長談

【東京二十日發聯通】武藤全權と共に赴任した小磯參謀長は左の如く語る

對露問題に對する新關東軍の方針はロシアが事を構へぬ限り好んで事を構へぬことを言明する熱河問題學良問題は滿蒙問題と緊密な關係あり速かに根本的解決の方針である

現內閣支持の

民政黨の態度

兩院議員評議員の聯合會で

若槻總裁が演說

【東京二十日發聯通】民政黨の兩院議員と評議員の聯合會は二十日午後一時半開會、若槻總裁、原、櫻內、中村、松田各顧問、町田、川崎各總務等三百餘名出席、左の如き總裁の演說あり黨の態度を明かにした

若槻總裁の演說 我黨は夙に金融の疏通、負債の整理、生產販賣の統制、土木事業の不景氣的實行の四大項目を決定したが今議會は之等問題を審議するのであるから協力國家のため黨の政策實現に努めねばならぬ、然るに之等政策の實現を見たからとて我財界が手を翻すが如く好轉するとは考へられぬ故國民も自力更生困難に處することをモツトーとせねばならぬ、私は特に自力更生を力說したいと思ふ、滿洲問題は解決の途上にあり、政府は愼重且つ勇敢に之等を行はんことを望むものである、內外の時局極めて重大である、政黨は政治家の力を要する事今より急なるはない、依つて各自自重、政黨の信用を昂め身を挺して國家のため努力されたいと思ふ、之がため小異を棄てて大同に就き國民を救ふことに着目して進むべきである、我黨が齋藤內閣を援助し非常時に處せんとするも此意味である

民政黨の

院內總務

【東京二十日發聯通】民政黨の院內總務は二十日左の如く決定した

松田源治（主任）勝正憲、武富濟、土屋清三郎、野村嘉六、工藤鐵男、松本忠雄、藤田若水、櫻井兵五郎、鈴木富士彌

國民同盟が政府に肉薄

常務會の意見一致

【東京二十日發聯通】國民同盟は議會對策を議するため十九日午後六時半から常務委員會を開き、對策案の不完全な政府の方策を論難し滿洲問題も徒らに國民の失望を甚だしい、斯くては現閣の存在は一日も許されないと意見一致した、更に二十日の議員總會では國民同盟の政策方針を闡明し、議會では中野正剛、古屋慶隆、高橋壽太郎氏等が政府に肉薄するを申合せた

米專賣の

實現決議

政友農政議員

【東京二十日發聯通】政友會の農政議員は二十日役員會を開き米穀專賣法案の今議會提出を要望し若し容れられざれば獨自に提出すべく實現を期してゐる

在外資金がなくては

放任の外はない

根本は內地の生產力發達

藏相、爲替暴落で語る

【東京二十日發聯通】爲替の暴落に就き高橋藏相は語る

爲替の下るのは人氣に依るもので原因は內外の政治經濟から來ると言ふが專門家は夫々の考へでやつてゐるのでどうする事も出來ぬ、適當な所で安定させたいとは思ふが在外資金が無くては之も不可能だ放任するより致方がないと言ふ外ない、要するに根本は內地の生產力を發達させることである

一、政府は右對策實施と共に國民の自力更生と相俟ち難局を打開す

三大臣の演說

草案を決定

廿日の臨時閣議で

【東京二十日發聯通】政府は二十日の臨時閣議で二十五日貴・衆兩院で行ふ齋藤首相、高橋藏相、內田三相の演說草案を決定した、依つて二十二日に齋藤首相、高橋藏相、內田外相夫々參內し上奏する事に決した

首相の施政方針

演說の內容

滿洲國承認の時期は

彼我の準備整つた時

【東京二十日發聯通】二十日の閣議で決定した齋藤首相の施政方針演說內容は左の如くである

一、滿洲國承認は政府に於ても準備を進めつつあり、その時期は彼我の準備整つた時である、又西國政治の統一に依つて滿洲に關する政府の方針を實行する旨

一、國際聯盟及び外交問題の經過

一、政府は前議會の決議に依つて時局救濟の具體案を作製した、即ち通貨の圓滑疏通、農村の負債整理、土木事業、重要產業の統制の徹底的實施、商業組合法案を議會に提出してゐる

議會提出法案

七件決定

【東京二十日發聯通】政府は二十日の臨時閣議に於て議會提出法案七件を決定した

一、不動產融資及損失補償法案

一、產業組合中央金庫特別融通及び損失補償法案

一、商業組合法案

一、農村負債整理組合法案

一、商品券取締法案（以上衆議院提出）

一、產業組合法中改正法律案

一、產業組合中央金庫法中改正法律案（以上貴族院提出）

研究會の特別

委員會聯合會

【東京二十日發聯通】貴族院研究會は二十日午前十時より時局四大特別委員會聯合會を開き何等決定する所なく二十二日の常務委員會に於て經過を報告し幹部の裁量に俟つと云ふに決定して正午散會した、之に依りその對議會態度の軟化を窺知するに足るものと言はる

政友會の

總務會

廿一日も開く

【東京二十日發聯通】政友會は二十日午後二時本部に總務會を開いたが總裁の演說案附稿のため更に二十一日午前九時より總務會を開き附議決定することになつた、尙議會對策決定は院內役員の決定後に讓ることになつた

反滿兵匪

續々歸順

【奉天二十日發聯通】馬占山の戰死後北滿各地の反滿兵匪は戰鬪力を失ひその上水害で衣食に窮し前非を悔い我軍門に降り歸順を申し出るもの漸次多く、最近東鐵東部綏芬河沖河の兵匪林は部下六百を率ゐて歸順同地の騎兵隊長に任命され、又烏吉密河の姜老子は紅槍會五百を率ゐて無條件歸順を申出で夫々自衞團と協力して治安維持に當つてゐる

臺米統制陳情委員

殖產局長を訪問

農林省案の實施を懇願

【東京支局特電二十日發】植民地米統制に關する陳情委員山氏外十名昨夜入京、本日午前十一時拓務省出張所に殖田殖產局長を訪問、米統制問題の現狀につき聽取の上目下大藏省に提案中の農林省の統制案なれば結構だから同案實施の爲に協力を乞ふ旨殖田局長に懇願し、一旦同所を引揚げ丸の內ホテルで晝食をすました後安藤局長の案內で拓務省を訪問同樣陳情した

救農案の交涉

困難だつた

菱村事務官語る

朝日丸神戶を出港

【神戶二十日發本社特電】朝日丸は定時出港した、林新基隆要塞司令官、菱村事務官、臺北工業野球隊等多數乘船林少將は初めての植民地行きである

滿洲はいい所だと皆が言ふから實際よい所だらうと思ふが、未知の地だから何分よろしく

菱村事務官は

農村救濟も最初八十萬圓位に削減され續いて色々交涉の結果百六十萬圓となつた最初の五百萬圓から見れば餘程少い譯だが他の植民地と比較すれば少くはない、中央では臺灣の農民が今一番樂だと言うて一向に同情がないので却々交涉は非常であつたこの問題が片づいたので歸るのだが歸つたら來年度豫算の編成である

日銀の總會

【東京二十日發聯通】日本銀行第[illegible]回定時株主總會は二十日午後[illegible]開會創業五十周年記念[illegible]時三分可決した

義勇軍援助で

湯に膝詰談判

馮庸熱河へ行く

【北平十九日發聯通】排日に狂奔しつつある馮庸大學校長馮庸は十九日午後飛行機で熱河に行き、當分滯在に決定したが、彼は學生義勇軍の隊長であるので湯玉麟に對し義勇軍援助の膝詰談判のためと見らる

中旬貿易出超理由

【東京二十日發特電】中旬貿易は前旬に比し輸出入とも增加したが棉花輸增のため出超千四百八十九萬圓となつた、然し輸入減退及び爲替下落に依る輸出好調は引續き中旬にも現はれて居り今後も目先きこの傾向を持續する模樣、即ち生絲の輸出增加で出超豫想され綿花は月先輸入增加の氣配なし然しリツトン報告が爲替相場に對する影響觀測により輸入增加輸出杜絕の結果に至るので貿易上當者の動きが重視されてゐる

本島農村の打診（５）

農民を苦しめる

金融上の大缺陷

甘蔗貸付制度も名ばかり

以上の外農村の金融に少からず役立つてゐるものに製糖會社の前貸制度があることは本島農村の一特典として見逃すことの出來ぬものである、これは言ふまでもなく甘蔗の植付前後に於て製糖會社が農民に對して肥料代や耕作資金を貸付けて後で原料代と差引く制度である、この制度のあることは本島農村にとつては大變有難いことで、內地農村にくらべて、非常なる助りといへば、[illegible]もそれ[illegible]な所であらう、その效能も又頗る大なるものであつた、併し臺灣側に最も好材料と對比されて來たこの甘蔗貸付制度も[illegible]なつてゐたることは[illegible]に大きな打擊を受けせられた。これは甘蔗の多い中南部へ農村にとつては大きな打擊であらう、即ち製糖會社は昨年五月甘蔗買上價格を千斤當り南部で一圓四十錢、北部で[illegible]、四五十錢程の引下げを[illegible]

◇…決行　した斷定の間に行した、之は過渡期に嚙まされる製糖會社の生產制限から來る植付制限で、米價安に乘じて一躍[illegible]の面積もあつたがまるで蔗園の面積は九萬八千甲から六萬八千甲へ三萬甲以上の減少となるものと見られてゐる、製糖高も千五六百萬擔から千一百萬擔くらゐに減少するであらうと言はれてゐる、その結局のところ甘蔗作に依つて[illegible]の農村が肥[illegible]減と勞銀とで千七百萬圓乃至二千萬圓に及ぶだらうと言はれてゐるから全く他人事ぢやない、馬鹿にならない數字である、之に伴つて甘蔗に依る金融の方が低下して來ることは當然で、本島農村の一特典と言はれた甘蔗作に依る潤ひや

◇…便宜　も今期からはその效能に激減を來した…その事情はここに明記しておかねばならぬ甘蔗のことはこれ位にしておいて次は土壟間—この土壟間といふ言葉も本島獨特の言語であるが、之は要するに籾摺業者が籾や米を目當に金融するのであるが、商利に金を廻したりしてゐる所もあるやうである、昔の舊田頭家の如きは今日では段々少くなつて來た、次には地主に依る金融も一項として擧げ得ないことはないが、昔は兎も角今日では地主そのものが破算して現金の遣り繰にはとても困つてゐる狀態に在るから

◇…地主　が小作人に金融するといふことは殆ど不可能なことである、次に農業倉庫であるが現在全島に十一の倉庫がある、之は今の臺南州知事今川氏が殖產局長時代に馬力をかけて作つたもので、籾の保管倉庫をやつてると言はれ、段々利用されて來た、所在地は

臺北州（羅東、新莊）

新竹州（桃園、中壢）

臺中州（臺中市、員林、彰化）

臺南州（嘉義、新營）

高雄州（潮州、屏東）

で臺東か臺南の例外である以外は悉く州農會の經營である、この農倉が倉庫證券に依つて金融がつけば農村金融の上に大きな效能があるばかりでなく、米價維持や內地の米價調節の上にも役立つだけの效果があると思はれるのであるが實際からそこに金融の途に至るまではゆかない、[illegible]では米が金融の對象となり得るのは十[illegible]圓が[illegible]して[illegible]と[illegible]の金融をなし[illegible]が銀行に金の融通をしない、この時は米は既に

◇…商人　の手に渡つてゐるのであるから農民の爲めには何等のご利益もない、而も中南部の人ではこの道程に手間取つてその間の金融すら苦しんでゐるといふ狀況である、これが農民が手持して値段を見るといふやうなことは土壟根本から出來ない話だ、昔は地主が必ず籾倉庫を持つてゐて籾の手持をしてゐたが、現在では籾摺業者が一時に買つて出すといふ傾向になつて來た、而も內地の米原は基隆所在が多ければ高值へるのみならず、買りたいて安く買ふと言つた調子であるから

◇…値段　はたたかれ放題である、だから籾のままで金融の出來ぬこと……米穀運動が難しい今日であるから、それは銀行ばかりが攻める譯には行かぬが、要するにこのことが農村金融の缺陷であつて、そこに農村金融上の大きな缺陷を見出す（西瀨生）

辭令

（東京二十日發聯通）

臺灣衛生技師　榊原　保

依願免本職

瑞穗丸より（來航）

急なれど靜穩な航海にて皆元氣、二十一日午後一時港外著の豫定、濱田臺南地方法院檢察官、同家族その他（二十日發無電）

督府辭令

臺灣總督府州警視に任す　池田　廣

高等官七等を以て待遇せらる

臺灣衛生技師　榊原　保

陞敍して高等官三等を以て待遇せらる（以上內閣）

臺灣總督府州警視　池田　廣

六級俸下賜

新竹州勤務を命す

臺北帝國大學教授　楠井隆三

滿洲並に朝鮮及京都へ出張を命す

臺灣衛生技師　榊原　保

願に依り本職を免す（內閣）

臺灣總督府事務官　鈴木秀夫

臺灣總督府州及廳警部、警部補特別任用考試委員を命す

臺灣總督府測候所技師　西村傳三

阿里山高山觀測所長務を命す

臺北州の事務監査

は二十日終る

臺北州では去る十六日から臺北市役所の事務監査中であつたが二十日を以て終了を告げた臨檢終了後は總括的の講評あることになつてゐるが市役所に對しては講評を行はず書類を以て後から通牒を發する筈である臨檢後に發表された七郡の事務監査は來る二十六日から三日間行ふことに決定した、これで臺北州下の事務監査全部を終るのである

土曜會の送別會

臺北土曜會は二十日の午餐會を大倉商事の臺北出張所長たりし佐佐良正二氏の送別會として主客の間に談笑があつた同氏は在任二十年に及んだが今回東京本社詰となつた由

人事

▲臺米上京陳情委員一行　滯京中の宿所、東京驛前丸の內ホテル

▲上野大佐（臺灣軍高級副官）廿三日入港の朝日丸にて着任する

▲木田榮吉氏（臺灣製糖工務部長）二十日來北（北投）

▲橋本信一氏（大阪商船基隆支店長）二十日花蓮港より來北（鐵道ホテル）

▲那須野義勝氏（帝國生命臺北支店長）二十一日南部より歸北

▲松岡殖產課長　從來引籠中

▲木全良雄大佐　馬公重砲兵大隊長から佐世保へ轉任した同氏は家族同伴二十日發の扶桑丸にて赴任した

▲岡田中央氣象臺長　二十一日正午の汽車で南部から來北の筈

▲古澤臺中市尹　二十日午前發南部へ出張

シナチク

臺灣電力の監事で此の間お氣の毒にも「淵藤[illegible]總裁」といふ大物の椅子を取り逃がした監事佛治君が此の二十八日の總會に出席する爲め來臺する、そして二十日の船では早くも東京の途につく譯で凄い旅行としては恐らく記錄的な飛鬪旅行だらうとのこと▲淵藤君の[illegible]取り逃しについて或る筋では頻に弁明につとめてゐる、その言分に曰く

「この[illegible]は[illegible]にあるので[illegible]に頼まれたものだ、顏のよい人だけにオーケーで出かけて見たところ、更におあらかにもこれから[illegible]も南投を稱される、大人は[illegible]に出掛けて行くが[illegible]多くは民政黨の候補者なので[illegible]民政ビーギの人物にされて了つたこの邊が政友會の人々の眼に[illegible]は民政系だといふことを兎く聞き付け、淵藤總裁[illegible]が持上つた時も遂あんな結果になり幹人は氣の毒に思つてゐます」とある▲それは何れでもよいとして同君は乃木會や、明治神宮奉贊會さては中央教化會等に何れも幹事となつてをり其の人となりの一斑を示してゐる、それで今度の[illegible]でも[illegible]君は監事重任となるものと見られてゐるやうだ。

行旅死亡人公告

[illegible]本籍住所氏名不詳[illegible]推定年令四十歲[illegible]服ズ[illegible]

右ハ[illegible]八月十四日[illegible]ニテ發見シ死後[illegible]大坡共同墓地ニ埋葬セリ心當ノ者ハ申出ヅベシ

昭和七年八月十八日　宜蘭郡礁溪庄役場

●無線通信員募集

臺灣軍司令部ニ於テ無線通信員（オペレーター）二、三名ヲ採用ス

希望者ハ左記承知ノ上自筆ノ履歷書ヲ添ヘ八月末日迄ニ當部ニ到着スル如ク提出スヘシ

左記

一、試驗日割

1. 身體檢查　九月五日午前

2. 學科試驗（英語初步）（和文作文）　九月五日午[illegible]

3. 通信（和文、歐文、支那文（數字））　九月五日午後一時

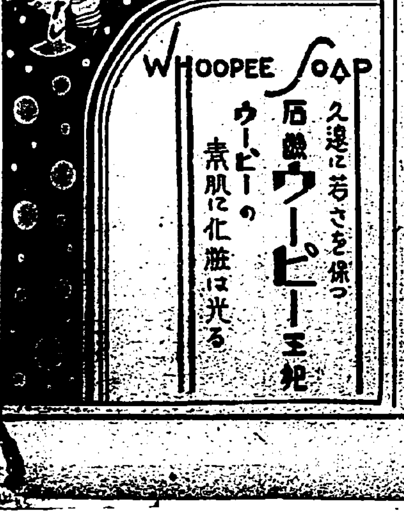
4. 口頭試問　九月六日午前

二、採用者ハ九月十日頃發表ス

三、給料ハ月額五十四圓乃至六十四圓（[illegible]

臺灣軍司令部

・龜甲又醬油・
最上
醬油
・香味第一・
臺北
臺南
近藤商會



WHOOPEE SOAP
久遠に若さを保つ
石鹸ウーピー
王妃
ウーピーの素肌に化粧は光る

ゲリロ―から繼東と蕃奧が郡界を稜線づたひに 百尺を下るとムルロアブの駐在所に出る。この駐在所から更に約二十丁を森林地帶に入ればそこに[illegible]千[illegible]百米といふ大きな湖水に出るのだ東面の一方のみが茫々たる笹原で下手の三方は鬱蒼たる森林であるが午前七時の陽をに照し出されて靜かな湖面に其影をいとも鮮明に落してゐる全く涼味以上の趣味である

夏の太平山カメラ行脚 3)

仲秋の月を賞し
蕃人の月見祭
吉野神社神輿を昇出す

【花蓮港電話】花蓮港名物の荳蘭薄薄里漏各蕃社の月見祭の日程は目下[illegible]教育係にて作成中であるが來月の月明の候を期して一齊に行はれる筈で同日は[illegible]廳長郡長花蓮支廳長等參列吉野神社より神輿を迎へ祭式を行つた後往昔の粟祭收穫祭に踊つた舞踊を行ふのであるが、花蓮港廳では之を月見祭と改稱して蕃人の思想の變化に伴つてすたれかけてゐたものを復活奨勵して吉野村神社と結びつけ因果觀念敬神の念を涵養する機會となさしめたものである、花蓮港街から見ても近距離である關係から見物客が多く年々盛んになつてゐる荳蘭社の祭は十二日頃の豫定である

大湖の無斷開墾地
地元民に賣却
產業十年計畫著々進む

新竹州[illegible]內務部長は十七日から大湖郡下の水利監查[illegible]產業十年計畫—[illegible]を視察したが、產業開發上是非とも重要な道路は大安、卓蘭間、卓蘭[illegible]南湖間、南湖大湖間、大湖[illegible]湖間等五線十六里を關係區民の勞力に依つて開鑿し、經費のみは州の補助を受ける事として進行しつつあり又大湖の久しい問題になつてゐる無斷開墾地問題は當局の方針に依り一市十八街庄の基本財產として千五百甲餘を分配されたが彼等が先祖代々開拓してゐた土地を他街庄にやつたのでは到底[illegible]のとれないのは火をみるより明かな事であるから、州の意見に基き今後數年間に關係地元民に賣却し彼等をして愛地心を喚起せしむる事が產業開發上有利であるとし此方針で進む事となつた此問題さへ解決出來れば自力更生に燃ゆる同方面は養蠶、畜產、[illegible]等產業十年計畫に依り[illegible]大湖郡下は[illegible]に更生する氣運に向いてゐると

新武呂大原間の
惡道路改良
追加豫算で認めらる

【臺東電話】新武呂大原間約十二マイルの區間は毎年雨期に各河川增水のため橋梁流失して花蓮港臺東間の交通が一ケ月の長期に亙り杜絶も珍らしくない惡路線で鐵道部局では昨年度末に改良線の測量を終了し設計を作成すると同時に三ケ年繼續事業として督府に豫算を要求したのであつたが、新規事業繰延べとなり削除の運命に陥つたのであるが、然るに右の區間は買收社線であるため一マイル當り平均二[illegible]といふ狀態で毎年[illegible]水の[illegible]災害復舊費が拂はれてゐるので之の區間を根本的に改良することは關係當局としても必要となり鐵道の經營上から見ても災害復舊費の出費を免れるのみでなく東部地方唯一の交通關係といふ使命から見ても緊急の改良事業に屬するので本年度の追加豫算として督府の認むる所となり來る臨時議會を通過すれば來る九月早々本年度分として改良工事に着手し二、三年間の繼續として惡路を改修することに決定した模樣である

臺中市のチフス
小康狀態
郡部は昨年より多い

【臺中電話】臺中市における傳染病患者の發生數は本年一月から八月上旬迄チフス十九名パラチフス二名、腦炎一名、ヂフテリア六名の發生でチフス患者は前年の二十五名よりも六名少く現在市內には一人の傳染病患者もなく衛生狀態は極めて良好であるに反し、郡部では[illegible]ボツボツ新患者の發生もあり、殊に今年は[illegible]にもチフス患者の發生を見る[illegible]郡部よりも田舍に多い狀態となつてゐるが、その原因は

市民に

臺中市ではチフスの豫防ワクチンを前年のチフス流行地へ豫防[illegible]して市民に服用せしめてゐるので今年のチフス患者の少なかつたのはそれがためではあるまいかと市衛生當局は語つてゐた

二十七驅逐隊
二十日出發

【馬公特電二十日發】第二十七驅逐隊は本日午前十時官民多數の見送りを受け佐世保に向け出發した

臺南鄉軍分會が
二十七日總會
閱兵及び分列式を擧行

在鄉軍人會臺南分會では來る二十七日午後第二十三回總會開催の豫定であるが當日は分會創始の企てとして[illegible]百五十挺の寄贈を受けて閱兵及び分列式を擧行の豫定であつて目下各班別出席者調查中だが出席會員は同日午後三時半迄に臺南公園內[illegible]館前に集合午後四時閱兵官村上支部長を迎へ同五分より閱兵及分列式開始、同四時三十分終了の豫、而してそれに引續き同六時より臺南公會堂に於て總會を開催、村上支部長以下支部役員顧問今川知事、川村、勝村部長、[illegible]市尹諸氏に名譽會員等多數の來賓を招き一同君が代合唱の後、分會長の勅諭奉讀、次いで會務報告、決算、[illegible]、役員改選、それより役員會員の表彰を行ひ村上支部長訓示、知事、市尹の祝辭の朗讀で式後に[illegible]一同[illegible]終つてから宴に移り[illegible]な餘興が披露され同十時頃閉會の豫定で目下係員を委囑し準備中であるが、[illegible]參加希望者は此際至急各班長宛申出られたいと

豚密屠殺

【臺北電話】臺北市水上庄[illegible]及び同所五二林[illegible]兩名に

[illegible]三頭を密屠殺した事發覺し同郡警察課に檢擧され留置取調べ中

中川總督は
高雄州管內
も視察する

【高雄電話】東部巡視中の中川總督は東海岸より高雄州出張所に向ふ豫定であるが、この機會において先の高雄州下初巡視の際風雨のため中止のやむなきに至つた個所を改めて巡視する事となつたが、その日程は左の如く豫定されてゐる 二十五日午前十時大武發同日午後五時四十分四重溪着泊、二十六日午前七時四重溪發石門、[illegible]、車城[illegible]、午後三時四十四分[illegible]の[illegible]を視て

同夜 [illegible]山に泊、廿七日午前九時四十五分[illegible]に向け出港二十八日午後五時半馬公より高雄着、六時發列車で嘉義に向ふ

關子嶺溫泉の
講習所落成式
九月に入つて擧行

【臺南電話】關子嶺溫泉講習所の新築は州下唯一の溫泉[illegible]の意味で新營郡及び地元白河庄では道路設備に種々施設を講じ完備の上は[illegible]引に努むる事となつてゐるが既報の如く本年四月工費一萬二千六百圓を以て着工中であつた講習所は一[illegible]所(五十六坪)[illegible]其他一棟(其他)は去る十五日竣功同十九日檢查州技師出張の上受渡を了したが引續き九月に入つて[illegible]落成式を擧行の豫定であると

證據金詐欺の
關係人取調べ

【嘉義電話】嘉義市元町五ノ七二[illegible]及び臺中市櫻町二ノ一五[illegible]兩名は期米證據金二千圓詐欺事件にて本年四月中臺南地方法院嘉義支部に於て懲役一ケ年に判決されたが之を不服として控訴し同法院臺南本部に於て審理中であつたが二十日[illegible]證人及び通譯同行にて犯人を護送來嘉し嘉義警察課取調室にて事件關係證人を取調中である

阿里山雲海の
寫眞出品

【嘉義電話】阿里山國立公園協會では來る九月一日より東京上野松坂屋に開催さるる臺灣及び南洋展覽會に同協會事業を宣傳すべく阿里山の雲海及び阿里山より新高主山遠望の各大寫眞を出品する事となり二十日發送した

紅毛築港期成會が
幹部會を開く
調查費を計上積極的に
築港運動を起す

新竹郡紅毛築港期成同盟會では[illegible]港、公許認の漁港運動に努力され幹部會を開いた結果十八日新竹州を訪問調查費二千圓を捻出するか[illegible]地の調查を願ひたい、[illegible]調查の結果經費が多大過ぎて出來ぬとか漁港として不適當であると云ふ理由を見出したなら已むを得ずやめるが何んの理由もなく紅毛を置き去りにされるのは[illegible]であるとの意味を表明した

鈴木司令官の
少將昇進披露

【馬公特電十九日發】鈴木要港司令官は十八日少將昇進の披露宴を[illegible]した、山內要港部參謀、木[illegible]長外[illegible]官民人多數出席盛會を極めた

街庄長改任で
猛烈な運動
高雄州では二十八街庄

【高雄電話】高雄州では來る十一月を期し任期滿了による州下二十八街庄長の改任を行ふ筈で目下各郡において規定方針の下に候補者詮衡中でおそくも本月一杯には夫々決定の上州地方課に上申の豫定であるが、其の改選期を前にして各街庄共候補者の猛運動にしのぎをけづり各[illegible]の[illegible]は郡役所が頗る[illegible]につとめ中にはそれのみで手ぬるしと見て直接州當局に陳情する者續出となりこの運動者中[illegible]つてゐるのは自ら州廳に行つて自分を庄長に任命して頂きたい等[illegible]行動に出てゐるものもある

臺中州技手增員

臺中州技手の定員は從來十三名であつたのを今後十五名に增員二名の增員を行ふこととなり二十一日州報告第五十八號を以て告示された

鹽水方面委員會

臺南州新營郡鹽水街方面委員會は例に依り二十一日午後七時より同街公會堂に於て窮民救助に關する月例會を開催した

臺中州產組
講習會終了

【臺中電話】臺中州で去る一日から開催中であつた第七回產業組合講習會は二十日で終了したにつき[illegible]中山內務部長から講習生一同に對し一場の訓示後修了證書を授與[illegible]な茶話會を開いて解散した

臺南市末廣町通の
モダン店舖街
二十四日上棟式を擧行

本島に於ける五大建築の一として昨年十一月中工費五十萬圓を投じ着工中であつた臺南市末廣町通新店舖[illegible]の工事は[illegible]の進捗を見、來る二十四日午後三時より市內その他の有志六百餘名を招じ末廣建築現場に於て上棟式擧行の事となつた

柴田書記は
山崎と無關係

本紙所報「借金取立[illegible]」事件中の[illegible]目下臺南檢察局に於て取調べ中である山崎[illegible]の[illegible]に關する件につき[illegible]之が[illegible]の方法を[illegible]したといふ高雄法院出張所柴田書記に關する[illegible]の部外者で[illegible]氏は昭和三年中柴田氏に對し三回に亙り二千圓を貸與(證書一通は[illegible])、二通は[illegible]した[illegible]氏の[illegible]に於ける申し立に從り明かで、その後柴田氏より金利と[illegible]

四十圓の入金があつたといふ外何分にも[illegible]は山崎を中心とするものであつて、同人の取調べ完了を見る迄は內容の判明を缺くが柴田氏に對する分は一先づ抹消する

岡山聯珠會例會

岡山聯珠會では十八日午後七時より岡山公會堂に於いて月例[illegible]を開催[illegible]にて左の成績となつた
一等小森[illegible]太郎、二等[illegible]、三等小野金一、四等[illegible]、五等大田太[illegible]、六等[illegible]

新竹市內の
野球爭霸戰

新竹市[illegible]六野球聯盟にては九月三四の兩日公園グラウンドに於て秋季[illegible]を[illegible]する筈であるが[illegible]りAとBの二組に分ち[illegible]を行ふと加盟[illegible]の區別は大體左の如し
A組 [illegible]、保甲改良團、州廳團、南門團、地[illegible]團、稅務團、竹親團
B組 銀行團、驛前團、青年團、專賣團、土木團、教育團、市役所團、地方課團、帝[illegible]團

屏東稅務管內
地租調定額

屏東稅務出張所管內昭和七年度前期(納期九月二十五日)分地租其他の調定額は左の通りで前年同期に比し大差はない

地租 [illegible]人
地租付加稅 [illegible]
河川工事費 [illegible]
官租 [illegible]
の計調定額四十八萬三千五百九十三圓二十六錢、人員十二萬九千四百五十四人である

「阿里山高山觀測所」と命名さる

臺南州阿里山に新設された高山觀測所は阿里山高山觀測所と命名された

湖口庄業主の
懇談會

湖口庄業佃會には十八日午前八時三元宮廟內に於て業主懇談會を開催し業主五十餘名に新竹郡[illegible]技手以下十名許りの來賓を迎へ業佃會長[illegible]氏は業佃[illegible]に就いて、[illegible]氏は[illegible]、品種、[illegible]の統一[illegible]として業主[illegible]研究會組織に就いて、宮崎技手の業佃會成績向上に付きそれぞれ懇談ありて午後二時に閉會した

船長講習終了

臺灣水產會主催船長講習會は十九日[illegible]の[illegible]作業を終り二十一日午前十時から[illegible]事務所にて終了式を擧行する筈であるが水產會から[illegible]會長臨席の筈

臺南產業組合
講習會

臺南州では本年度產業組合講習會を來る十四日より四日間[illegible]に於て開催の豫定であつて講習生は州下の產業組合役員を合し約六十名の豫定で又科目及び講師は
民法大意　[illegible]州勸業課長
手形法　吉田[illegible]支店員
產業組合簿記　[illegible]木臺南州[illegible]
金融　天野[illegible]支店員

臺南のゴルフ場
完成は十月か

臺南水道水源地の臺南ゴルフリンクスは[illegible]氏のプランに基き[illegible]工事中であると共にその他の作業[illegible]中であると共に新市[illegible]以北の[illegible]道路に相[illegible]して多少の新設及改修を行ひつつあつて之等一切の所用作業は九月末までに[illegible]了し[illegible]明けの南部特有な氣候の季である十月に入つて開場が出來得る筈で、[illegible]入會者も大日本[illegible]八名を先頭に市內及び臺北、高雄方面を合し約三十名を算して居るが開場迄には少くも百名に達する見込みとされて居る

これだけで
營業停止
臺南の玉突屋が

【臺南電話】臺南市白金町四ノ二〇[illegible]氏方(三二)が營む玉突場に對し臺南署では二十一日から十日間營業停止命令を發した、理由は營業時間午後十二時迄及びゲーム取締の場合は五日以內に屆け出でるべき規則を數回注意をうけたにも拘らず依然[illegible]であつた事と、[illegible]客に[illegible]ある[illegible]手にをへないからで今後はこの種インチキ遊戲場[illegible]の[illegible]合は取締り上ドシ〳〵行政處分を行ふと

澎湖保勝會
第四項は否決

馬公街役場では十六日午前九時から街協議會員、各街區長、商工[illegible]の事項に就き打合會を開いたが、第一項より第三項までは滿場異議なく通過決定したが第四項議題に[illegible]しては[illegible]した異議百出に依つて否決され午後四時散會した
打合事項
一、澎湖保勝會設置に關する件
二、史蹟名勝天然記念物保存に關する件
三、土產品考案製作獎勵並土產品展覽會開催に關する件
四、法院支部設置に關する件
因みに保勝會の目的とする所は澎湖島の名勝遺跡及び產業狀況を紹介し多數觀光客を誘致し廣く澎湖島の眞價を認識させ澎湖の發達を圖るに在りと云ふ

臺中一中、商業が
高松と試合
二十三、四兩日水源地で

【臺中電話】臺灣支部及臺中スポーツ協會主催で來る二十三、四兩日[illegible]高松商業を臺中に招聘し水源地球場に於て野球大會を開催する事となつたが、相手は二十三日は臺中二中、二十四日は臺中商業である

花蓮港局より
パタガンへ
局員を派遣

【花蓮港電話】東部巡視の中川總督一行のパタガン着は二十日となり新聞電報は無線電信を利用して迅速を期すため特に花蓮港局より局員を特派して便宜を圖ると

橋本東洋課長
花蓮港の有力
者を招待

【花蓮港電話】大阪商船[illegible]橋本東洋課長中川高雄支店長等の一行は十九日夕刻[illegible]着七時[illegible]に官民三十餘名を招待し晩餐會を開いた席上橋本課長の挨拶について今井[illegible]の[illegible]あり主客[illegible]九時すぎ散會した、因に[illegible]氏一行は二十日[illegible]氏の案內にて[illegible]の視察を行ひ花蓮港に引返し午後五時出帆の[illegible]にて基隆に向つた

香川縣人が
高松商業選
手を招待す

【臺中電話】高松商業來中を機とし香川縣人らは二十二日午後六時半から臺中[illegible]において縣人會を開き選手一行を招待する事となつた

殘り二名の
コレラ患者も
二十二日解放

【臺中電話】[illegible]のコレラ患者は[illegible]の親子だけが未だに[illegible]つてゐるが廿日夕方[illegible]の結果[illegible]し居れば來る二十二日の月曜頃は歸宅を許す事となるであらうと

金山

△水產課長巡視 [illegible]府水產局員水[illegible]技師[illegible]氏は十八日朝自動車にて[illegible]北[illegible]水[illegible]、同日午後[illegible]時頃に金山寮、[illegible]庄長の案內で[illegible]察して同地一泊翌十九日[illegible]つて歸北した

△產米改良 既報の通り七月十一日に創立總會を催した金山鄉產米改良組合では產米改良に一段の努力を拂つた結果、[illegible]は[illegible]な[illegible]はほとんどない樣になつた、因みに同組合では檢查員を置き、[illegible]各精米工場、[illegible]業者の所に出張し[illegible]の檢查をしてゐる

高雄青訓生が
夜行軍

【高雄電話】高雄青年訓練生は十九日午後七時高雄第二小學校に集合七時半同校發夜行軍を行ひ先づ高雄神社に參拜後壽山[illegible]を下り西子灣に出て[illegible]各種の訓練を行ひ九時半集合場に歸來解散した

旅館荒しの
實地檢證

【臺南電話】二十日臺南署の[illegible]法主任、[illegible]刑事は先に[illegible]東屋旅館で小笠原代議士のプラチナ時計を盜んだ旅館荒しの[illegible]猪木末吉を連行花園町四春[illegible]に於て實地檢證を行つたが、去る八日夜十一時頃[illegible]越えて忍び入り十一時頃未だ旅館內の人々は[illegible]起きてゐる內に客室より現金三十餘圓を[illegible]床下にもぐつて內の樣子を窺ひつつ午前三時頃となつて同二時半頃入つて來た[illegible]三宅氏の上衣ポケットから現金四百圓を[illegible]した當時の模樣を逐一自白し[illegible]以前東屋、四春[illegible]以外の旅館に頻發した盜難は手口その他から見て同人の仕業でない模樣で臺南署では更に搜查續行中である

壽島海水浴場は
廿七日開場式

臺南州東石郡[illegible]島海水浴場では二十五日頃盛大なる浴場開き式を擧行される筈であつたが[illegible]他の都合に依り來る二十八日頃となる見込である

新竹

橋梁流失 十七日午後五時からの降雨に依り[illegible]山溪は七尺增水し午後七時頃新竹郡新[illegible]の[illegible]橋梁十二間流失し[illegible]の交通杜絕した

中毒で死亡 新竹郡香山庄香山一一六張清[illegible]の次男[illegible]玉(二)は十六日午前十一時頃[illegible]から弟と喧嘩し父親に叱られた爲ヒセキを飲んだが手當の效もなく十七日午前[illegible]時死亡した

傷害犯人 カフェー銀座の[illegible]父[illegible]に傷害を與へた西門四六[illegible]は直に捕縛されたが[illegible]は同家の板場をお拂ひ[illegible]になつた爲め

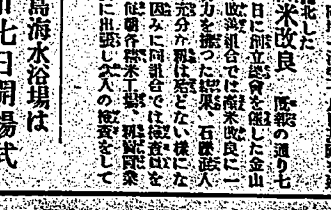
臺車で轢く 臺中州[illegible]郡內埔庄七[illegible]は十六日午後五時頃[illegible]所にて同二七[illegible]氏を臺車で轢き頭部と顏部に擦過傷を與へた

新高通信

▲明年三月の[illegible]庄長退任期を目前に[illegible]池庄では現庄長[illegible]氏が[illegible]斥すべく目下寄々協議中とか、[illegible]するところによれば後任は[illegible]王[illegible]氏、[illegible](內地人)氏を推して、來る二十三日郡守を訪問陳情し容れられざる場合は州に直接陳情の形に出づ可く目下代表者選任の銓議中だと ▲魚池公の[illegible]、土地買收の代金不拂で一時告訴沙汰となりかかつたが運よく逃れ今度は[illegible]十圓の元金に月利五圓の[illegible]を占めさん[illegible]不行[illegible]のそしりが高い ▲元魚池公の江[illegible]訓導は本年三月[illegible]公に轉じたが田口校長と[illegible]合惡しく何を[illegible]したか[illegible]を[illegible]に召致し二時間に亙り[illegible]ばかりに叱り飛ばしたに[illegible]し遂に自殺の決意を[illegible]校長に[illegible]したとて社會上の問題を起してゐる

父喜一儀永々病氣加養中の處養生不相叶昨二十日午後一時死去仕候間此段謹告仕候
追而告別式の儀は[illegible]
昭和七年八月二十一日
男　藥師寺直
親戚總代　吉武豐造
友人總代　小森忠一
　　　　　伊藤富士太郎
　　　　　木村峯松
　　　　　堀江淳一
　　　　　大分縣人友會

見よ！飛行家志願者の扉は開かれた



本會發行の講義錄で獨學勉强すれば、諸君の希望は達せられる・此不況時代に航空關係の諸會社だけは益々夜業行の忙しさで最良の手當と月給を得てゐる・一般操縱志願者も、飛行家志願者も讀め！一刻も早く、くわしい說明は內容見本を御覽下さい・「飛行家養成講義錄」會則見本入用と、ハガキで申込まれよ。
申込所 東京四谷大番町十一 帝國航空教育會

梅毒は[illegible]
●梅毒、淋毒に注射以上に[illegible]く
●驚くべき卓效ある新治療劑發見
[illegible]
─病氣に惱む方に試藥無代進呈す─
─希望者はハガキにて御申込あれ─
東京市日本橋區[illegible] 大日本[illegible]藥研究所

頭痛齒痛に[illegible]

洗顏洗髮化粧用
ツバメ石鹼
[illegible]
せめて一週間 ツバメの洗顏なる[illegible]におつゞけ下さい！

壯年及老年期の保健と
高血壓者の常用劑として
アニマザ
服用し易く、毎食後一二錠の內服にて足り長きに亙り連用するも副作用を伴はない。單なる血壓降下劑でない、血管の彈力性を恢復し、心臟を保護し、血壓を生理的安全度に保ち、精力及び活動力の早期減退を防止する。
東京・大阪 田邊商店

—今日の番組—

J・F・A・K 八月廿一日(日)

午前の部

【八・〇〇】全國の氣象通報(東京)今日のお天氣のお知らせ(臺北のみ)臺北測候所發表、臺北近郊今朝のお天氣のお知らせ(臺北のみ)今日の家庭料理獻立〈豚のフランス煮、〈牛蒡の朝鮮煮

【一一・五九】正午の時報、氣象通報(臺北のみ)臺北測候所發表

放送局編輯ニュース

午後の部

【〇・二〇】晝間娯樂時間(レコード演奏)(臺北のみ)浪花節一、八丈島物語、天中軒雲月二、股旅勘三、廣澤虎造

【〇・二〇】晝間娯樂時間(レコード演奏)(臺南のみ)長唄「楠公」唄松永和風、三味線杵屋五三郎同杵屋勝丸、鳴物梅屋社中

【一・〇〇】氣象通報(臺南のみ)臺南測候所發表

義太夫

【午後八時三十分】—臺北—

艶姿女舞衣

—三勝半七酒屋の段—

淨瑠璃 竹本七五三吉

三味線 竹本七五三登大夫

此の曲は元祿八年十二月六日大阪長町四丁目茶屋屋半左衛門の娘さん(藝名を三勝といって舞妓)が、大和五條新町赤根屋半七(放蕩のため大阪に流浪して苛屋となつた若もの)と義理のために大阪下寺町村長所南石垣の下で情死した事實を、寶永六年八月大阪豐竹座で「笠屋三勝廿五回忌」と名題をつけて淨瑠璃に脚色して上演したこれが頗る好評だつたので、安永元年十二月、笠屋を再び榮耀屋に改めて『艶姿女舞衣』といふ外題で興行したのが此の曲の最初で、全部が三卷で、上の卷は生駒の段、島の内茶屋の段、中の卷は新町の段、長町の段、下の卷は今宮戎の段、上塩町の段、この上塩町の段の切が酒屋の段である。作者は竹本三郎兵衛、豐竹應律、八民平七である。酒屋といふ酒屋の倅半七がお園といふ女房があるにもかかはらず昔馴染の茶屋屋の三勝といふ藝子に迷ひ、遂に人殺しまで行ふ。お園の父宗岸は娘の放蕩を怒つて一度娘を連れ戻したが再び考ふる所あつて酒屋へ復縁させやうとすると、半七の親の半兵衛が拒む所から事件が展開されて、お園の両親や娘子のお通の守り袋から現はれた遺書で一家が悲嘆するといふ人情の機微を穿つた場面がそれからそれと續く名作である

JFAK子供新聞

【午後六時三十分】……臺北……

櫻色の頰をした 阿里山の子供の話

—その他面白いニュース—

JFAK子供係發表

今日は先づ最初に地圖を作る苦心談です、みなさんが學校の地理の時間に使ふ地圖、一寸見ると何んでもない様ですが、あれはトテモ想像もつかない様な苦心があるのです、此の大きな地球を、あれつぽつちの紙の上に、それも圓い地球を平な四角の紙の中に現はすのですもそれだけでも大變ですのに山の高さから大きさ、谷、川の流れ海岸線なども少しも間違ひなく縮めなければなりません、海の深さも調べなければなりません、此の六ケしい地圖がどうして作られるかといふ事を話します、次に阿里山の子供達の話、阿里山の子供等は本當に綺麗な顔色をしてゐます頰が櫻色ですそして元氣ですよ、それから言葉は本當に立派ですハッキリした言葉使ひをします、此のお話は子供係の西山氏が最近阿里山に行つて見て來たお話です、なほその他にも二、三お話があります

晝間娯樂時間(臺北のみ)

【午後零時二十分】

▲浪花節

一、八丈島物語 天中軒雲月

椿花咲く八丈ケ島、寄せてはかへす荒浪の、濤の香豐かな若者に若き心の相寄れば、互に燃ゆる胸の火よ

沖で見た時は鬼島と見たが來て見りや八丈は情島

三根村の名主元識の家に預けられてゐる甲州無宿の菊次郎は、二年の間よく掟を守つて服役したので近く赦免の船が迎へに來る手筈になつてゐたがさこと浮き世は儘ならぬ、名主の娘お秋とは思ひ思ひはいつからか人目を忍ぶ仲となつたが、お秋には民造といふ許嫁があつた、ここから悲劇のはじまる西野代司氏の新作物

二、股旅勘三 廣澤虎造

松浦天民氏の新作もの、春風、南風に浮かぶ東海道、宿場宿場のかりの枕何を急ぐか旅り鳥、日も早や二近い頃通りかかつた遠江國部川原の土手下に野天ばくちの騒がしさ股旅勘三これを見て「やい!」といかさま師をつかまへて見るとこれが十年會はぬ竹馬の友仙太——

夜間の部

【六・三〇】子供の時間 JFAK子供新聞 JFAK子供係發表

【七・〇〇】臺灣人形戲「奇緣錄」主演陳招仁、助演奇文閣劇員

【七・三〇】ラヂオ風景(大阪)未定

【八・三〇】義太夫「艶姿女舞衣」三勝半七酒屋の段:淨瑠璃竹本七五三吉、三味線竹本七五三登大夫

【九・二〇】時報▼氣象通報(臺北測候所發表)▼朝日ニュース(臺北のみ)▼放送局編輯ニュース(臺北のみ)▼臺南新報ニュース(臺南のみ)▼公示事項通知事項▼明日のプログラム發表

……臺南のみ……

▲長唄「楠公」

唄 松永和風

三味線 杵屋五三郎

同 杵屋勝丸

鳴物 梅屋社中

この長唄は、楠正成が湊川で戰死したことを物語風に作つたもので長唄としては一寸風の變つたものである、作詞は岡本綺堂氏、作曲は後に寒玉と改めた十三代杵屋六左衛門で明治三十五年三月の作である

臺灣人形戲

【午後七時より】(臺北)

▲奇緣錄 主演陳招仁、助演奇文閣劇員

家庭百科問答

【午前八時五分頃より】(臺北) 黑田小梅發表

▲豚のフランス煮 豚肉大五切、ビールコップ一杯半、鹽大匙二、胡椒、パセリ、味の素少量、レモン一個

▲牛蒡の朝鮮煮 牛蒡五本、玉子の白味三箇分、白胡麻五勺、味淋少量、味の素

新刊紹介

◇國文學者一夕話(六文館發行) 堅くるしい感じのする國文學界に隨筆とか感想といふ輕い文藝を纏めたものは殆んど今まで上梓されてゐない、此意味から本書の上梓は一面極めて有意義な企てである、本書は現在國文學者と知られてゐる人々の隨筆感想は殆んど全部といつてもいい位網羅的に纏められてゐる、元來が學者の事であるから小説家の書いた隨筆集とか感想集を讀む様には簡單には行かない、中にはさういつたもののもないではない、附錄の現代國文學者總覽は生年月日、出生地、勤務先、現在所、學歴、卒業論文、現在研究題目、著書、新聞雜誌所載論文に分けて調査してあるので國文研究家は勿論一般同好者にとつて好參考たり得る(本文三二三頁、總覽九七頁、四六判△一圓五十錢△東京市神田區南甲賀町八 六文館發行)

△實話雜誌(八月特大號) 本誌は何月號を讀んでも實話が中心であるだけ讀者をひきつけて行くが今月號は特に最近の新聞紙上を賑はした事件があるので興味は一入深いものがある、安藤盛の「馬占山の末路」に彼の生立ちから反逆に至るまでの經路を面白く描き出してゐる、[illegible]の「[illegible]事件首祖」に密接に關係あるだけにこれまた是非讀んで置くものであらう、その他には最近の心中總ざらひとして「心中研究座談會」があり又「犬養首相の秘められた戀の思出話」がある、滿洲事變始末記、上海事變激戰記は夫々二百枚に亙る戰爭日記で兩事變の經過を一日のうちに會得せしめるものである(四十五錢△東京市小石川區表町一〇九非凡閣)

タバコのみの
齒磨スモカ

ゴロゴロと咽喉の雷鳴
ナツと吐き出す嗽ひの夕立
スモカのあとの口中涼味!

定價 十五錢
煙草小賣店にあり

225

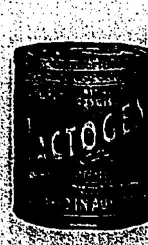
專賣特許
日本一
日本一のヨイかとり
蚊とりせんこう
一度使つたら忘れられぬと申されます
紀州 商園除虫菊株式會社

パームオイル製
仁丹石鹸
(中型 一個) 正價十錢
荒れた肌でも
使へばなほる
キメを細かに
するシャボン

心齋橋大商品市

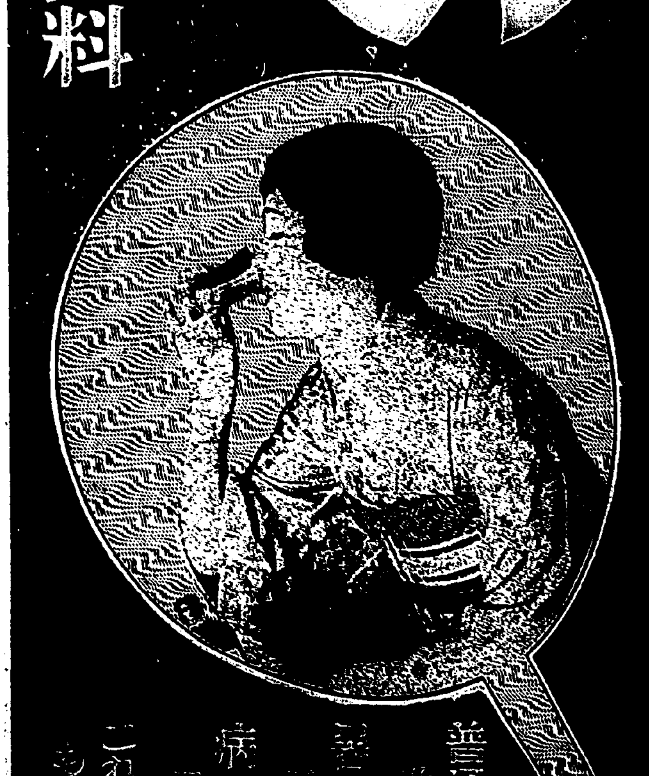
會期 九月一日より十日迄
會場 大阪心齋橋筋(自本町至南久寶寺町)
主催 大阪東區南本町四 心齋橋筋卸業聯盟會
懸賞標語募集(本商品市の特色を闡明に表す標語 御問合せは本會へ[illegible])

育兒に最良の母乳代用品
ラクトーゲン
(鈴木醫學博士推奬)
使用簡便
實績第一



育兒法の說明書を進呈します [illegible]
[illegible]食料品株式會社
大阪市東區伏見町三丁目
東京市日本橋區[illegible]町

どりこの
暑さも疲勞も倦怠も・忽ち忘れる
美味・涼味・御家庭必備の滋養飲料



●ガオガン服めば頭ハツキリ齒痛も治る●

近代的の贈答品

大東京
横濱市
川崎市
全部の酒類商組合の推定品

ユニオンビール
三ツ矢サイダー
天然鑛泉 三ツ矢平野水
體裁優美な化粧品!!
一打入・半打入

宮内省御用達 日本麥酒鑛泉株式會社

日月潭事業の再吟味

在京……橙村

（下）果して臺灣では近頃電氣料金値下げの要求が強調されて居るやうだが、若しそれが透明な單純色意識から出發したことで不透明な混合色意識から出發したのでなければ至極尤もな事だと言ふの外はない つまり日月潭に關する過去現在將來に亙る各方面の努力をくたびれ儲けに終らしめない爲めの親切な運動の一つとして素直に受け入れてよい

元來… 電氣料金はそれの世界的權威者たるヴヰスリング博士其他の說けるが如く急激に上げたり下げたりすべきものではない 上げる場合は勿論下げるにしても極めて徐々に下げて行くべき性質を存するものだ、だから日月潭が出來上つたからつて忽ち何割かの引下げを斷行し得たつて無理だ。電氣の效用は酒肉一盃に盡るものではないからだ、だから工事落成前の今日から徐々に下げて行かねばならぬ、然し云つて置くが果してどこ迄下がればよいかは米價や水道料と同じに本來非常にむつかしい問題だ、極端に言へば解らないものだ、世界の平均値まで下げれば大體不當ではないと云ふわけだがそれが果して滿足し得べき極點かどうかはわからない、現に內地の電氣事業の如き無謀な競爭をして

料金… 値下げをやつたりしたが爲めに經營難に陷つて五十圓株が二十圓を割つてゐるのがある、だから「一概に日本の平均値まで徐々に下げて行けばそれでよい」とも言はれない、そんなら公正なる料金値と云ふものは結局解りつこないのかと云ふとさうではない、即ちヴヰスリング博士ジーゲル博士其の他の見解をまたずとも常識的に考へて

一、發電及配電原價を基礎とする事

二、收益事業或は同種事業の料金率を充分に考慮する事

三、電氣を利用し得る產業の助長をも考慮する事

四、一般需用家の好意（Goodwill）を受けて出來るだけ穩當に電力の消化を促進すること

凡そ此の四つの見地から判斷すれば料金の公正度はわかる 故に或る電氣料金を他の電氣料金とを比較した丈けでそれが高いとか安いとか云ふは

早計… である、斯く言へば一口に云つて發電の料金を高いと思ふか安いと思ふか」と言はれるに相違ない、素人さんたちはぢきにさう聞きたがるから、そこで余は端的に申すが「發電の料金は安くはないと思ふ然しあわてちやいけない今日只今が値下の時期であるとは早急には斷定しない」なぜなら發電の今の料金程度の料金で商賈してる事業は日本にも外國にもざらにあるそして別段いざこざを起してゐないからだ、唯然し「今日の發電の料金制中の非合目的な點は一日も早く順々に修正して行く方がよい」ところで余の今日最も心配しつつある點はそれ等の點よりももつと外の點だ、即ち日月潭事業を各方面のくたびれ儲けに終らしめぬ爲めに各方面が果して前記（イ）乃至（ホ）を確認してゐて吳れてそれが

料金… 問題へもほとぼしり出てゐるのならまだしもよいのだが、單に料金問題、それは兎もすれば水掛論になり易い問題たる料金問題だけに沒頭してゐて最も肝腎の問題が閑却されてゐては非常に困ると云ふ事だ、日月潭再興の際誰れかが余等にささやいた事がある「結局あれは總督府のしよい込みになるのではないか」と余等はそれがこわいのだ、料金問題も大切だが事業の採算が取れるか取れないかがもつと大切だ、平たく言へば日月潭の事業

採算… が失敗すると云ふ非常の場合――そんな場合に今の所謂期せずともよいかも知れないが――その場合には配當を落し更に已むを得ざれば一時既部分の料金の引上げをも斷行する方が此の上益々借金を加算して事業非難の渦化を惹起するよりもよいのである、それから此の配當引下げに兎も角として料金値上げの方にはほんの一部だけでも容易に行ひ難い事だが世界經濟中には世界の多數の都市村落に於て斷行を見た、それを或る將來に可能にする爲めには平常に於て會社が一般民衆から十二分の信賴と好意を享有してゐなければならぬのだが余は日月潭將來の爲めに衷心から此の點を思ひ煩ふ『それは爲替の關係なり米價切下げなりを顧慮して云ふ事だらうが爲替及米價の關係は日月潭計畫當時豫期しなかつた事だからその爲めに生ずる

危險… は「日月潭企業としては責任を負はずともよい」と云ふかも知れぬ、然しそれはなげやりな考へだ、なぜなら事業家は野球のピンチと同樣に企業の中途に起る各般不測の危險を覺悟し且如何なる困難も之を押し切るの勇氣を把持すべきが本來の任務だから、以上是を要すれば、余は

一、臺灣の電氣料金は一層合理的な考慮を加へて速かに順次その合目的化を計ること

二、それよりも大切なことは日月潭企業に付ての各方面の過去現在未來の努力をくたびれ儲けにせぬ爲めに前記（イ）乃至（ホ）を再確認すること、是を會社と民衆とに望へる

料金… 不撓同盟、それには斷然いけない、それは從來臺灣に例のなかつたことで若しいよいよやるとならば臺灣全土の現在に將來の平穩なる發育の爲め哀しむべき不祥事だ

七、八年期蔗園の自作他作別と月別

自作面積の割合がふえた

糖業聯合會糖務部調查（第一回調査當時の調査に係る）によると七、八年期蔗園作付面積を自作、他作別に植付月別にすると（單位甲）

植付別	自作	一般作
七月迄	六、六六六	五、七二一
八月	四、三六〇	一六、五五五
九月	二、七四四	一三、三四四
十月	七〇〇	四、八八〇
十一月	四四六	三五五
十二月	五四四	七一〇
一月	七二九	六〇五
二月	四〇二	一、一〇四
三月	一、六六五	三、六〇八
四月	一、二九一	一、九〇三
五月	二五七	四五六
計	一九、八〇四	四八、三九六

即ち自作蔗園には七月迄に植付最も多く八月之に亞ぎ以下九月、三月、四月の順位となつて居り一般蔗園には八月植も最多く九月植之に亞ぎ以下十月、三月、四月といふ順位である、又新植、株出別にすると（單位甲）

	自作	一般作
新植	一五、九〇〇	四〇、八四〇
株出	三、九〇四	七、五五六
計	一九、八〇四	四八、三九六

更に各會社毎に自作と一般作別にすれば（單位甲）

會社	自作	一般作
臺灣	六、二〇五	一〇、六四一
新興	一〇〇	一、〇一七
明治	一、七〇八	九、四四一
帝國	三、三六四	二、二二二
沙轆	三三〇	五一九
大日本	五、一二四	一三、〇四一
鹽水港	二、八六六	六、六六〇
臺東	七	八四〇
新高	四四七	二、三八六
昭和	一六六	二、二一二
新竹	一〇四	七八六

即ち各社中一般作に對し自作の割合最も多きは帝國で臺灣、沙轆之に亞ぎ鹽水港も比較的自作の多い方であり總じて自作の割合がふえ以前自作面積が總面積の三分の一位であつた臺灣製糖が七、八年期には四割强となり又鹽糖も二割强であつたものが約三割にふえて居り、又半數位であつた帝糖が六割となつてゐる、斯く自作の割合がふえて來たのは一つは七、八年期の原料代を徹底的に引下げたからでもあるが主因は自作農場の諸經費が著しく低減し自作原料代が買收原料代よりも安くつくに至つたからで製糖の自作原料代は特に低廉になつたといふので注目を惹いてゐる

何處まで下るか

對米爲替遂に廿二弗臺へ慘落

相場は全くノミナルに過ぎず

滔々止るを知らぬ落調

【神戶二十日發電通】前日慘澹たる落調の市況は混亂を見た跡下ら上海筋では更にニユーヨークに於て圓賣崩しに出た爲め今朝米日爲替は遂に廿二弗臺に轉落し跡上海筋は圓の法外な安値に買戻し氣味もあつて稍小戾して來たが內地市場は米日惡化に一層崩落し正金は前日より一氣に半弗方市中レートを引下げたるも一般市場は尙二ポイント方下唱へにて依然接近せず全くノミナルで續いて輸入取極を刺戟せる爲め氣配愈々軟調落調滔々停止する所を知らぬ商狀である

東京爲替況

【東京二十日發電通】爲替市場は依然低迷し寄付ニユーヨーク米日二十二弗七十五仙と前日に比し七十五仙安と上海安を入れ十九日引に比し三ポイント方低落を示し續々新安値を出すと見えたが引際には上海の利喰買米日クロスの小戾し內地筋輸入ビル出盡を入れ小戾し結局對米二十二弗四分の一賣二十二弗八分の三乃至二分の一買 對英一志三片八分の三賣一志三片八分の五買唱へに引けた

臺銀の利下げ 茲一兩日中に發表

預金利率も五厘方引下か

政府の指導的政策に基く日銀三次利下に伴ひ臺銀でも之に呼應すべく目下盛んに本支店間に電報折衝中であるが大體現行率より一二厘方引下げを實施すべく月曜日頃發表の筈である、尙預金利下げに就ても前回前々回の貸付利下に對し預金は下げるべくして下げるに至らなかつた事だし今回は營業の立場からも又本島金融の立場からも（本島預金は昨年末より漸增を來し現在一億一千七百六十萬圓に達し前年末より約六百五十萬圓の增加を見せてゐる）貸出率引下げに鑑いて預金引下を實行するが、その率及び實施期については目下研究中で、既に內地市中銀行では二十五日より實行と決したので本島でも茲兩三日中に決定發表の筈である、引下率は甲種乙種共現行より五厘方の引下が豫想されてゐる

內地銀行の預金利率引下內定

【東京二十日發電通】日銀利下に伴ひ市中銀行の協定預金利率の引下も既に內定し從つてコール協定率、貸出貸越の利下げも當然行はるる筈で協定率一厘下の一錢五厘、貸出貸越は二厘下の一錢十厘となる模樣である

臺銀の配當

兩日中に決定

【東京支局特電二十日發】臺銀に於ては來る九月一日に會を開き利益金處分案を附議する筈であるが、株主多年の要望もあり又業績の結果と先の股例にみて今回は聊分の配當を斷行する事となり目下その割當率につき攻究中で兩三日中に決定の模樣である、尙今回は從來の整理をもつて年六乃至四分程度の利益配當に止めるであらうと見られてゐる、尙利子引下げの件も最早引下げ率と實施期日の問題にかかつてゐる模樣で目下日銀の來る二十一日頃に決定を見るのではないかと豫測される

大連銀票相場

【大連十九日發電通】當地銀票相場は後場寄付現物一〇四圓四十錢、先物一〇五圓四十錢と變動に寄付き引際更に騰勝先物は一〇六圓四十錢と近年の新高値に大引け

醬油は近く値上か

爲替安と原料高

[illegible]に昨年末金輸出再禁止後爲替の暴落に連れ原料大豆を始め諸材料の値上りを理由に二回の値上げを發表したが一般購買力の不振と食料油の減價から實際は一回の値上だけに終り今に至つてゐるが近來爲替の暴落甚だしく大豆は益々上向く一方であるから釀造元でも永く前値を維持出來ぬ事情もあるので近く値上げを斷行するであらうと期待されてゐる

食用油暴騰

爲替安の爲め

爲替の暴落に連れ原料大豆の輸入採算著しく向上し之が爲め白絞油及落花生油は本月に入り騰貴する一方にて臺北の取引相場は一ケ月前に比し一斤に二圓五十錢乃至三圓の暴騰を告げ白絞油十圓を唱へてゐる

大稻埕茶況

夏茶仕入期入り 中茶取引旺盛

上茶、粗茶は寂しい

大稻埕の茶況に關し臺灣茶共同販賣所の調查によればウーロン茶況は今や夏茶の中心期に達し貿易筋では今が肝腎の仕入期であるのみならず最近對外爲替相場の暴落と相俟つて比較的市場緊張味を帶びてゐる、然しながら海外茶況が依然不振の爲に當地實際の氣配上らず唯、中茶級のみ取引相當に行はれてゐるが上茶と粗物は殆ど商談がない、こんな狀態であるので相場に別段の變化なく釘付狀態であるが中茶のみに氣配堅調である、同共同販賣所に於ける八月十六日までの委託茶到着累計は百十七萬八千三百二十八斤、販賣累計百八萬五千四百二十七斤、販賣價格累計十六萬一千三百三十一圓七十七錢で現在のストックは九萬二千九百一斤である

新興製糖總會

久振に二分配當

新興製糖會社は二十三日鳳山山子頂の同社で定時總會を開き昨年七月より本年六月に至る一ケ年間の利益金處分案を附議し專務取締役陳啓安、監査役北川[illegible]氏任期滿了に付改選を行ふ由當期は久振りに糖價の昂騰に恵まれ多少利益を得たので年二分配當を行ふことに內定してゐる同社は昭和四年以來無配を續けてゐるが前期に於ける赤字を出し前々期の繰越利益で之を補塡したが一面借入金も相當あるので之を償却するを急務とし專ら內容充實主義をとり本期も僅かりの配當を行ふことになつたものである、尙專務と監査役は大體重任することに內定してゐる

本島産バナナの滿洲國向け大進出

來月上旬より奉天、新京、哈爾賓に

新荷受機關を開拓

臺灣產出バナナの滿洲に於ける荷受人は從來大連の北支那青果會社であつたが近く大連市に中央卸賣市場が出來るのでバナナの販賣に於ても同市場が一手に引受くることとなつたので

北支那 青果會社が同市場より代價を受けて販賣權を讓渡することとなつたが其の代り同會社では新たに奉天に於てバナナの市場を關東廳認可の下に設置することとなりいよいよ來る九月一日頃より島產バナナの販賣に從事することとなつた、この市場に從事するものは從來の青果營業者中日本人四名、支那人三名同地に在住する新規加入者日本人二名、支那人五名、大連より進出する者日本人二名、支那人四名計二十名の專屬

仲買人 である、又た奉天には從來の分と合せ計三千簡のバナナを收容し得るムロも新設される筈である、同會社では之と同時に首都新京にも支店を設け大に活動の豫定である、殊に大連の市場へは本年に入り既に二十七、八萬簡のバナナが輸出されて居るが奉天及び新京に進出の結果新たに本年內にて二十八萬簡を輸出する豫定で販路がここに少くとも倍加するわけである、更に

哈爾賓 は從來大連の辻山洋行が東支鐵道の獨占權を得て居り普通ならば大連より三日を要するものを特別に早く輸送し哈爾賓の支那商人に卸して居たが、先般滿洲國成立と共に此の獨占權が無くなり何人でも好い事になつたので、今回哈爾賓に於て新たに日本人四名より成る荷受組合が出來たのに就いて一簡につき運賃諸掛約三圓を要するが之を生產者側に負擔させる事は困難な事情があるので北支那青果會社に於いて補償することとなるべく、本年に入つて辻山洋行の手を通じてハルビンに輸出した

バナナ は約八千簡であるが今回新たに荷受組合が出來た結果其の輸送も大いに增加する見込である、かくして本島バナナは奉天、新京竝びにハルビン等諸都方面へ大々的進出を見るわけで臺灣貿易の前途も益々輝かしいものとなつて來た

屏東 米 漫談

▲一體に此の地方は早出廻りつてどこに妙味もうま味もあつた、それが此の一期にけ遲れた、その遲いてけぼりにされた一期の蓬萊米は見込二萬袋はあらうかその蓬萊が、なんデス、十九日高雄渡五圓五十五錢然も買手なし▲在來が同日五圓六十錢だ、なんて皮肉な値段、デです蓬萊米を植ゑろ〳〵と盛んに獎勵して此れではなんにもなんにもやあ、と四銘の飛ッ沫を勸業大人に浴せかける、ご無理もないやうだが、だが然し恐らくは矢ツ張蓬萊よいとこな、所やあらへんそりやあさうや三トオ食べるのがおまんまの定法なのに四トオでは▲などゝ更に角四萬袋たら、ならのまんまで何とか片付ける工夫が、とあつて移出米商の惑を離れた考案、白米にして沖繩なり何國なりへ仕向けては、となつて、さて買となると三萬、いや其れ以上の價値を附へて來るこれぢや手も足も付けられない、つてたよな、のが此の地方の今の姿、ナンデス

屏東檢米現況

屏東米穀檢查所の二十日現在一期檢查米高は

長粳　四萬千九百袋

蓬萊　五萬二千四百四十三袋

で前年同期同日現在の

長粳　十四萬二千五百二十三袋

蓬萊　三萬二千九百三十九袋

に比し蓬萊は一萬九千五百六袋の增加を示して居るが此れは植付增加に因るもので長粳では前期に比し十萬六百二十三袋減つて居る

高雄在庫米（二十日朝現在）

（正米市場調查）

一期蓬萊米	三二、〇八五袋
一期在來米	一、二七三
合計	三三、三五八袋
移出米計	一六一車（二〇、一三〇袋）

正米市況（後場）

受渡しに付休場

大阪期米

▲後場

節	當	中	先
一	二一七七	二一八六	二一八九
二	二一七二	二一九四	二一九五
三	二一八一	二二〇〇	二二〇三
四	二一八一	二二〇三	二一九八
五	二一八三	二一九九	二一九八
六	二一八〇	二一八六	二一九〇

東京期米

	當	中	先
寄	二〇七九	二一二〇	二一三六
止	二〇七三	二一二〇	二一三一
高	二〇七九	二一四〇	二一四七
安	二〇七三	二一二〇	二一三一

神戸期米

	當	中	先
寄	二一七〇	二一八八	二二〇五
止	二一八二	二一八二	二二〇一
高	二一八六	二一九九	二二一一
安	二一七〇	二一八二	二二〇一

堂島前場先限兩建控除主な手張

賣方 太田三、七〇〇、栗野二、二〇〇、村岡、岡崎一、五〇〇、工商、永輔一、三〇〇、田中金八〇〇、楠辰、林僻六〇〇

買方 湖先五、四〇〇、上楠二、五〇〇、菅理二、四〇〇、中興一、八〇〇、岡田一、二〇〇、北川一、〇〇〇、福田六〇〇、栖木五〇〇

堂島兩建控除後合

當限 賣方 七〇、八〇〇石 菅原以下十三店

中限 買方 一一、九〇〇石 岡崎以下十八店

中限 賣方 九六、四〇〇石 小河以下二十一店

先限 買方 北川以下十五店

先限 賣方 濱崎以下二十店

各地期米引跡氣配

大阪二一圓八八、九〇錢 東京二一圓三〇、二錢 神戸二二圓〇一三錢唱へ

堂島米況前場

【大阪二十日發電通】休日控へに氣乘薄く當米安いが先は岡山筋の吉田系の投物太田店より賣出し中東筋でバラ賣り地場筋系、池先上樣、岡米等買に二十一圓六十六錢と寄りその後松本の利喰ありしも株式筋の手詰あり五十三錢と押し詰め七十八錢と見せ覆取引筋の買戻、北川系の利喰にチリチリ引に來客新規買もあつて引出九十三錢より乘せ目先筋買返り九十四錢と氣丈に引けた手筋は賣方岡山筋股（太田）中東筋（村岡、岡崎）株式筋手張（栗野）東京筋（工藤）買方藝取筋、湖先、菅理、米穀筋新規買（中興、狀況、桑名新利喰（上楠）

堂島米況後場

【大阪廿日發電通】休日控へに不氣乘で東京筋地場買に廿一圓八十九錢と小甘く寄り各地軟りに連れ三節三錢と軟出したが然止米筋賣に四節一圓九十八錢と落し弱氣筋に買氣薄く九十錢と不味に大引本日の出來高三二九、〇〇〇石

米況

臺米現物相場

基隆商議調　車渡百斤　對前日比

一期在來米	五、七三	[illegible]
北部一期蓬萊米	六、四三	[illegible]
中部一期蓬萊米	六、七〇	[illegible]
南部一期蓬萊米	六、三〇	[illegible]
北部一期丸糯米	六、四五	[illegible]

基隆在庫米（二十日朝現在）

（正米市場調查）

一期蓬萊米	六八、四四五袋
一、一期蓬萊白米	三、六五七
二期丸糯米	二、〇〇四
一、二期丸糯白米	一二二
一期長糯米	一四八
一、二期長糯白米	六五八
一、二期在來白米	一三五

臺中米價（二十日）

蓬萊米六、六九錢、在來米八、三〇錢 出米高蓬萊米一七、八九四袋（臺中商話）

臺灣の茶は紅茶にすべきか

烏龍茶に據るべきか

世界の貿易總額五百億圓の內茶は其一パーセントの五億圓に當り更に本島貿易の大宗たる茶の

輸出額 は一千萬圓以內で全世界のそれの二パーセントにも足らぬ僅少なものである然し本島としては頗る大きな問題で國際貿易たる以上世界の經濟界の動きには常に支配せられてゐる譯である、英國保守黨の勢力、ブーペー營業の如き事が[illegible]西班牙の經濟に負ほ影響するとは誰が信じ得やう全くウソの樣な事實である從つて本島茶業問題に之等をも引くるめての檢討をなければならぬが過去のことは兎に角將來のことは神樣でない限り豫測するを許さぬ依つて

當局者 が臺灣茶業の諸問題を取扱ふに際し過去から現在への推移を基礎とし現在から將來へ推して行かねばならぬ

紅茶主義か 烏龍茶か 古くから唱へられてゐる問題であるが最近又新しく中央で云はされてゐる樣である紅茶主義（こんな言葉があるかどうか知らぬが）からすると世界の文明國が最も多量に消費するものは紅茶であり我島烏龍茶

唯一の 競爭たる米國での趨勢も紅茶に步好が移りつつあるから臺灣茶の生產を紅茶にするのが有利であり尙最近本島でも三井紅茶とは外國品に遜色がないと云はれてゐる或る程臺灣茶の現況米國市場の趨勢及び南洋方面に於ける包種茶には熱心に研究材料があり尙茶業界心に唱へぬものがあつて將來の發展は望み得られぬかも知れぬ然し烏龍茶や包種茶の輸出が面白くないから直に紅茶にすると云ふのは極めて自然の勢に思はれるが[illegible]結果であらうとさり

現在は 茶の生產過剩時代であり茶の生產過剩は茶の大部分を占める紅茶の生產過剩にあるのだから強いて其仲間入りをする必要はなからうそれに三井紅茶だつて表面的には成功したか知らぬが經濟的にどうであらうか、よし三井の成績がどうあつたにしろあの規模に從つて紅茶工場を作る企業者が實際問題として他に求められるだらうか當面の茶況が好況の時若くは不況の時、紅茶の生產と云ふ大道具が本島茶業界に出たがやがて立消えになるのは火を見るより明らかである

臺灣茶 が烏龍であり包種茶であつて紅茶でなかつたことが福島洲洲六十年の存在を遂げた所以であり包種茶は新しくある所以であらう若し臺灣茶が紅茶主義になつてゐたら今頃は恐らく臺灣茶は亡びてゐたであらうことを斷言して憚らぬものである

喜ぶべき「臺灣紅茶の進出」

一萬封度の契約成り

更に珈琲にも注目さる

橫濱の木村コーヒー店が本島の紅茶に着目し柴田文次氏を派遣せしめて實地取引にまで進んだことは既報の通りであるが十九日臺灣茶檢查所で各種の紅茶の品質を吟味した結果矢張り中南部のアッサム種が大に氣に入つたものの如く本年に取敢ず一萬封度の試入をなしたいとの希望で近日中に中南部の視察に趣き特にアッサム種の本場魚池方面は熱心に視察する筈であるが更に東部を一巡し場合によつては本島に於てコーヒー栽培を行ひたいとの希望も有してゐる模樣であるが二十日に小學校時代からの親友小濱內務局長を訪問した、同中南部のアッサム種は目下南部方面消費の茶を拵へてゐるが一萬封度位のものなら製造は左程困難でもないらしくこれが實現せば南部方面の消費には北部の茶が進出することとなるだらう

新竹製糖總會

三十一日東京で

新竹製糖は本月三十一日東京昭和ビル內外商會にて第十三回定時總會を開き六月末を以て締切る過去一年間の利益金處分案を附議する由、同社は昨年糖價の不況に引續き赤字を出し一昨年減資斷行後資價償却費も少くなつて損失續出し今期に至り蔗糖增加と糖價騰貴の爲め漸く利益を得るに至つたが配當を爲すまでに至らない、當分資償却の爲め無配を續ける意嚮である

沙轆製糖總會

沙轆製糖は卅一日臺中州沙鹿の同社で定時總會を開き六月末を以て締切る過去一年間の決算を附議する由減資後も尙相當負債があるので引續き無配當に內定してゐる

臺東製糖總會

三十日開催

臺東製糖は本月三十日東京出張所にて定時總會を開き昨年七月より本年六月まで一年間の利益金處分案を附議する筈前期の繰越損金もあるので今期はそれを補塡することとなるべく引續き無配當に內定してゐる

株式

大阪短期

▲前場　寄　引

[illegible]

大阪長期

▲前場　寄　引

[illegible]

東京短期

▲前場　寄　引

[illegible]

東京長期

▲前場　寄　引

[illegible]

日本氷　二三、四　淺野　四四、一

日石　四三、一　同新　―

東京株況後場

【東京二十日發電通】中旬買越千四百萬圓の出超と共に後場も大阻喝含み人氣であつたが休日控へに商内薄く後下無近く商状となり東株四十錢高新一圓五十錢高鐘紡新株小甘く砂糖株では明糖四十錢方小戾し淺野六十錢高東株六十錢安新東五十錢安と小緩んだ

公債

東京國債

甲號五分利	九四、七五	九四、八〇
第三五分利	九一、〇〇	九一、一〇
第二四分利	八〇、〇〇	―
二十八年物	九五、二〇	九六、一〇
佛貨公債	一三六、八〇	一三七、〇〇
國債出來高	一五四、五〇〇圓	

爲替

米日爲替　二二弗七五仙

米英クロス　三弗四七仙八分一

神戸日米爲替

二二弗四分三賣

二二弗八分七買

銀塊

倫敦現物　一八片四分一

同先物　一八片一六分四

紐育現物　二八仙二〇

同先物　二九仙八〇

穀肥

神戸豆粕

▲前場

一節　八月限　三、七〇　十二月限　三、七四

四節　八月限　三、七〇　十二月限　三、七五

▲後場

一節　八月限　三、六八　十二月限　三、七一

四節　八月限　三、六八　十二月限　三、七二

シカゴ小麥

八月限　五〇仙八分七

九月限　五四仙八分三

十二月限　五九仙八分

出來高　三千萬ブッセル

絲況

大阪絹絲

米格　六十五錢安　田福　不變

大阪綿絲

▲前場

八月限　一五七、三〇　一五七、四〇

二月限　一七〇、六〇　一七一、七〇

▲後場

八月限　一五七、九〇　一五九、八〇

二月限　一七三、五〇　一七〇、六〇

大阪棉花

▲前場　八月限　四九、一〇　四八、三五

橫濱生絲

▲前場　八月限　五〇、四〇　四九、七〇

砂糖

大阪精糖

▲前場

一節　十一月限　一二、五五　十二月限　一二、六三

十一月限　一二、七五　十二月限　一二、八一

爪哇

直段

九月積　十二、四〇

十月積　十二、五〇

十一月積　十二、六〇

十二月積　十二、七〇

大阪現物

三溫（OBB）　一六圓五〇錢

分蜜（MS）　一六圓三〇錢

精糖（銀）　二〇圓七三錢

同（赤）　二〇圓八〇錢

同（日）　[illegible]

新地白糖（A双）　二〇圓二三錢

青物卸相場表（二十日）

臺北市中央卸賣市場

[illegible]

[illegible]　定價壹圓　送料八錢

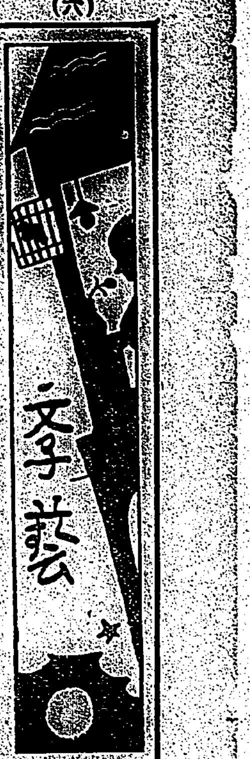
株式相場のうらおもて

本書は株式賣買の入門から市場戰術の蘊奧に至る迄凡そ此方面の理論と實際について餘す處なく記述されて居る、而も一讀瞭然たる記述の平易は著者が新聞人として述べ人であるが爲、又市場の表裏の機微を穿つて讀者の要心に觸れるものは著者が嘗つて東株取引員として其道の玄人であるが爲である。必讀の好書と信ずる。更に著者は本書購讀者に株式賣買の實戰に際し個人指導を無料で行ふ事として居る、此空前の試みは本書の價値を事實に證するもので重ねて御一讀と御利用を薦む。

大阪市堂島北町

發行所　關西株式研究所

電話北一〇五一　振替大阪八五六一一



文藝時評

新社會派・新心理主義
―その他（上）
石垣直

新社會派新心理主義、ロマン論ファッショ化、大衆文藝の流行など、それらの新現象は既成藝術派の全面的動搖であるかのやうに考へられ勝ちである。が事實についてみると藝術派の本流は已然としてそれらの波紋を上に歩んでゐることが觀る。今の藝術派の中堅的要素は、かつて彼等が「新興藝術派」に結成された時にいはゆる藝人の新興藝術的作家の活動と無關係に自己の道を歩いてゐた樣に今も各々自由な創作境地を固執してゐるのである。そして今日ではかつて取材と創作態度の上で「新興藝術派」を代表してゐた人々でさへ各々獨自の道に別れて行つてゐることを思はねばならない。かくて藝術派に包含されるすべての作家は、個性の深部と同數の作風の機軸を持つてゐる。我々が藝術派の設けよい生誕を送られるのはこの分野からである。さきに列擧した展望の新提唱からは、未だ優れた作例が出てゐないのである。それ故藝術派のことを考へやうとする者は、まづ藝術派のこの本流について觀察しなければならない

◇

この部分を幾つかの特色に分類することは困難であるが、大體に於てそれは傳統的なリアリズムに立つてゐるといはれることが出來る。それ故、取材が前代の文學と著しく異なつてゐるに拘らず、新鮮さや目立つた感じを與へられること少ない。

◇

今の作家は月刊雜誌に短篇で發表する以外の機會を惠まれてゐない。どんな優れた大規模の小說を作りうる才能を持つてゐる作家でも充分に餘裕を與へられなければ創作的な或は大きい創作が出來るものではない。長篇を作る機會として新聞の連載的通俗ものの外それに與へられるのであるが、通俗物は讀者層の興味の方向を指定されて描かれる故興藝ものに縮る場合が多い

◇

眞に才能のある作家に純粹に創作しうる時間と旅行本としての發表を許すならば長篇のよいものが生れる筈である。島崎藤村氏の「夜明け前」などは第一義的に優れた小說と云ひ難い。然しそれは力作と云はれることが出來る。時に資料の蒐集に際しこの努力は作家としての上部的な生活力を意識するものでなければならない。「夜明け前」程度の長篇ものが若干現はれる時なほ文壇の不振が叫ばれるであらうか。作家の意氣を喪失させてゐるもの、作家のテーマを委縮させるもの作家を無氣力に茲成するものはむしろ營利的ジャナリズムであると言つても過言であるまい

◇

今日の作家の底力のなさと踏台的な眼の缺如を助成する社會的文壇的諸關係は勿論存在してゐるのであるが、然し根本的に於て作家にかかる態度を默認してゐるものは、幾今のいはゆる時代の特徴でなければならない。即ち今の人間特に若い神經の人々の殆どすべては無理想である。彼等は精神的支柱となるべきものを持たない。既成何々主義に信仰をえるべく利巧すぎる。過去の哲學思想に眞理を探すべく學究心に乏しくまた哲學思想それ自身は枯淡で今時の若い人を吸引する生氣を孕んでゐないかに見える。たまたま現はれたマルクシズムは探求い頭を縱く刺戟するかも知れないが、分別のある者には唯物觀すぎる

◇

あらゆるもの雜然たる中に、高い精神の據りどころのない人々の關心は、自己の生活の内容をなしてゐる仕事の他は、消費生活の與へる刺戟であるかも知れない。そして作家も亦かかる時代の子である。特別に强靭な個性でも持つてゐない限り、その制作も時勢のもたらした精神的無政府狀態を拔出ることが出來ないであらう。今の多くの作家のいはゆる精神的「行詰まり」が社會的風潮を反映してゐることも爭ひ難い。かかるこんとんたる中にわれわれは新しい文學的標識の生れる餘地は充分にある曰く、新社會派、曰く新心理主義文學、或は文藝新浪漫派等々、さまざまの新しい文學と名のりをあげるものがある（續く）

機械美の構造（上）
仲井正一

「我々は構成の時代にゐる、社會的標準的新しき條件への適應時代にゐる、我々の船は今や那を廻ぐる、そこに展開さるる新しき水平はこれまでの諸體系をことごとく論理的構成をもつて修正せる不斷の戰ひである、建築に於て今や過去の構成方法は終りを告げた、建築藝術の表現上の論理的根據を、この新しき基礎の上に立てたるときにのみ、人々は建築の永遠なる眞理を見出す、今後三十年が、この建築の問題を創造をもつて解き得るであらう、偉大なる問題の時代、解析、統綜美學上の偉大なる價値觀念の時代、この現代こそ新しき美學の出現するであらうところの時代である」

コルビュジエによりてこの刺戟的な言葉が發せられてより、多くの肯定と否定がそれに向つてなされてはゐる、唯、しかし時はその言葉を乘せて推移し、その言葉の意味を實證しつつあるかのやうである

×

ロマン派の誇りしものが放恣と個人性と唯美主義であつたに反して、ギリシャ的藝術觀より綜果されしものは規律と調和と統一とであつた。コルビュジエの目指すものはそこにある。アリストテレスに於いて、模倣とは人間の情緒、性格、行爲のミメジスであつた意味に於いて、コルビュジエの目指すものは規律と關係と統一とを根とするところの、機械のパトス、機械のカクテール、機械のプラクシスに外ならない。ここに於いて今や美學の綜合せんとする新しき總機にあたつて、浪漫的藝術觀とロマン派的藝術觀の對立は深い暗示を我々の前に呈出する、そして機械のもつ人間への關聯性にその美の解釋は、美學史上の新しき展開を强く契機となることを約束するものである

×

或日英國の畫家ハイドンの宅で詩人達が會食を催したことがある宴も寸でに終らんとする時、キイツは突然顏をあげて

「ニュートンの想出、災あれ」

と云つて乾杯せん事を提議する、みんな驚いて、殊にウオーヅワースは盃を乾すに先つてその說明を求める、キイツはそれに應じて

「彼は虹をプリズムに還元しその詩を破壞したるが故に」と答へた、かくして一同は「ニュートンの不明のために」飮んだのである

×

この事件は當時の藝術觀が科學的に機械に對してもつた一つの結論を示すものとして興味深い、かのラスキンが鐵道線路に憎惡を示したのも又さうである、しかしテニソンはそれに對して譏かに言ふ

「藝術は自然の如く、その花をもつて路さへも鐵道の盛土の崖さへも飾ひ得る」

或はさうであつたかも知れない、何故ならば既にコルビュジエはかのプリズムの光をさして「魂の數學的作品である」と稱し限りない美はしさとして讃へてゐる、野の彼方に弧を描く虹の美しさを何人も否まないであらうけれども、又私達は深夜窓の闇の中に交錯する鋭い光の線條に對して特殊の魅惑を感ぜずにゐられないであらう、そしてそこに新しき詩の想感を感ずるであらう、そこにこの半世紀に於て見ることの意味が自ら何物か他のものに姿を變へつつあることを知らなければならない

×

ベーラ、バラージエは印刷機械が人の思惟形態を換へたる如くカメラのレンズの出現は人の視覺形態の意味をかへたといふ

「書く言葉より印刷せる言葉」への轉換についてユーゴー及ダルドがフランスに於て示した思惟形態の變形を指摘してゐる「印刷せる言葉」より「電送せる言葉」に轉じた現代に於いてそれが思惟形に人の感覺にもたらす變形は何者か注意すべきものがあるであらうあたかも言語領域でさうであるやうに、光の領域に於いても、又見ることの意味に、もたらされたる變形を無視することはできない

×

レンズの見るもの、即ちそれは物理的屈折光線が印畫紙上にもたらす化學的變化であり、その集體が即ちレンズの平面的構成の過程である、それは、たしかに人の眼球構造と相似の過程ではある。しかしその屈折度の範圍に於て構成によるその空間的に視野の擴大と正確とその自由性、更に時間的（殊にキネマに於いて）にその視覺の保存的正確性に於て可逆的自由性等の形ははるかに視的感覺の及ぶところではない、殊にその構成に於いて示す一樣なる調子、明暗の鋭い切れ方、精密なるリアリズム、徹底なる資料主義への把握性その把握の空間性に起因ある題材の選擇と自由性、又手法に於ける方向の自由性、並に光線の方向の自由性等、それ等のもたらす變形性は撮影史上の何れの時代に於ける變形性よりも著しき飛躍性をもつた

×

著しき視力の把握力は云はずとするも、それはその視覺對象として把握する、即ちそれは又科學性のもつ機械の藝術的味覺をも意味する、つひにこれ等の構成の結果そこに常につきまとふ所の一つの性格が出現する、即ちそれは精密、精確、鋭利、正確、一言にして云へば「眼のすく樣な切れた感じ」のある、それはこれまでの天才の能筆、個性に於ける個別性等の上に見出すものと言ふにはあまりにも非人間的なるファインである

即ち換言すればそれは一つの新しき「見る性格」の出現である（續く）

◇雲のたゞずまひにも見ゆる秋◇

映畫人と文壇人
小林勝

映畫人と いふものは一種特別の感情を持つてゐる。トタンの箱のかこひの中にとぢ込められて世間の實際とは全く違つたキレイな人生をこしらへてゐる彼等にとつて、かこひの外の人間は餘りに出鱈に見える。彼等に對しては多少の羨望と多大の反感とを此の人種は同時に抱いてゐる。それが智的な人間である場合には、反撥的に卑下と不遜の態度を以て讀みたがる。かこひの中の形を言はれると憮然としてぶつかつてゆく。自分達を

河原者だ と勝手にきめて讀解するだけ穩だといふ氣持であらう。一時此の狂犬的な惡態で文士に嚙みつく形が此の人種の間で隨分流行つたものだ。文藝映畫の場合がそれである。文藝映畫と雖も映畫である以上、彼等は映畫人以外のものに批評されることを面白く思へないのである。自分達の理想を汚され、神域を侵された憤りに似たものを感ずるのであるらしい。從つて

文藝家に 絕大な權威を以はつた「文藝映畫」が必ずしも映畫人に好評を博するとは限らない多くの場合、評判になつた「文藝映畫」は映畫人の間では不評である。

「文士に映畫などわかるものか」と彼等は嘲笑する。少し話は古いが「狂つた一頁」や「生ける人形」がその好例であらう。由來映畫人種といふものは文藝家に映畫を批評されることを不滿に思ふ傾向が強い。然るとすれば勿論のこと褒めてさへこれである

映畫人に 得心のゆく程な映畫批評は極めてむづかしいと言はなければならぬ。文藝家にともかくも、時として專門の映畫批評家の批評にさへ彼等映畫人は眼を立てて「批評するさへ僭越至極」と言ひかねない。彼等には自負すべき一つの優越がある。曰く「撮影所に居なければ、映畫は解らない」何と、悲しくもはかなき彼等の誇りであらう！映畫人種といふものは先づさういつたものだ。造作ながら僕も亦その一人ではあるが……。しかし文藝家が映畫人の反感を買ひ輕笑を投げられるのはまた

やむを得 ない事情がなくもない。文士は商品價値で映畫をよくわからない形を當ずつぽうでいとも簡單に幼稚な無責任な映畫批評をやる。しかも文士といふものは相當に輿論を引きずる力を持つてゐる。從つて彼等の態度のうちに、時たま我々の大いにききくべき題目があつて（彼等に撮影所にゐないが故に撮影所にゐるものの氣づかぬものを見る眼を持つてゐる）時にその一言半句が强く映畫人の胸を刺す場合があつても、映畫人はさうした文士の純粹な性來の深所を以て

手際よく かはし、依然として「撮影所にゐなくて何がわかるか――」と言ひ續ける。だが、映畫といふものは、いつたい誰に解るべきものであるか撮影所にゐる映畫人のみにわかるべく製作されるものであるか。映畫は映畫館の見物に提供される。見物は勿論撮影所に住まない。しかも文士といふものは、映畫人種と同じく不遜で

且つ饒舌 である。映畫人が文士を眼の敵にするのは、文士の無責任な批評のためで「撮影所にゐなくて映畫はわからない」といふものは此の放言に對する反動的な壯語に外ならない。映畫人、亦多分にもく可笑な人種ではないか！此の放言と壯語――これを客觀してゐると甚だ面白い。しかし此等にからまる此の二つの不協和音も批評に關する限り、言ひすて、聞き捨て、結局

犬の遠吠 きに終るものであるが、文士が映畫製作の實際に首を突き込む文藝映畫の製作問題色のインタプリテイションの問題になると、いささか表立つて來る問題となつて、今假りにここに原作と大いに違つた「文藝映畫」が出來たとする。大ていの場合文藝家はオリヂナリティを重んずるからして抗議する。しかして原作者のオリヂナリティを最も尊んずるのが映畫人である

「映畫と文學とは違ふ」

映畫人はかう揚言する

此の場合 の映畫人とはシナリオライタと撮影監督である。

「文學の狙ひと映畫の狙ひとは違ふ」

といふことはうなづけなくもないことであらう。

「故に映畫に於ては原作と違つたものにしなければならぬ」

といふと少し變になる。しかし此の譯方を同一の映畫人が言ふのである

「原作の小說と同じ獨立の脚本を書く樣では脚本家の價値はない」

――スタフライタは

さう考へ てゐる。撮影所監督もさう考へてゐる。「原作と違つたものを作るのがライタの甲斐性である」――若い無名脚本家は興奮を感じながらさう言つて脚本を勉強してゐる

臺日歌壇
安成二郎選

臺北　栗山一舟

わがいゆく朝川小路松の根に蟬の殻ぬく立ちつつは見つ

夏やまの日の照りあつき道にして蟬の聲きく我のしづけさ

たちならぶ棕櫚の並木の梢には黄の垂り花のおぼらかに見ゆ

黄におもく垂りてゆるがぬ花房に虻のむれをりあつき晝日を

臺北　山谷白雨

ねむの葉のそよぐを見つつ夕立の近しと待てば早や落ち來る

街路樹のねむの垂れ葉に手を觸れてなつかしきかは母の如くに

再會の日を思はへば別れより何なつかしく涙流れぬ

臺北　中島俊男

夕榮の赤くただよふ川の面に影うつりとぶせきれい一羽

板橋　程塚鈴音

口きけぬ夫の病にわが子は時にするどくあやまちをきく

晩酌ひ我が母悲しく病む夫をみとりする手のおぼつかなしや

曙光
(80)

生方敏郎作
中野修二畫

警察電話（四）

森田は春田の話から聞かなくても、彼の家に長居をして迷惑をかけるわけに行かないことは、分りきつてゐるが、それだからこそ今日森田の家を出たのだが、頼りにして行つた時一人の友人は、轉居先き不明と來てゐるので、一時は全く途方に暮れた。

しかし、また幸ひに森田が警察へ自分を引き取りにきてくれたので、救はれはしたが、この先き何うしてやつて行けばいいのかは、全然見當がつかなかつた。

頼れるものは藁でも摑む。春田は森田の目からみれば、藁どころではなく、一萬噸以上の大船なのだから、步く途々も春田にすがり付かんばかりに倚りかかつて步いた。

また森田の方では、迷惑といへば迷惑ではあるが、かうまで倚りかかつてくる少女を、途中で突き放すわけには行かず、第一それは可愛想でもあるし、また警察から引取つた、以上この先きしばらく彼の落著するまでは、面倒を見てやるより他に、逃げ道が見出せなかつた。

電車は省線も市電も、もう無かつた。死の如く眠つた街を二三丁行く中に、一臺の空俥に逢つた。しかし一人に一臺では間に合はなかつた。車夫の方でも仕事にならぬと考へたので、すすめもしなかつた。

だが、森田の方からきいた。

「オイ、車夫さん、もう一臺見付けてくれないか？」

その聲を聞いて、俥夫が近よつて來た。そして、挨拶した。

「こんばんは……旦那、何地らまでいらつしやるのです？」

「小石川まで行つてもらひたいんだが……」

「では、ここで一寸の間お待ち下さいませんか？もう一臺見付けて參りませう。」

「おやあ、頼むよ。俥夫さん、マッチを持つてたら、貸してくれたまへ。一服しやう。」

俥夫は、マッチを森田に渡してそこに自分の俥を置き、仲間を探しにいつたが、やがて若い車夫を一人連れて、戻つてきた。

「旦那、何地らまで參ります。」

「小石川までいつてもらひ度いんだ。」

若車夫は、一寸考へて。

「遠うございますなあ。」

「遠いには遠いが、東京の中だよ引き出したら、近いも遠いもないだらう。」

若車夫はだまつてゐた。

「その代り俥代は、ふんぱつするよ。行つてもらひたいな。」

「いつて上げてくれないか？お客さまも歩いちや歩られないし、お困りのやうだ。」

と、初めの車夫も、傍から口を添へた。しかし、若い車夫はきかなかつた。

「足さへ痛めてゐなけりや、千住までだつていかんことはないのだが……昨日あいにくと足の拇を痛めたんで、跛引き引き走つてる始末だから……。」

「そりや、困つた。」

と、森田は、實際つくづく困つて、立往生といつた形で、思案にくれた。

若い車夫は、今更捨てても行かれず、そこにゐたが。

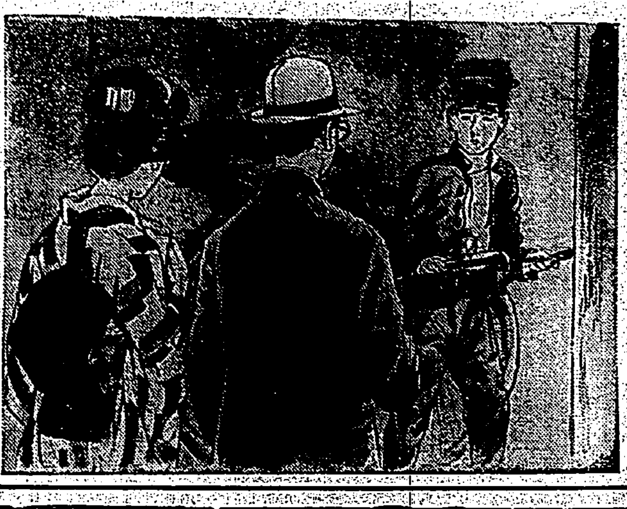
「旦那、もう此時間ぢや、俥はありませんよ。いつそ大森でお泊りになつちやあ何うです？」

と、すすめた。

さういはれると、森田も其方がいいと思つた。俥夫はなほ。

「これからコトコト小石川行く中には、ぢき夜が明けますよ。それより此邊でお泊りになつて、夜が明けてからになすつた方が、よろしうございませうよ。夜があけさへすりや、電車が動いてますから。」

と、いつた。



◇萬なかだち◇

貸家　建成町三大通間取玄關一　六四半二坪二奧半二間物置　家賃一五圓電二二一　井出商行

貸家　大正町三條奥疊六二、四半、八疊一二十一　臺北商事會社電一〇一八番

貸家　三橋町四丁目疊八八六　三疊八六　榮町二電五二二　石黑商會

貸家　古亭町四三疊八六四半二　榮町二電五二　石黑商會

貸家　大正町五條樓の手前六、六、三、二　岡野

貸家　京町白川通二、三、六　北門町八、疊金拾七圓近く　榮町川電話一八〇三番

貸家　大正町二條疊六八半二　大正町三條入口　平田

貸住宅　樺山町五疊八六三二　共用電話付　家賃二十圓電話八三四　宋田商會

土地賣家　新竹市南門外六百坪　附き建物　新竹支店中内氏へ

讓店　京町目抜の場所商業に付き讓る　電話一五三七番　渡邊

恩給　即時立替　電話取扱　旭屋　榮町一ノ四　電八八番

出前入用　十七八歳より二十歳位迄　市内保證人を要す　榮町中通　電二九一四

經濟第一

品質は純良で、邦人の整容に適し、溶過ぎ溶崩れる憂なく泡沫立ち豊に、最終まで同じ調子に用へ價格低廉の當用品

顔面と肌膚と毛髪の

○ミツワ石鹼

純良で緩和な作用

良く汚垢を洗ひ落して、而も其作用が緩和ですから、肌膚を滑らかに整へ、後に石鹼分を殘さないから、ぬらついたり、がさついたりすることなく、使ひ心地爽かにさつぱりとして化粧乘を良くします

本舗　東京　丸見屋商店

Mitsuwa Soap
MADE IN JAPAN

明るく冴える化粧料

チタニウム主劑に、特殊の成分を配合したミツワ白粉は、粒子が細くて、附着力は大に、極く少量で十分に美しく艶やかに仕上ります。[illegible]

溫雅なる芳香、爽かなる用ひ心地

肌膚を滑かに整へ、柔軟滑澤にする

○ミツワ石鹼

中途に溶崩れず三倍保つ

眞に家庭經濟に適ふ實用品

將僚の引留めで
學良離平を延期す
北支の政局は又前の通り

【北平十九日發電通】張學良は十九日午後三時順承府に在平中の各將僚を召集し、北平五十七將僚の引留通電に對し協議を重ねたが、各將僚は身を以て下野中止を要請した結果、學良は已むなく離平を延期し河北軍事統率の責任を負ふべき旨承諾した、斯くて北支政局は學良下野前の狀態に復歸することとなつた

北支獨立の氣配濃厚
舊東北軍將僚間で強硬論

【天津二十日發電通】舊東北軍將僚間に南京政府と關係を斷ち、北方のみ獨立し新政權を樹立すべしとの強硬論具體化の形勢あり、蔣介石の北平代表張群は極度に狼狽し十九日蔣介石に學良は下野を止め北支獨立の可能性濃厚にして中央の緊急なる對策を必要とする旨急電を發した

眞に息詰まる熱血戰
中京再び榮冠を獲得
補回戰十一回—四A對三
中等野球大會最後の決勝戰

【甲子園】全國中等學校優勝野球大會の第八日（二十日）はいよ〳〵最後の決勝戰となつた、この榮えある一戰に臨むもの一は四國の松山商業、一は東海の中京商業、勝べくして勝ち延るべくして今日に殘つた二チーム、名より云ふも實より云ふも輝かしから[illegible]全國中等野球の決勝戰である、內外の兩野スタンドに溢るる觀衆は八萬を算し、球審天知、壘審福井、村上、池田、午後一時五十五分榮えある大決勝戰は左のメムバーを以つて松山先攻に蹴始された

松山（先）[illegible]

中京　[illegible]

試合經過

△先攻の松山四回まで中京吉田投手の好投に封じられて凡退

△中京は一回村上の四球杉浦の遊越安打に一點を先取、二回二壘失策球團失に無死滿壘の好機を迎へ（この時三森投手二壘に送き三壘影浦マウンドに立つ）佐伯の四球に押出しの一點、既に二點を先取して優勢を示す

△松山の追擊も激しく、六回無死、影浦左越三壘打して出たが後援なく、六回左翼三壘打に出た岩見、殿堂の二飛に三進したが尾形三振して終る

△中京六回四球に出た吉岡が鬼頭の遊飛と岡田の內野安打恒川の三遊間安打によつての一點、松山は吉田投手の一絲亂れぬ好投に阻まれて八回を終はるも得點なく、三對〇あはやシャットアウトされんとする形勢であつた

△九回の表に入り松山一死後尾形三壘を遁らせて川本げ三森三越安打、影浦左翼越しに二本目の三壘打を放つて尾形、三森生還し山內又右翼安打に續いて影浦を還し三點を入れ同點、戰は俄然白熱し滿場總立ちとなる

△中商代つて攻めたが無効戰は極度にエキサイトして延長戰に入つた

△十回兩軍得點なく

△十一回松山三者凡退の後を受け中京岡川、佐伯三振して二死後村上四球に出れば恒川、櫻井連續安打して村上二壘より一擧生還、快勝の一點をあげて四A對三勝利の榮冠は再び東海の雄中京商業のものとなつた

勝因と敗因　中京の勝因は勿論投手吉田の好投に因るものであるがチャンスにあつて全員一致各自がよくその任を全うした、チームワーク總和の力を見逃すことは出來ない、松山の敗因それにただ勝運に見放されたと云ふ外なく、實力は互角試合は又互角、息詰る血戰の後不運に敗れたと云ふべきである

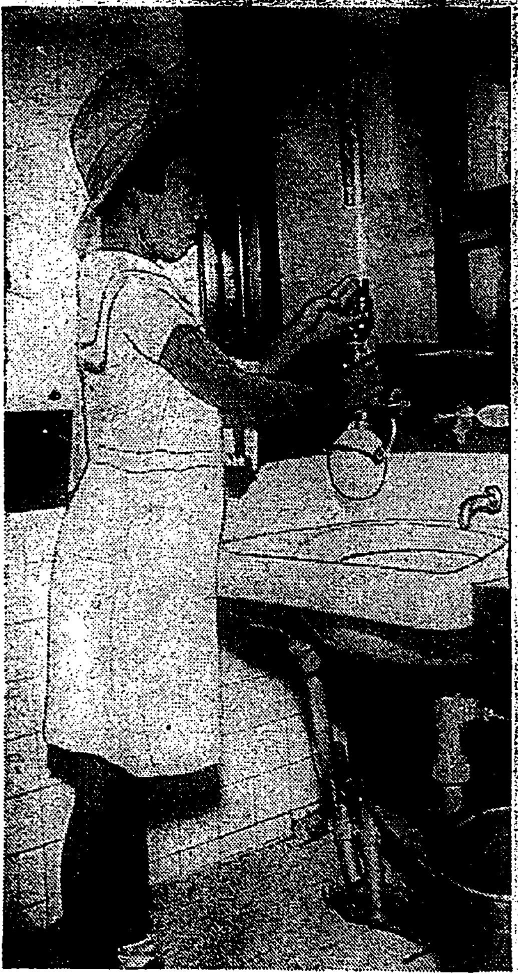
榮えある大深紅旗は中京商業チームに授與され歡喜と悲憤と感激の淚に終始した八日間にわたる大會も二十日午後四時四十分ここに全く終了した

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一
中京	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	A1
松山	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0

3—A4

我選手の活躍に
有難き御言葉を賜ふ
陛下の御心に文相恐懼

【東京二十日發電通】鳩山文相は二十日學術振興の御下賜金拜受のため參內 陛下に拜謁仰付けられたが其際 陛下は學術獎勵金と政府との關係に就て種々御下問あつた後、畏くも陛下には今次のオリムピツク大會に於ける我選手の活躍を嘉せられ有がたき御言葉があつたが、鳩山文相は陛下の御心に恐懼、日本選手の態度は終始確乎にしてよく國民外交の實を擧げたこと、千九百四十年の大會は日本に開催する樣努力してゐる旨奉答した



冷たいサービス（列車內でアイスウオーター發賣）

東海道線を走る超特急車「つばめ」の列車內で十九日から發賣[illegible]—有直等の下にアイスウオーターを發賣、當分發賣することになつた、成績良好なら來夏から全線に實現する豫定である（寫眞は列車內のアイスウオーター設置）

職業戰線潛行記（一八）

E記者

百姓姿の記者と
車上、役人との邂逅
—農民を惱ます疾患の數々—
臺南州柳營の田園から（3）終

賑やかで愉快なのは苗取りと田植だ。苗田から根引した稻の苗を一にぎりづつ藁でしばつたのを左手にもつて、そのうちから三四本づつを右手で引ツ張りぬいては植て行くので一面が六ツづつ揃つてこの一線で二十株ぐらゐ植はつて行くのだ。田植歌中農人の謠ひの如何に樂さうである事よ！農村生活のあまたの愉悅のうちこれに及ぶものはさうタンとはあるまい

×　×

ダガー內地だと田植に村の乙女の赤い襷はつきものでヒラ〳〵と水に揺れる風情は時に村の若者の歌や俳句の種をまく所ともなるのであるが、ここらでは女のオの字のつくものもまるで田に出てゐないのであるから、さうした優にやさしい風情は味はうに出ないものである。福佬系の部落では女はかうした仕事には出ないらしいが、廣東系部落になると寧ろ女が率先に田畑に出てゐることは中華や南洋部落に接する人の等しく注目するところ……

×　×

記者がかうしてひとかどのお百姓になりすましてゐた七月二十七日の午後の二時ごろであつた、新設の縱貫道路を雨の中を征つてまツしぐらに泥沫の泥を蹴らせた自動車が走つた。路に出てこの一行を見れば『南一號』の車中にチラと見えたのは確かに小濱內務局長、その傍には同車の今川さん、アツと思ふ間につづいて走る車上から臺北では毎日顏を合してゐる矢野內務局長[illegible]が記者の異樣な風態と思ひがけない邂逅に驚きの目を瞠りつつ一禮、挨拶を送した。南部巡視中の小濱さんは恐らく臺南大圳の給水狀態でも御覽じのことであらう。自動車はワダチを飛ばして泥を彼方に消す

×　×

この邂は一瞬では農夫たちが數分の合間に休みをするパラダイスともなつてゐるのだから謂法なものだ。疲れを覺えたものは並木の陰蔭を見てはこの道路の上に天を仰ぎつつ午眠を貪るのである、少しぐらゐ雨が降つてゐてもそんなことはお構ひなしに無念無想にふけつてゐるのか、無表情な顏を並べてゐるのは正に悠々たるかな天地とでも言ひ度い

×　×

記者が農人生活を體驗すべく農人の群に投じたのは外に目的もあつた。併しここではてりどモダンボーイやモダンガールが口ばに『銀座行進曲』や『東京行進曲』……謠ひてはゐるが『臺北行進曲』『北投行進曲』ナドナドさうした唄を口ずさむ代りに我國唯一の熱帶圈の農村に發でられる『農村行進曲』の曲譜をたどつてみるためだつた。併しそれにしてもこれは又何といふ勞苦な曲譜の唱音であらうか、自覺なき生活の濁澱にねむる本島農人の生活は——記者はここに一例をあげやう

×　×

臺南州では本島農民の八十パーセントがトラホーム患者、そのうち二十パーセントは失明してしまうといふのだから農村衛生などと言つた生やさしい話ではない。それから又四十パーセントは蛔蟲の寄生をうけてゐるといふのだから農村の人々の生の享樂は先づ根本的にこの不衛生な狀態が物語つて居る所で明かとなつて來る。せめて言ふならば農人たちは『生きて行くこと』は『こんなものだ！』といふ無自覺な諦めに意識せざる忍從の生活を送つてゐるに過ぎぬのだ。內地の農村などとは十全比較するにもその根本の狀態が違ふから問題にならぬ

×　×

臺灣の農村は困つてをらぬ。さういふ人達に對しては農村に入つて農民達の生活相を目のあたりに見ることをお勸めする。少し極言に過ぎるが本島農村の大部分といふものは『生活』してゐるのではなく『生存』してゐるに過ぎないのだ。かうした激しい感想を植つけられて、田植のすんだひろ〳〵とした水田を後に記者は思ひ出の柳營を去つた

×　×

懷かしの水牛君よ！思ひ出の農人部よ！さきほどまでの雨に加へて風の吹き荒んだ縱貫道路を南へ走つて雨と風の臺南へかへりついたのである（この項終）

（寫眞は水牛を使ふ記者）

龍眼肉の種を
喉につめ死亡

【新竹電話】新竹市南門三八一劉榮聯の四女劉氏玉葉（三）は二十日午前七時頃姉に龍眼肉を買つてもらつて食べたが種を喉にひつかけもがき苦しみながら死亡した

蜂須賀侯嗣子が
英日間の飛行計畫
十月二日英國發豫定

【東京二十日發電通】蜂須賀侯嗣子正氏の英日間連絡飛行の飛行許可願ひは廿日遞信省に到着した、近く許可さるべく十月二日英國發の豫定コースはフランス、イタリー、トルコ、印度、香港、上海經由十七日東京着の豫定

けふ練兵場で
航空ページエント
日野、宮森兩氏が空中で亂舞
入口…龍口町口

航空思想普及會主催の航空ページエントは二十一日午前九時から臺北練兵場に於て盛大に擧行されるが、當日の練兵場に於ける觀覽席その他は大要次の如くである

入口は龍口町口、受付係に自轉車置場、堤防上にA會員及びB會員席をしつらへ招待席及び軍隊學生席は格納庫南側の練兵場內に設けてある、尚不時着陸地帶として馬場町寄りの堤防附近は警戒線內に入り此の附近へは寄り付けぬ事になつてゐる

實演の種類
翼上起立飛行繩梯子吊下飛行落下傘降下等々

二十一日の航空ページエントのプログラムは細部に分れてゐるがルムソンの操縱者は龍口飛行士で日野俊雄氏實演の模擬爆彈投下を初めとして次いで日野氏の翼上起立飛行、續いて同氏の落下傘降下その間にオートバイ曲技操縱があり、更に日野氏の翼上における繩梯子吊り下飛行、次いで模擬空中戰の妙技、最後にパラシユーター宮森代子孃の落下傘降下となつてゐる

高松商業
大勝す
對嘉中戰
30—1

【嘉義電話】臺灣遠征中の高松商業チームは嘉義野球試合第一日を二十日午後一時半より嘉義公園グラウンドにて同チーム對嘉義中學チームの試合を行つたが嘉中は最初より全然振はず七回にて三十對一のコールドゲームを以て高松商業大勝した、この日嘉義地方は稀な快晴の絶好の野球日和で觀衆グラウンドの周圍を埋める盛況であつた、二十一日の第二日は高松商業は嘉義農林と午前九時より同球場にて相見える筈になつてゐるが右試合終了後更に來南、嘉義の都市對抗野球戰も開催される豫定である

新竹消防講習
會終了式

【新竹電話】新竹消防組消防講習會終了式は二十日午前八時から第一公學校にて擧行、新竹消防組長より講習報告があつて修了者十三名に修了證書授與、優秀者[illegible]名及び皆勤者十三名に賞狀授與し終了後各組部長の引率[illegible]組長の指揮ありてポンプの操法梯子乘り[illegible]の操練等行はれ十時閉式し午後から市內にて[illegible]

自轉車競走
臺灣豫選大會
けふ圓山運動場で
出場者は四十一名

大阪每日新聞臺北支局主催西日本自轉車競走選手權大會臺灣豫選は愈々二十一日午前八時から圓山運動場に於て開催されることとなつたが、出場選手は臺北四十名、其餘一名で其中十七名が選手權競走に出場し二十四名はオープン競技に出ることとなつてゐる、選手權レースは豫選、準決勝、決勝に至つて行はれるが優勝者及び第二位、第三位を獲得せる選手は臺灣代表として甲子園に於ける本大會に派遣せられることとなつてゐる

特產工藝品
合理的製作と販賣
生蕃屋本店工場

埔里に腦炎發生
患者は十三歲の少女
警察課では大騷ぎ

【埔里電話】山の平和な盆地埔里街に腦脊髓膜炎が發生して大騷ぎを演じてゐる、埔里街南門十五番地[illegible]の次女[illegible]（一三）は去る十五日以來頭痛發熱し十九日夜から後頭部に發疹を見たので二十日早朝父親が本人を背負つて親戚及隣人一名の附添で十里の道を埔里に出て來た、而して先づ南門の某公醫宅に診療を求めたが診らず更に[illegible]醫院に診療を求めたが[illegible]結局[illegible]を訪れ直ちに腦脊髓膜炎であると診斷された、院主の急報と共に警察課では大騷ぎとなり患人一名を隔離病院に一方患者の自宅及患家を出入した各隣の交通遮斷を行ひ大騷ぎとなつた[illegible]二十一日判明する筈である

無責任な
醫師を非難

[illegible]

には報告もせず醫師として無責任な態度については街民の一般から非難を受けてゐる、醫院長は當局に招致され嚴重に[illegible]自分は患者は診察しないと言つてゐたが後には診察したと[illegible]

嘉義鮮花樓を
營業停止

【嘉義電話】本島人藝妲[illegible]嘉義市西門町六六四番地鮮花樓[illegible]は二十日嘉義署に呼び出され三十日間の營業停止を申渡されたがその理由は同樓抱へ藝妲[illegible]が本年四月十八日四ヶ年の契約期間を[illegible]となり某內地人と結婚せんとしたるに同家の女將がワザ〳〵朝鮮迄へ來出し同女の親許に二百圓を要求し之を理由として三ヶ年の年期延長を強要し應じないと散々毆打したものであると

松明をかざして
總督一行バタカン著
暗黑のタロコ峽に
時ならぬ火の行列

【バタカン特電二十日發】中川總督は前記の通り二十日午前七時金瓜石を出發し、當日の宿泊地たるバタカンに向つた、途中蘇澳の漁港では港內に繫留中の漁船數隻がマストに萬國旗を飾り花火數發を打揚げて百パーセントの歡迎振りであつた、臨海道路の壯觀は總督の氣に入つたらしく烏石鼻の見晴らし臺では、しきりに讚美の聲をはなつてゐた、タツキリに到着したのは豫定より三十分遲れ、それより轎に乘つてタロコ峽の絕景を縫ふ急坂を三里、海拔千五百尺のバタカンに向つたが中途で陽はとつぷりと暮れ峽谷の暮色は實に雄大なもので流石國立公園の候補地たるだけの偉大なる自然美であつて、[illegible]を越つた所にあるタロコ茶屋で休憩したが、此處では名物の[illegible]が用意され、總督は二十分もあらうといふのを一つ食べ今井警務局長が手自ら一服をやる、バタカンの一里手前頃からは暗黑の中に蕃社の蕃丁が手に手に松明を[illegible]物凄く響いて來る、一行は松明の光りをたよりに險阻の山道を上り暗黑の山道は總延十數丁に亙る松明の行列で之は全く豫想外の壯觀であつた、バタカンに著いたのは午後七時五十分で、一同無事を祝して汗を落とした、從來バタカンに登つた文官總督は中川總督を以て嚆矢とするが、山は非常な歡迎振りで花蓮港郡[illegible]局員が特に出張して新聞電報を受付けるといふ歡待振りであつた（上田特派員）

重田氏令息葬儀

重田榮治氏三男佐平氏の葬儀は二十日午後四時から臺北西本願寺別院にて執行され會葬者四百名、北高商、中學、[illegible]小學校各同窓生總代の弔詞弔電披露に次で中川[illegible]次郎氏遺族總代に代り會葬者に挨拶し引續き[illegible]商校長、西澤市尹代理[illegible]太郎氏等各會葬者を代表して燒香し五時二十分しめやかに式を終へた

濁水溪工事を
總督、車中で聽取
蘇澳から花蓮港へ向ふ

【宜蘭電話】東部巡視中の中川總督は二十日午前十一時十九分宜蘭驛通過したが宜蘭驛には各官衙長官多數プラツトホームに出迎へてゐたので總督は下車して丁寧に會釋した、歸車後[illegible]水谷の濁水溪工事について說明を聽取し更に十一時三十一分蘇澳に向つたが[illegible]中千五百尺の絕壁の場所の烏石鼻に於て暫し休憩[illegible]、因みに[illegible]總督を見送つたが今井花蓮港廳長、山下同廳警務課長、櫻野清太氏等は蘇澳まで出迎へた

大阪心齋橋の
大商品市

仁川ある一流の大問屋が聯合新裝行の優良百貨商品を、思ひ切り廉價に提供しやうと言ふのが大阪心齋橋の大商品市である、會場は大阪の中心地にあり、[illegible]の足場もよく何品でも手近で揃ふ便宜がある。同此種の催しは同會のを嚆矢とし、今秋は第五回に當るが、會期は九月一日より十日迄とし、其の上に抽籤によりて一等百圓二等五十圓の債券が當る外、一流商品及び超特價品の提供があるとの事であるから秋の百貨仕入には同商品市を利用するのが一番德用であらう

カチノ庭球大會

【ニユーポート十九日發特電】カチノ庭球大會準決勝戰アリソンは一對一でマンギンを破り二十日ヴアインズと決勝することとなつた

◇

【ニユーポート十九日發特電】庭球準決勝

ヴアインズ　三—六、一〇—一二、六—三、六—二、六—四　ジョーンズ

機械よりも
矢張り人間

【倫敦二十日發本社特電】機械文明が發達してゆくに從ひ自然人の力がはぶけそれに職業從師範と言はれる失業者が續出し此處に人間は機械を發明しその機械に縛られて生にもだえてゐると言ふのが現代であるが此處に僅か乍らも之を機械文明の置き土產とされてゐる[illegible]ぎる實例が現はれ一千萬人かの失業者が浮かび上つた話がある最近樺太島內七ベルプ會社では從來機械で樹木の皮を剝いてゐたが此は皮だけでなく木迄削り殊に[illegible]の箇所は容赦なく剝いてしまふので會社では機械の代りに人夫を使用する事を得策とし一擧に約千二百人の人夫を採用した、本會社側では機械で削られるその材料を見積もると人夫を使つた方が經濟的であると語つてゐるのは面白い現象である

中等學校
水上競技大會
我代表好成績

【二十日神戶發至急電】神戶に開催されてゐる西部中等學校水上競技大會に本島からは三名の選手（共に臺北二中生徒）が出場してゐるが、二十日の競技會に於ては三名とも各種目に好成績をおさめて準決勝又は決勝戰に臨む事となつた、而して其の成績は次の通りである

小野文郎

百米背泳第一豫選　二着（一分二二秒八）

百米自由型第一豫選　二着（一分五秒六）

同　第二豫選　一着（一分四秒八）

田口正之

二百米平泳第一豫選　三着（三分三秒〇）

百米平泳豫選　一着（一分二五秒四）

同　準決勝　二着（一分二三秒四）

齋川治久

二百米自由型第一豫選　三着（二分三三秒〇）

八百米自由型豫選　一着（一一分四六秒〇）

同　準決勝　三着（一一分一五秒八）

但しベスト・サードとして決勝戰に臨む資格を得

本社工場參觀（二十日）

文教局視學[illegible]氏外十名

臺北州下傳染病（廿日の分）

▲パラチフス、臺北市太平町五ノ六四番地王氏[illegible]死亡

▲腸チフス、臺北市下奎府町二ノ二六番地劉[illegible]（二）

▲疑似チフス、七星郡士林庄[illegible]洋下[illegible]林央定（二〇）死亡

▲赤痢、臺北市錦町五ノ七森山ハツ子（八）赤十字病院

正誤書

本月十六日夕刊「借金魔運送業者取調」の記事一部につき高雄市入船町二ノ二柴田源吉氏より正誤の申込みがあつた

今日の催し

△航空ページエント、午前九時から練兵場にて

△日蓮主義夏期講習、[illegible]大同會事務所にて二十五日迄每日午後七時から

△珍石展玩會、午前九時から[illegible]天地第一教育會館にて

△大稻埕公學卒業生會、午後二時より大稻埕公學校にて

△西日本自轉車競走選手權大會臺灣豫選午前八時圓山運動場

特別廣告

天ぷら行商
森本ツギ（二十七歲）
右ノ者[illegible]當所ニ知ラセ
臺北市新富町四丁目十三番地森本

[illegible]
七月二十一日
妻
親戚總代
友人總代
[illegible]

漢文臺灣日日新報

武藤關東軍司令官一行
萬歲聲裡歷史的赴任

二十日東京電。關東軍司令官兼特派全權大使武藤信義大將。二十日午前九時。乘燕號由東京驛發赴任。是日武藤大將。自午前八時二十五分。偕小磯參謀長。齋藤顧問以下參謀副官。到陸軍省。武藤大將。佩明治大帝御下賜軍刀。胸間佩旭日大綬章。小磯中將以下。軍裝端整。在二重橋前遙拜。午前九時。於閣僚。陸海首腦各團體萬歲聲裡。就歷史的赴任之途。一行按今夜在鳥羽一泊。乃參拜伊勢大廟。桃山御陵。大阪一泊後。經山陽線赴奉天云。

滿洲國正式承認
美國將發通告
或以他形式來抗議

十九日華盛頓電。日本欲進行滿洲國正式承認之事。據美國政府最高部非公式意見。豫料日本正式承認滿洲國。其對於是。將發與一月十七日覺書同趣旨之通告。或以他形式而爲抗議也。

日蘇新協定成立說
華府謂如果事實
則於日本有利

十九日華盛頓電。日本將正式承認滿洲國之事一傳。華盛頓外交界。十九日自某所聞日俄新協定成立。大起波紋。其內容乃於東亞兩國有各種權益。明確決定。然後日本承認滿洲國。不論何時。皆得承認滿洲國。而該協定。一般的諒解之外。

一、東華鐵道所關蘇俄權益。完全保護承認。

一、日本軍於西比利亞國境及蒙古之行動。自行制限。

一、蘇俄通商上利益爲之保護。

包含此三重要項目。東洋通謂此事如果事實。乃日本外交之勝利。日本立場有利。一方蘇俄將來之對滿不安及葛藤自除。於自國權益擁護上頗好也。

全權府暫置於奉天
今後交涉進步

十九日奉天電。我駐滿全權府。暫置于奉天。俟武藤全權著任時。與滿洲國交涉。將於奉天開始。想今後必更圓滑進步也。

關東軍
參謀次長等
抵奉交代

十九日奉天電。岡村關東軍參謀次長以下一行六名。十九日午後三時二十九分著奉。即入關東軍司令部。會見本庄將軍。著手交代關東軍事務。

駐滿全權隨員
廿日發令

二十日東京電。政府於十九日閣議。決定駐滿特派全權大使隨員。其人物乃如既報者。已得御裁可。二十日官等俸給令改正勅令案公布同時。正式發令。

三大臣
演說草案
閣議決定

二十日東京電。政府於二十日臨時閣議。決定二十五日貴衆兩院之齋藤。高橋。內田三相演說草案。故二十二日齋藤。高橋兩相。二十三日內田外相將參內上奏。

東京市金利
內定降下

二十日東京電。日銀降利。市中銀行之協定預金利率降下。既已內定。故短資協定率。當座貸之降利必行。協定案降一厘爲一錢。當座貸越降二厘爲一錢七厘。

中旬貿易
出超千五百萬

二十日東京電。大藏省發表中旬貿易額如左。（單位千圓）

輸出	四〇、八〇三
輸入	二五、九一〇
出超	一四、八九三

一月以後累計。入超一億九千三十二萬九千圓。

三驅逐艦
歸佐世保

第二十七驅逐隊。蓮。菱。蓬三艦。爲警備對岸關係暫編入馬公要港部所屬。今回警備任務告完。去二十日。發馬公。還佐世保所屬軍港。又軍艦北上。經南日島方面。而第二十五驅逐隊。則經基隆。向福州。就警備任務。按二十三日發馬公云。

不許現內閣一日存在
國民同盟常務會意見

二十日東京電。國民同盟。欲議對議會策。十九日午後六時。在安達邸。開常務委員會。議豫算案不完全。及政府方策。滿洲問題。徒爲躊躇逡巡。國威甚失墜。似此現內閣之存在。雖一日亦不許也。意見一致。而二十日之議員總會。闡明國民同盟之政策方針。約於議會。由中野正剛。古屋慶隆。高橋壽太郎氏等。肉薄政府。

中國入口貨領事查證制度
國府訂九月一日
海內外一律實行

南京消息。國府決定來九月一日起。施行入口貨領事查證制。而容各商國之請。擬採之發貨之地。內容如左。

一、九月一日以後。外國貨物。輸出中國。必要輸出港駐在中國領事查證。

一、九十兩月中。外國貨物。入中國港。苟無中國領事查證。由各該港中國海關。徵收與中國領事查證料同額。約八分

一、輸出之人。不別追徵罰金手數料。

以上新規。即由外交部。札飭海外駐在中國領事。從速遵行云。

臺北領事館
基隆高雄
籌設分館

臺北中華民國總領事館。既接南京國府訓令。即派館員。到基隆。高雄兩埠。籌設分館。並委館員。專辦其事。凡臺灣貨物。入中國港。値二百圓以上者。一號頭手數料八圓。否則在中國港察出。決定罰金即手數料三倍云。

五國代表
訪外交當路
要求考慮

十九日南京電。南京駐在日英美法德各外交代表。對華輸出品。九月一日起開始領事證明制度之件。去十九日。歷訪外交部。要求國府反省。並考施行延期。免稅點引上等事。國府當路。不與確答。今後紛糾不免云。

領事查證影響
殆只邦貨
共同抗議無望

十九日北平電。領事證明問題所關。中山一等書記官。去十八日。歷訪各國公使。探各國當路意向。究該制度。殆只日本貨受影響。英美商埠無關。免稅點引上。實施延期。[illegible]無乘之之態。希望共同抗議。中國態度強硬。未無過渡的辦法。來月起依照原案實施云。

醫療救濟學術振興資金
召三大臣　侍達下賜

二十日東京電。天皇陛下。二十日午前九時半。於宮中御內儀。召山本。永井。鳩山三大臣。將既報之貧困病弱者醫療救濟資金。學術振興會基金。經宮內大臣傳達。賜優渥詔書。三大臣拜謁陛下。感激而退。

一木宮相謹話

二十日東京電。一木宮相謹話。本日三大臣。蒙下額御下賜金。不勝感激。拜此宏大無邊聖慮。誠恐懼感激。願官民一致。向新興日本之建設邁進。奉答聖慮之萬一也。

夏茶中心期
市面緊張

最近大稻埕茶市。據臺灣茶共同販賣所。于二十日調查。本週烏龍茶況。現屆夏茶中心期。乃洋行採買重要期。而最近爲對外滙水慘落。市面微帶緊張。然海外茶況。環境依然不佳。實際無甚買賣。惟中茶級有相當買賣。上茶及下茶。殆無問津。價格無甚變異。仍如前週堅持。只中茶稍形强勢。是日市價略次。大葉烏龍種。極上六十圓。上二十六圓。中十七圓。下十三圓。青心種極上六十圓。上二十六圓。中十七圓。下十三圓。黃柑種上二十圓。中十三圓。下十二圓。時茶種上十七圓。中十三圓。下十圓。

基市營乘合車
決定實施
求州諒解

基隆市營乘合自動車問題。自立案于茲。尙未實現。近已決定斷行。吉富市尹。分對州首腦部。說明案之內容。現皆更迭。現桑原市尹。欲俟中瀨知事歸州。向赴州當局。說明經過及將來市所計畫等。求其諒解。更就現在計畫案。有適合基隆市實狀與否。煩臺北市坂田自動車課長來基調查。俟州諒解及計畫案調查告完。再求流水。基隆自動車商社。提示買收價格案。據小島市助役談云。吉富前市尹時之交涉。即已相當進步。今俟木村秦治氏歸臺後。市當局與之正式交涉也。

福德市場附近
包圍行商
押收擔頭甚多

基隆市福德市場前路上。有行商人蝟集甚多。致阻礙交通。市役所及警察署。頗難于取締。去十九日午後五時。由寺田交通係主任。指揮外勤巡查。總動員出市場附近四面村附。欲捕捉擔行商人。該商人亂走。皆棄擔路上。被當局押收。滿載五臺貨物自動車歸署。今後更擬常出爲取締云。

警務局對犯罪搜查
來年度重整陣容
豫算計上十餘萬圓

臺灣犯罪搜查。迄今稱爲舊式。較諸內地。殊缺統一。就中如科學的犯罪搜查之對象。或爲研究資料等。鑑識方面之諸設備。殆無可觀者。因而臺灣之竊盜之檢舉件數。比內地能率甚低下。此爲多年之懸案。者番由總督府今川警務課長之發案。關犯罪搜查。重整新陣容。即爲充實鑑識方面之設備。對全島的。一、指紋之統一。二、犯罪手口記札。贓品記札、犯人特徵記札之統一。三、犯罪搜查必要之理化學的設備。期得完成。該計畫豫算。計上十餘萬圓。唯俟豫算之通過。此計畫實現時。于犯罪搜查上。最爲必要條件。一、可短縮時間。二、節約勞力。三、檢舉正確。均能得其名實。故全島各州警察當局。皆企望其實現云。

竹市搜查成績

新竹警察署。去十七日。上午零時半。至同三時半。由勝木警部指揮各警官。向市內一齊搜查。檢舉成績。即罰金未納者五名。犯違警例二名。阿片案二名。盜用電力一名。無賴漢一名。計十一名。

時　評

○滿洲國。以人民論。三千萬衆。以土地論。七萬七千三百餘方里。而當今執政。又係故主。改令能行。足以獨立。帝國對策。早如外相主張爲妙。

○中國地大物博。而兵連禍結。軍閥政客。各自一心。民窮不恤。使之外向。帶乘此機。去小就大。實行汎亞細亞主義。三國協力助理。豈非上策。

○美日滙水。日々崩落。政府決定暫認自然。民政幹部。且於議會質問。究竟必謀先充國力。先裕民生。二者能之。國家信用。不復自復。除此尙有何法。

○政府之統制米穀。大有財難之歎。政友農政議員。籌米專賣。且要幹部。提出決議案於議會。理想固佳。力能行否。

○將府要求救療費。乃爲大藏省刪去。幸九重下賜。克補政府所不及。貧病之民得此。宛然暗見救星之高照。雖、爲數有限。來通常議會。仍宜提案。

○南京抗日會。沒收人貨。經領事抗議。猶不發還。假託救國之名。陰行奪財之行。雖云救國愛國。適足以誤國禍國。此職業的發行。斷不可長。

○旅廈臺籍有志。組織新青年會。爲修養團體。使會員人人盡忠信。行爲修則可。有礙邦交。惹起問題。使人厭惡排斥。則不可。

○外人遊廈門要護照。臺人入滿洲亦要護照。旅行之人。或失注意。或罹往事。勢不能免。夫入人國。守其法令。理之當然。

○中川總督。出巡中。穿工服。入金鑛中。親坑夫作業。坑夫及關係官民。合有一番感想。一番衝動。此實體驗民間疾苦之一道。

○全島各製糖會社。向糖況不振之時。對待蔗戶。別有一法。今糖價有騰之際。待法確要改善。

米專賣案獨自提出
政友農政議員決議

二十日東京電。政友會之農政會。二十日開役員會。作米專賣案現決議。要望黨幹部。將同法案提出議會。若不見容。則欲獨自提出。以期實現也。

臺南市公賀
典銷品公賣

臺南市公設質舖。本月中之典銷品公賣。定來二十三日下午一時。於臺南公會堂行之。該舖自金價高騰以來。爲圖顧客之便。向資金活用起見。凡從前典當之純金製品。盡可依刻下時價。追加貸金云。

本島紅茶
前途有望
因外茶不和盤

橫濱木村珈琲店、注目本島紅茶。如有合宜品物。悉爲引受。查由印度。錫蘭。爪哇輸入于本邦之紅茶。爲前頃關稅改正。百斤課稅百十八圓。故輸入紅茶。大蒙打擊。一磅紅茶。稅金三圓左右。如此殊難。然。橫濱珈琲店代表者柴川文次郎氏。于去十六日來臺。與督府當局磋商後。十九日。再與茶檢查所下茂主任等。就臺灣各種紅茶。吟味品質。意欲將各種紅茶混合。而製出特色紅茶。目下該商店在魚池所製茶。似甚合意。以後利用中南部「過拳」種。盛製紅茶。斯于不振之本島茶業界。或起一大革新也。

運轉手無狀

臺中富士商會運轉手張請得。月十九日午後五時頃。駛當會貨物車四一五號。在彰化市子尾間疾走。爲車體故障。不循左側。傷化街北門人陳大廷指物店之子陳木杞。並壞其後拖車。運轉手見木杞兩股。僅負微傷。且責以宜賠償其故障之自動車。木杞被嚇。驚惶無地。繼之以哭。傍觀者視此。咸爲不平。責運轉手不是。惱而大廷聞悉。亦復趕到。運轉手見勢不佳。始願認修繕後拖車以償。可笑也。

告訴詐取聘金

嘉義市北門町代書人楊某。告訴同市南門町六丁目五四李寅氏。留及長女黃氏秀。年二十。共謀詐取聘金二百四十圓。十九日。由警察署鈴木司法主任召喚原告訊問。二十日續召喚被告云。

松山分室警官
習操竹筏

七星郡松山分室管內。基隆河流。貫注其中。年々遇洪水時。人畜被害不少。佐藤分室主任。有鑑及此。爲備非常之用。乃召集職員全部。及壯丁團員四十餘名。於去十七日午後一時。在附近基隆河中。實地指導竹筏操縱法。及救急方法。約二小時餘。頗收佳績。

被人唆使
拐帶父金續報

曾文郡麻豆街麻豆。呂足年方弱冠。意志薄弱。此回被該地無賴煽動。於一星期前。盜其養父某之銀行存款簿。乃向銀行。僞報失印。另彫新印。誆領現款千餘圓。逃亡不知所之。其父係街之富商。一時債騎四出。並託當局爲之搜查。去十八日。竟於新竹緝獲。即日押送至新竹警察課。經嚴重訊問。供係被諸無賴之唆使。並授其盜領款項之法。得手後。遂與之經善化。臺南。高雄。而之新竹。途中宿於大客舍。呼妓侑酒。肆意揮霍。橫施逆取。必欲拐盡其金而後已。聞當拐誘時。係以女性爲餌。因未諳世故。陷其術中。故任若輩。予取予求。現郡當局下令嚴緝。查麻豆地方。此輩之折白行爲。大有其人。非重加懲罰。殊難除其後云。

福州指定虎疫地
廿一日入港檢疫

總督府。本于海港檢疫施行規則。自二十一日。對々岸福州。新指定爲虎疫流行地。對由同處入港船舶。一齊施行檢疫。由是總督府所指定虎疫流行地者。爲廣東、香港、汕頭、廈門、福州、上海、大連、營口等八處。

福州虎疫
一日五十名

福州指定爲虎疫流行地。關此據森田督府衛生課長談云。現在以廣東、香港、汕頭、廈門、上海、大連、營口等處。指定爲虎疫流行地。而自福州入港基隆之船舶。概多經此等之地。然實際檢疫上雖無遺憾。然福州其後虎疫流行猖獗。據督府派遣員及同地博愛醫院長報告。發生新患者一日有五十名。如博愛醫院。有續々昇入患者。以後尙有流行之兆。重以福州與基隆。僅隔一衣帶水。只一夜得以往來。病菌最易傳染。又福州基隆間。亦有往來船舶。故對同地新指定爲虎疫流行地。以期防疫上之完璧也云々。

基隆保甲協會
開創立總會

基隆署管內保正。甲長。欲疏通意見。努力于公共事業。組織保甲協會。去二十日午前十時。在公會堂。開創立總會。服部署長爲臨時議長。就議事逐條審議。次及會則及細則。有二三修正。繼選役員。先推薦桑原市尹。服部署長。顏國年。許梓桑。潘榮春。近江諸氏爲顧問。後選林應時氏爲議長。及副會長二名。其他評議員數名。次來賓述祝。閉會開宴。各盡歡散會。

牛觸傷牧童
右眼失明

竹東郡寶山庄大崎人林阿添。年十三。去十八日上午八時。在雙溪草原。牧牛中。牛起狂奔。阿添欲阻之。反被觸傷右旁眼窩。致眼球突出。醫治無效失明。

高雄市本年土木費
總計五十餘萬圓
經濟界得幾分緩和

督府救濟案之高雄市區改正工事費十二萬七千圓。該工事。在俟督府當局發表市區改正案。然大體於高雄川以東。以州廳衙附近爲中心。開鑿道路。此外高雄市七年度事業。即建築市營住宅。擴張水道。及新建傳染病院諸工事。合法院支部之修繕刑務所等。諸經費計達五十六七萬圓巨額。此等若皆著手。則市內之不況。能得緩和幾分。市民希及早實施之也。

基隆福建丸乘客
發見類似虎疫菌
停船卅四時間始許上陸

基隆港務部檢疫課。爲防過虎疫之侵入。由對岸指定地所入港之船舶。施行嚴重檢疫。去十八日午前二時。入基隆港之北支航路。商船福建丸。對乘組員。及乘客九十四名。採便檢查結果。三等乘客中原籍福建省閩侯縣。將往臺南州虎尾郡土庫庄。料理店鶯閣。許林氏涕俤。年五十一。便中發見有似虎列拉菌。俄然緊張。命其纖細停船外港。至十八日早。以パンテー氏凝集法。再行檢查。至同十一時半。判明爲與虎列拉菌同形之類似菌。於是同船停泊外港。經三十四時間之久。迨午後零時半。始入內港。一時非常騷動云。

臺車轢傷幼女

大湖郡卓蘭庄鍾氏阿妹。年三。十七日近午。在宅前臺車軌道內。被某甲推到臺車擦傷。胃部及腹部均受轢傷。現醫治中。

兩運轉手停業

臺南市新町一丁目。細非英治。及同市北門町二丁目林傳授。兩者俱係自動車乙種司機。細非於客月二十五日。擦傷行人。林亦於同月四日。傷及乘客。故去二十日。州保安當局以其違犯自動車取締規則第二十九條第一號。令自當日起林停業一個月。而細非亦停業二十日間云。

紹介高雄勝景
作宣傳圖
招致視察團

內地及島內各方面。到高雄觀光者。非常激增。而昭和六年中。內地視察團由市當局斡旋者。約有四百人。且合直接視察者。約達四千餘人。是等一人。按在高雄。開費五圓。總計有二萬圓。可謂令于市

娼妓兩人
飲劇藥投海
均被救起

基隆市田寮町。依姬樓娼妓。岡田四ツ子。年十八。同高野トミヨ。年同。去十九日午後四時頃。藉言往千葉醫院。受外出許可。赴社寮島。在久野造船所前海岸。投身海中。被在附近開墾安會之鐵道部機關庫員發見救起。一面報除署後報。吉田部長。偕伏田醫師。赴現場檢診。及治療。判明爲飲下劇藥後投身。終舁歸依姬樓。受德森醫師治療。岡田經二時間後死去。高野現頗重態。原因未明。據聞兩名於本年六月。前借六千圓。同船來臺。據針線兒所談。並無受虐待。外亦無要自殺原因。遺書二通。岡田委書。則云我妹三人。不可再使之爲娼。述其苦境。現由吉田部長。取調死因云。

罰金及科料

新營郡鹽水街田寮人林登

密造骨牌
送檢察局
押收多數證據

臺南署及州稅務課員。去七日檢舉密造骨牌之市內末廣町人。吳海根。年五十一。同永樂町人。許諸。年四十兩名。由吉川刑稅

學良延期離平
負責統率河北軍事
北華政局復下野前狀態

十九日北平電。張學良於十九日午後三時。在順承府召集在平中各將領。對於北平五十七將領之挽留通電。妥爲協議。各將領要請下野中止。學良不得已。乃延期離平。許負河北軍事統率責任。北華政局。已復歸學良下野前狀態云。

斗六
山產盛出

斗六街斗六。自前月末以來。山產盛出。即龍眼。鳳梨。落花生。竹筍等。日數百擔擬入街市場。故西螺虎尾斗南及地方之小賣商人。仲買商人等。日有數百名。出入于斗六街。雖際此不景氣之時。亦呈一時景氣。街大小路商人。悉眉齊開。

配與菜子

經濟不況。殊如農村之不景氣日益深刻。斗六街當局。爲獎勵農民生活經困。以獎勵農民對蔬菜類。自作自給。並改良蔬菜主旨。由內地及島內買入菜種子。球菜。甘藍。馬鈴薯。西瓜。花椰菜。甘藍。九條大葱。凱旋西瓜。胡瓜（刺瓜）牛蒡。菠薐草。練馬。大根。院大根之優良種子。無償配與其於一般農民。經認文書。通達於區委員。並使一般農民周知。希望者。限正來八月二十五日。携印章。向斗六街役場直接及黃登發兩拔手續則可也。

出席刑講

臺南州警務部。此回在同州開講之刑事講習會。斗六郡出席者。乃選拔斗六郡警察課巡查。藤川浪兩巡查。及林內派出所佐田巡查。古坑派出所田島巡查。計四名。

北港
信組建築

北港信用組合。因業務發展。從來對民間借用之事務所。感狹隘。當事者日數年來。計畫新築移轉於街之中心點。爲之適當處所。延至而今。此回擇地於北港街所有之空地。即在郵便局東隣。對街中部有六十坪前後讓渡。而信組對此事情。亦經諒解。目下正準備工事之施行云。

產業磋商

北港郡定來二十五日午前八時。招集各街庄產業技術員。於郡役所會議室。開產業磋商會。附議事項。一、對於設施部落施設下記要所關。即對於設施部落。開議事懇談會。表示設施部落之外實踐道路整理及植樹。堆肥豚舍建設。蔬菜栽培。三、甘藷獎勵所關之作。四、蔬菜栽培所關。五、蓬萊種水稻栽培所關。六、肥料購入資金附下所關。

詩壇

義方居雜事　雪漁　王少濤

義方居靜傍村墟。水竹涼生滿室虛。
座上欣逢新舊雨。窓間閒話古今書。
功名事已知無分。文酒筵還喜有餘。
山月山風兩共愛。何時重整賞書廬。

寄廬庵壁集呈一桂嗣兄　李春霖

人生大抵似浮沈。洪子山居號寄廬。千古謫仙同一慨。及時行樂樂何如。

小住茅齋一夜涼。山風如水月如霜。誦欄幾氣消詩思。朗々吟聲入夜光。

寄廬即景

漁翁釣破一溪烟。排闥晴嵐翠接天。嶇嶺盤松如疊蓋。潺湲流水類鳴絃。螺頭點碧蕉風重。鸡背翻紅落日遠。爲問寄廬何所寄。宜將詩句入吟箋。

北部納涼詩會

涼味　七絶　[illegible]選

左五文　虎

開脾池覺勝水漿。一雨新秋爽氣揚。爲問神農嘗百草。可知世味有炎涼。

右六水　郊

無窮草樹覺城荒。得意蕭冰可納涼。風送池蓮香味好。翠筠莫惜調詩腸。

左七文　淵

沈瓜浮李到芳塘。却暑爭敦此物嘗。一自南來消受好。不知身在水雲鄉。

右七左十　省三

人間到處有炎涼。世味年來我備嘗。晚上江樓風雨爽。恐他一解熱中腸。

左右八　欽　賜

遍莫中天火傘張。納涼猶愛黑甜鄉。調冰泛艇隨流水。掠面風情好夕陽。

左十　失名

參天翠篠覆山房。一味南來午夢長。絶好書窓還習々。身閒忘却古羲皇。

人事

▲臺北市協議會員孤田恭治氏三男佐不君。殘於聘用福岡。共遺岩既携到臺北。去二十日午後四時。於市內西本願寺樹心會館。舉行葬儀。各界知友會葬千人。五時式畢。極見非凡。

英美滙水　二十日

英　三弗四七仙八分一

金塊行情　十九日

上海金塊　七一一六兩

銀塊行情　二十日

倫敦現物	一八片四分一
同　先物	一八片一六分四
紐育現物	二八仙二〇分
同　先物	二九仙八〇分

對外滙水　二十日午後銀行相場

倫敦（電信賣）	一志三片八分一
紐育（同）	二二弗
孟買（同）	八三留比
新嘉坡（同）	一八五圓
爪哇（同）	五五盾
馬尼剌（同）	二〇〇圓
上海（參着拂）	六八兩
上海（同手形）	一〇二圓二分二
漢口（參着拂）	六〇兩
福州（同）	一〇三圓
廈門（同）	一〇二圓四分三
汕頭（同）	一〇二圓四分三
香港（同）	一〇九圓
廣東（同）	一〇九圓

漢文臺日案內

洋服

服地と裏地

歡迎　臺北大和町　電二五四五

中華民國駐臺北總領事館通告

[illegible]